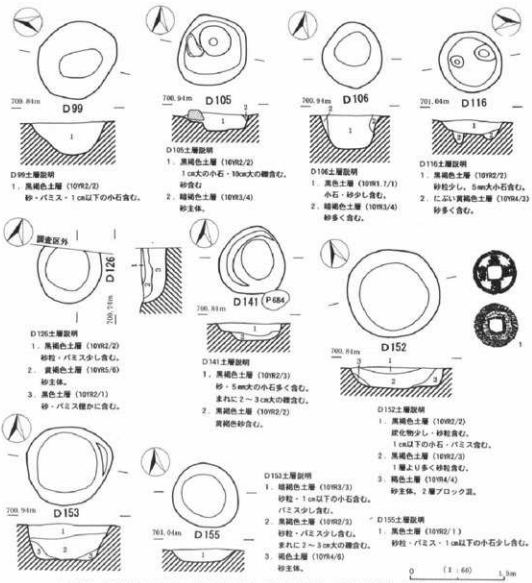
遺構名	出土位置	重　複　関　係	規　模(長×短×深さ)	長軸方位	遺　物
D126	Dか10	北側区域外。	101×(93)×39(cm)	—	—
D141	Eえ3	D142を切る。	104×104×27	—	—
D152	Eう9	—	132×126×36	N−72°−E	嘉祐元寶
D153	Eう10	—	134×125×56	N−82°−E	須恵1
D155	Eえ10	—	104×99×18	—	—



第56図　ⅡA3土坑（D99・D105・D106・D116・D126・D141・D152・D153・D155）

写真209　D36号土坑土層堆積状態（南より）

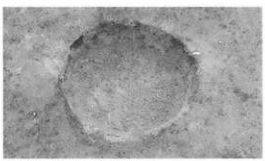


写真210　D36号土坑（北より）

写真211　D36号土坑礫出土状態（北より）

写真212　D78号土坑土層堆積状態（西より）

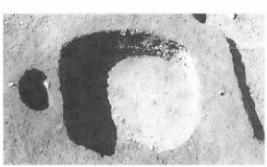


写真213　D78号土坑（東より）

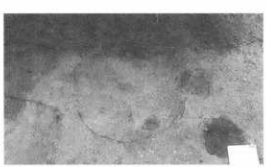


写真214　D39号土坑（北より）

写真215　D2号土坑（西より）

写真216　D2号土坑（西より）

写真217　D6号土坑土層堆積状態（北より）

写真218　D6号土坑（北より）

写真219　D23号土坑土層堆積状態（東より）

写真220　D23号土坑（西より）

写真221　D40号土坑土層堆積状態（東より）

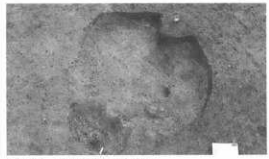


写真222　D40号土坑（西より）

写真223　D44号土坑土層堆積状態（西より）

写真224　D44号土坑（東より）

写真225　D46号土坑土層堆積状態（南より）

写真226　D46号土坑（南より）

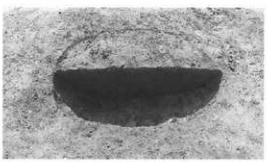


写真227　D53号土坑土層堆積状態（北より）

写真228　D53号土坑（北より）

写真229　D85号土坑土層堆積状態（南より）

写真230　D85号土坑（南より）

写真231　D88号土坑土層堆積状態（西より）

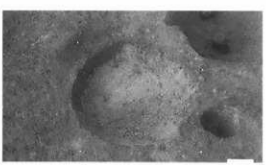


写真232　D88号土坑（南より）

写真233　D92号土坑土層堆積状態（西より）

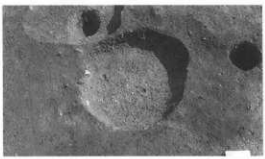


写真234　D92号土坑（西より）

写真235　D99号土坑土層堆積状態（西より）

写真236　D99号土坑（西より）

写真237　D105号土坑土層堆積状態（南より）

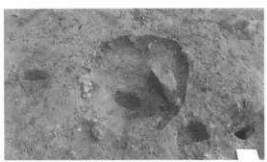


写真238　D105号土坑（北より）

写真239　D106号土坑土層堆積状態（南より）

写真240　D106号土坑（東より）

写真241　D116号土坑土層堆積状態（西より）

写真242　D116号土坑（北より）

写真243　D126号土坑土層堆積状態（西より）

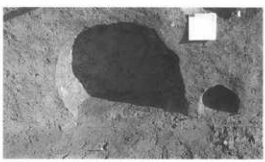


写真244　D126号土坑（南より）

写真245　D141号土坑土層堆積状態（西より）

写真246　D141号土坑（南より左側の土坑）

写真247　D152号土坑土層堆積状態（南より）

写真248　D152号土坑（西より）

写真249　D153号土坑土層堆積状態（南より）

写真250　D153号土坑（西より）

写真251　D155号土坑土層堆積状態（南より）

写真252　D155号土坑（西より）

写真253　D5号土坑土層堆積状態（西より）

写真254　D5号土坑（南より）

写真255　D16号土坑土層堆積状態（北より）

写真256　D16号土坑（北より）

ⅡB3 （やや楕円、中規模）遺物に特徴のある土坑

第57図　ⅡB3土坑（D5・D16・D57・D67・D150）

D5号土坑

検出位置　Bき7

重複関係　Tal1を切る

規模　146cm×126cm×52cm

長軸方位　N－23°－W

出土遺物　1．白磁小皿（中国産15C）

2．判読不明銭3．かわらけ4．凹石

D16号土坑

検出位置　Bき10　重複関係　P63

規模　102cm×76cm×12cm

長軸方位　N－12°－E

出土遺物　1．かわらけ、獣骨

D67号土坑

検出位置　Bこ4　規模　92cm×70cm×21cm

長軸方位　N－8°－W　出土遺物　アワビ・クロアワビ、1・2角釘3．古瀬戸灰釉おろし皿（14C後半）4．嘉祐元寶

D57号土坑

検出位置　Bく2　規模　112cm×92cm×27cm

長軸方位　N－79°－E　出土遺物　亀、犬頭骨

D150号土坑

検出位置　Eお9　規模　102cm×84cm×46cm

長軸方位　N－13°－W　出土遺物　アカニシ

写真257　D67号土坑土層堆積状態（西より）

写真258　D67号土坑アワビ（西より）

写真259　D67号土坑（西より）

写真260　D57号土坑礫出土状態（北より）

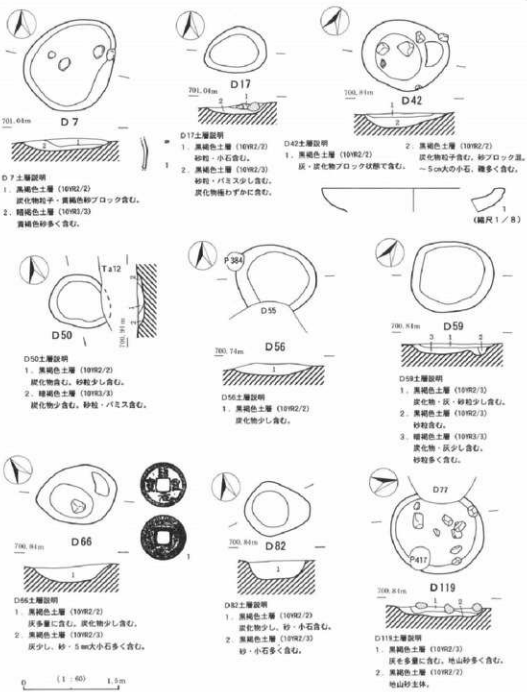
写真261　D57号土坑（西より）

写真262　D150号土坑礫出土状態（南より）

写真263　D150号土坑土層堆積状態（西より）

写真264　D150号土坑（西より）

ⅡＢ３　覆土に灰層・炭化物層を含む土坑。



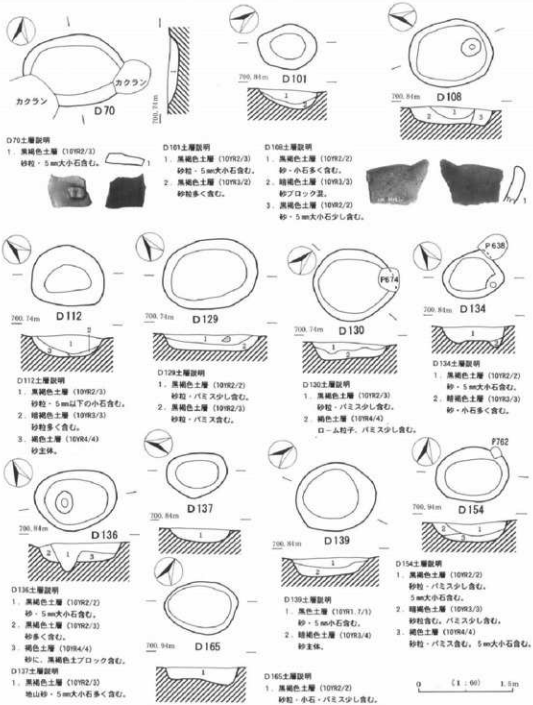
第58図　ⅡＢ３土坑（D7・D17・D42・D50・D56・D59・D66・D82・D77）

ⅡB3 （やや楕円・中規模）覆土に灰層・炭化物層を含む土坑。

遺構名	出土位置	重複関係	規模(長×短×深さ)	長軸方位	遺物
D7	Bけ8	—	156×130×21(cm)	N−46°−E	角釘1 礫4
D17	Bき9	—	96×75×20	N−80°−E	土鍋2
D42	Bく2	—	140×114×30	N−50°−E	茶白、上鍋2、貝3種
D50	Bき7	Taに12に切られる。	(100)×84×10	N−37°−W	—
D56	Bく2	D55・P384に切られる。	128×(99)×17	N−89°−E	—
D59	Bき3	Ta18・19を切る。	130×114×14	N−28°−W	—
D66	Bけ2	—	128×90×25	N−57°−W	紹聖元寶1 魚骨
D82	Bけ4	D81を切る。	106×87×30	N−78°−W	—
D119	Aけ9	D77とP417に切られる。	149×(122)×21	N−17°−E	かわらけ 礫9個

ⅡB3 （やや楕円・中規模）浅めの土坑。

遺構名	出土位置	重複関係	規模(長×短×深さ)	長軸方位	遺物
D70	Bこ2	一部攪乱され破壊	155×110×21(cm)	N−78°−E	青磁蓋(近)かわらけ4
D101	Eい3	—	96×72×30	N−34°−E	—
D108	Eう5	—	134×106×27	N−75°−W	瓦質擂鉢
D112	Eあ6	—	112×96×32	N−37°−W	—
D129	Eお1	—	150×112×25	N−51°−W	—
D130	Eお1	P674に切られる。	134×116×27	N−37°−E	—
D134	Eえ1	P638に切られる。	98×76×23	N−55°−W	—
D136	Eう2	—	128×93×30	N−81°−W	—
D137	Eう2	—	96×72×27	N−11°−W	—
D139	Eう2	—	130×108×32	N−37°−E	—
D154	Eか9	—	118×84×32	N−71°−E	—
D165	Eく8	P762に切られる。	114×84×27	N−75°−E	—
D170	Eう5	D105に切られる。	100×80×20	N−0°	—



第59図　ⅡB3土坑（D70・D101・D108・D112・D129・D130・D134・D136・D137・D139・D154・D165）

写真265　D７号土坑土層堆積状態（南より）

写真266　D７号土坑（北より）

写真267　D17号土坑土層堆積状態（南より）

写真268　D17号土坑（北より）

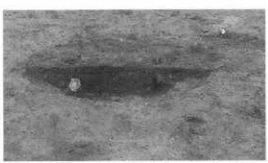


写真269　D42号土坑土層堆積状態（北より）

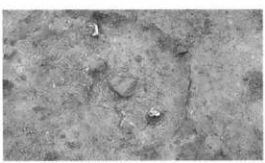


写真270　D42号土坑（南より）

写真271　D50号土坑土層堆積状態（西より）

写真272　D50号土坑（西より）

写真273　D56号土坑土層堆積状態（南より）

写真274　D56号土坑（北より）

写真275　D59号土坑土層堆積状態（南より）

写真276　D59号土坑（南より）

写真277　D66号土坑土層堆積状態（西より）

写真278　D66号土坑（西より）

写真279　D82号土坑（南より）

写真280　D119号土坑（東より）

写真281　D70号土坑土層堆積状態（西より）

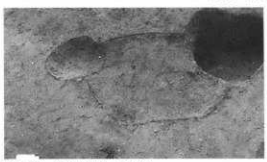


写真282　D70号土坑（北より）

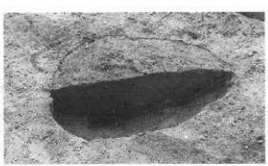


写真283　D101号土坑土層堆積状態（西より）

写真284　D101号土坑（東より）

写真285　D108号土坑土層堆積状態（西より）

写真286　D108号土坑（北より）

写真287　D112号土坑土層堆積状態（西より）

写真288　D112号土坑（西より）

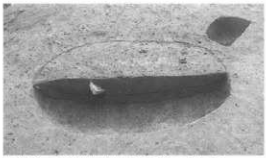


写真289　D129号土坑土層堆積状態（北より）

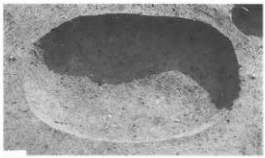


写真290　D129号土坑（東より）

写真291　D130号土坑土層堆積状態（南より）

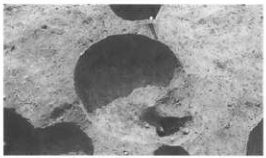


写真292　D130号土坑（東より）

写真293　D134号土坑土層堆積状態（西より）

写真294　D134号土坑（西より）

写真295　D136号土坑土層堆積状態（南より）

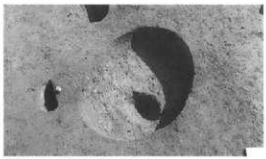


写真296　D136号土坑（西より）

写真297　D137号土坑土層堆積状態（東より）

写真298　D137号土坑（東より）

写真299　D139号土坑土層堆積状態（南より）

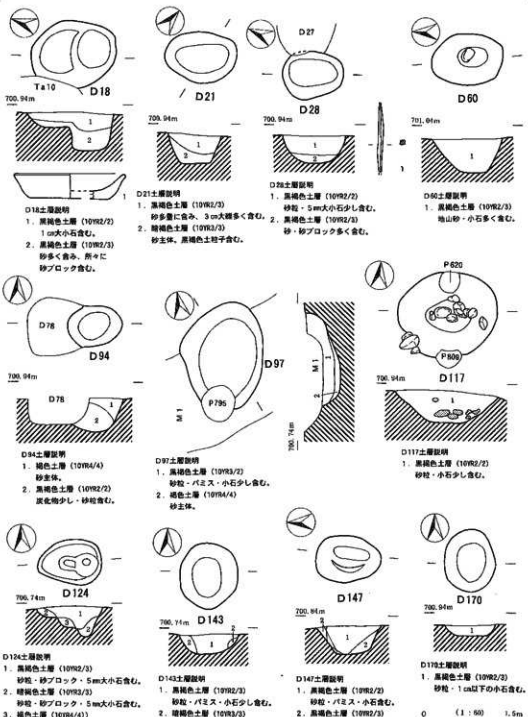
写真300　D139号土坑（東より）

写真301　D154号土坑土層堆積状態（南より）

写真302　D154号土坑（南より）

写真303　D18号土坑土層堆積状態（東より）

写真304　D18号土坑（東より）



第60図　ⅡB3土坑（D18・D21・D28・D60・D94・D97・D117・D124・D143・D147・D170）

ⅡＢ３　（やや楕円・中規模）深めの土坑。

遺構名	出土位置	重　複　関　係	規　模(長×短×深さ)	長軸方位	遺　物
D18	Bこ8	Ta10に切られる。	134×104×62(cm)	N－26°－W	かわらけ1 土鍋1
D21	Bけ5	D22を切る。	116×82×48	N－54°－E	－
D28	Bき9	D27に切られる。	96×72×46	N－22°－W	角釘1
D60	Bこ4	－	118×84×58	N－15°－W	－
D94	Aけ8	D78に切られる。	87×64×54	N－85°－E	－
D97	Eき5	M1・P795に切られる。	168×130×57	N－79°－W	－
D117	Eあ10	P620に切られる。	162×134×51	N－82°－E	貝2種
D124	Eう1	－	100×75×46	N－85°－E	－
D143	Eお3	－	104×94×27	N－2°－W	－
D147	Eお6	－	130×108×35	N－0°	－

写真305　D21号土坑土層堆積状態（西より）

写真306　D21号土坑（西より）

写真307　D28号土坑（西より）

写真308　D60号土坑（北より）

写真309　D60号土坑土層堆積状態（西より）

写真310　D94号土坑（南より）

写真311　D97号土坑土層堆積状態（西より）

写真312　D97号土坑（東より）

写真313　D117号土坑土層堆積状態（南より）

写真314　D117号土坑（西より）

写真315　D124号土坑土層堆積状態（南より）

写真316　D124号土坑（北より）

写真317　D143号土坑土層堆積状態（南より）

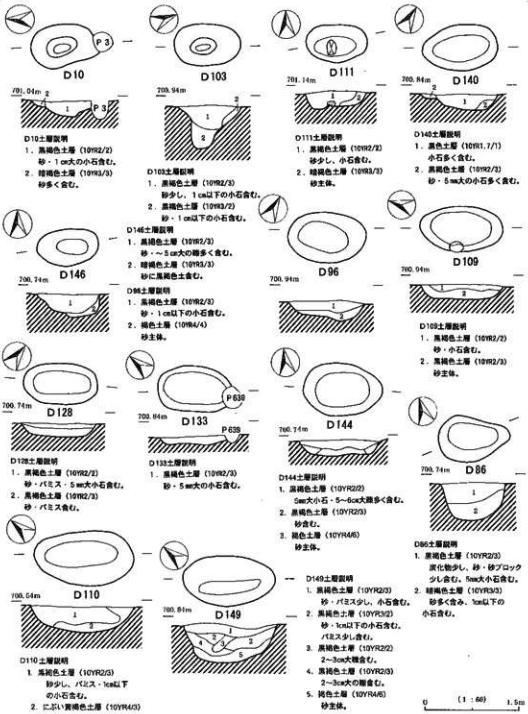
写真318 D143号土坑（南より）

写真319　D147号土坑土層堆積状態（西より）

写真320　D147号土坑（西より）

ⅡＣ３　（楕円・中規模）遺物もなく、特徴もない。D10～D146は１層が柱痕状に入り込む。D96～D159は浅く底面が平担。とそれ以外に３分してみた。

遺構名	出土位置	重複関係	規模(長×短×深さ)	長軸方位	遺物
D10	Bけ9	P３に切られる。	(84)×66×25(cm)	N－10°－W	－
D103	Eい4	Ta24を切る。	104×68×72	N－17°－E	－
D111	Aこ9	－	98×60×58	N－85°－W	礫1
D140	Eえ3	－	122×72×13	N－41°－W	－
D146	Eえ4	－	98×58×44	N－0°	－
D96	Eい2	－	126×78×28	N－58°－E	－
D109	Eい4	－	130×72×23	N－16°－W	礫1
D128	Eか1	－	118×64×22	N－63°－E	－
D133	Eえ1	P639に切られる。	120×70×15	N－39°－W	－
D144	Eお4	－	128×84×27	N－79°－W	－
D86	Dい10	－	114×70×59	N－71°－E	－
D110	Eい5	－	162×86×42	N－39°－W	－
D149	Eか7	－	146×80×62	N－38°－W	－



第61図　ⅡC3土坑（D10・D86・D96・D103・D109・D110・D111・D128・D133・D140・D144・D146・D149）

写真321　D10号土坑土層堆積状態（西より）

写真322　D10号土坑（右側、東より）

写真323　D103号土坑土層堆積状態（東より）

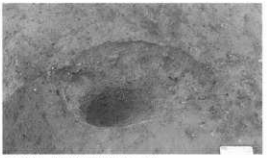


写真324　D103号土坑（東より）

写真325　D111号土坑土層堆積状態（南より）

写真326　D111号土坑（北より）

写真327　D140号土坑土層堆積状態（東より）

写真328　D140号土坑（東より）

写真329　D146号土坑土層堆積状態（南より）

写真330 D146号土坑（南より）

写真331　D96号土坑土層堆積状態（南より）

写真332　D96号土坑（北より）

写真333　D109号土坑土層堆積状態（西より）

写真334 D109号土坑（北より）

写真335　D128号土坑土層堆積状態（南より）

写真336　D128号土坑（北より）

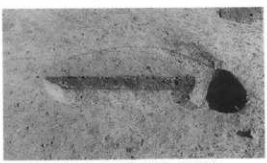


写真337　D133号土坑土層堆積状態（西より）

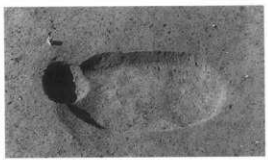


写真338　D133号土坑（東より）

写真339　D144号土坑土層堆積状態（南より）

写真340　D144号土坑（北より）

写真341　D86号土坑土層堆積状態（南より）

写真342　D86号土坑（西より）

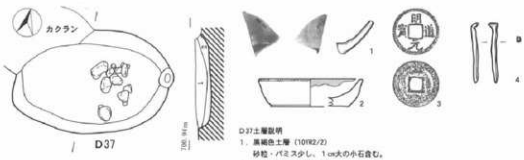
写真343　D110号土坑土層堆積状態（西より）

写真344　D110号土坑（南より）

写真345　D149号土坑土層堆積状態（西より）

写真346　D149号土坑（東より）

ⅡB4・ⅡC4・ⅡC5（楕円、大きい）



D37号土坑（ⅡC4）

検出位置　Bき10　重複関係　D38を切る。撹乱。

規模　244cm×134cm×22cm　長軸方位　N－76°－E

出土遺物　1．青磁速弁文碗（龍泉窯系13C）

2．かわらけ 3明道元寶4．角釘、礫あり。

D1号土坑（ⅡC5）

検出位置　Bく10

重複関係　D15を切る。

規模　290cm×172cm×9cm

長軸方位　N－7°－W

出土遺物　礫1個あり。

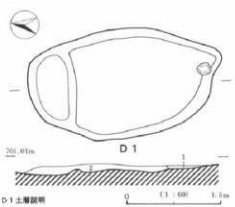
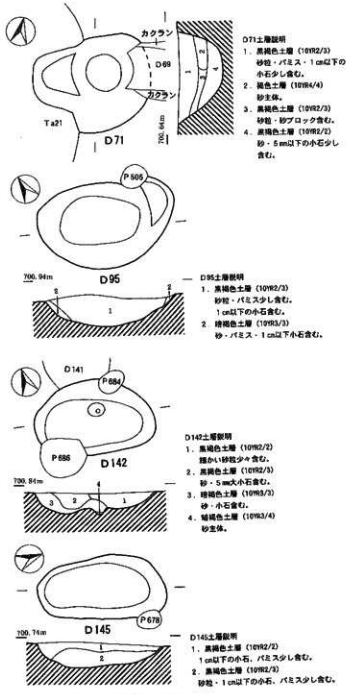


写真347　D149号土坑（南より）

第62図　ⅡC4土坑(D37)・ⅡC5土坑(D1)

ⅡB4・ⅡC4　(長楕円・大きい)



第63図　ⅡB4土坑(D71)・ⅡC4土坑(D95・D142・D145)

D71号土坑（ⅡB4）

検出位置　Bこ2
重複関係　Ta21・D69に切られる。
規模　180cm×150cm×72cm
長軸方位　N－76°－E
出土遺物　－

D95号土坑（ⅡC4）

検出位置　Eい2
重複関係　P505に切られる。
規模　217cm×138cm×55cm
長軸方位　N－53°－W
出土遺物　－

D142号土坑（ⅡC4）

検出位置　Eえ3
重複関係　D141・P684・P686に切られる。
規模　192cm×118cm×43cm
長軸方位　N－73°－W
出土遺物　－

D145号土坑（ⅡC4）

検出位置　Eか2
重複関係　P678に切られる。
規模　196cm×100cm×36cm
長軸方位　N－25°－E
出土遺物　－

写真348　D37号土坑土層堆積状態（西より）

写真349　D37号土坑（西より）

写真350　D１号土坑土層堆積状態（北より）

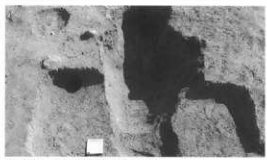


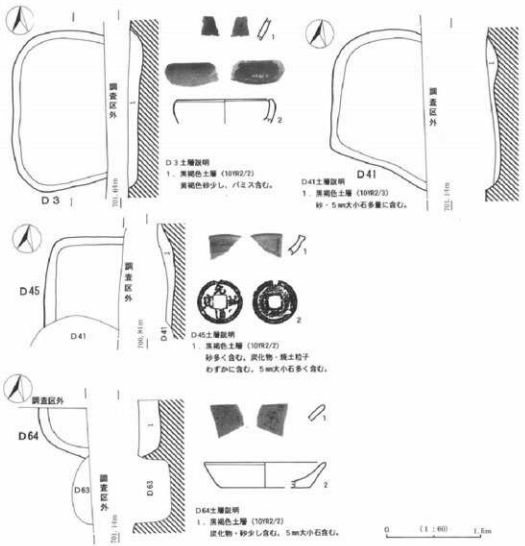
写真351　D71号土坑（西より）

写真352　D71号土坑土層堆積状態（南より）

写真353　D95号土坑（西より）

写真354　D95号土坑土層堆積状態（北より）

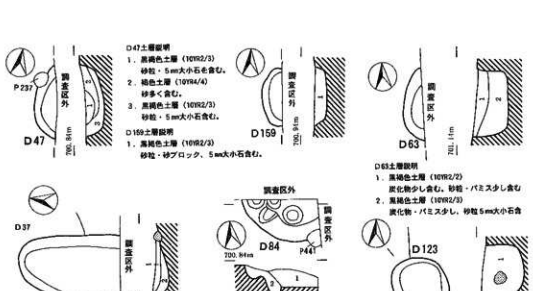
写真355　D145号土坑（西より）



第64図　1（方形）土坑（D3・D41・D45・D64）

写真356　D3号土坑（西より）

写真357　D3号土坑（南より）



第65図　Ⅱ土坑（D38・D47・D63・D84・D159）・補遺Ⅱ B3土坑（D123）

遺構名	出土位置	重　複　関　係	規　模（長×短×深さ）	長軸方位	遺　物
D3	Bか9	Ta5を切る。	250×〈146〉×17cm	N－0°	あり
D41	Bき4	D45を切る。	245×〈146〉×21	－	－
D45	Bき3	D41に切られる。	〈149〉×〈116〉×20	－	あり
D64	Bき1	D63に切られる。	〈78〉×〈75〉×33	－	あり
D47	Bき2	P237に切られる。	〈116〉×〈36〉×27	－	－
D159	Aく9	東側調査区外。	〈90〉×〈32〉×21	－	－
D63	Bき1	D64を切る。	〈113〉×〈33〉×54	－	－
D38	Cき1	D37に切られる。	〈155〉×116×24	N－0°	－
D84	Aく7	P441に切られる。	〈120〉×〈70〉×60	－	あり
D123	Fけ1	M2に切られる。	〈100〉×〈98〉×70	N－45°－W	－

D3出土遺物　1．瀬戸・美濃灰釉（器種・時代不明）2．香炉（瓦質、中世）、土鍋片2、かわらけ6

D45出土遺物　1．古瀬戸灰釉おろし皿（14C後半）2．元祐通寶

D64出土遺物　1．山茶碗系捏鉢　2．かわらけ3、貝（タニシ・アカニシ）

D84出土遺物　かわらけ2、土鍋1

写真358　D45・D41号土坑（西より）

写真359　D64号土坑（東より）

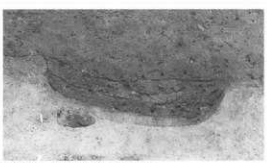


写真360　D47号土坑（西より）

写真361　D63号土坑（東より）

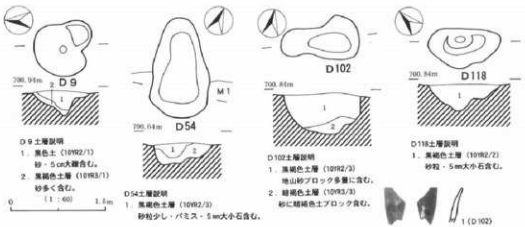
写真362　D38号土坑（北より）

写真363　D84号土坑（西より）

写真364　D123号土坑土層堆積状態（西より）

写真365　D123号土坑（南より）

ⅢA3・ⅢC3　(不整形な土坑)



第66図　ⅢA3土坑（D9）ⅢC3土坑（D54・D102・D118）

遺構名	出土位置	重　複　関　係	規　模(長×短×深さ)	長軸方位	遺　物
D9	Bこ7	−	98×90×58(cm)	N−42°−W	−
D54	Eく5	M1に切られる。	〈160〉×86×50	N−25°−W	−
D102	Eい3	−	134×46×71	N−81°−E	あり
D118	Eい9	−	114×60×46	N−50°−W	−

D102出土遺物　かわらけ1、瓦1、瀬戸・美濃碗(19C)

写真366　D9号土坑土層堆積状態（東より）

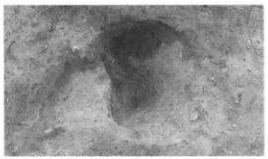


写真367　D9号土坑（北より）

写真368　D54号土坑土層堆積状態（南より）

写真369　D54号土坑（西より）

写真370　D102号土坑土層堆積状態（東より）

写真371　D102号土坑（東より）

写真372　D118号土坑土層堆積状態（東より）

写真373　D118号土坑（西より）

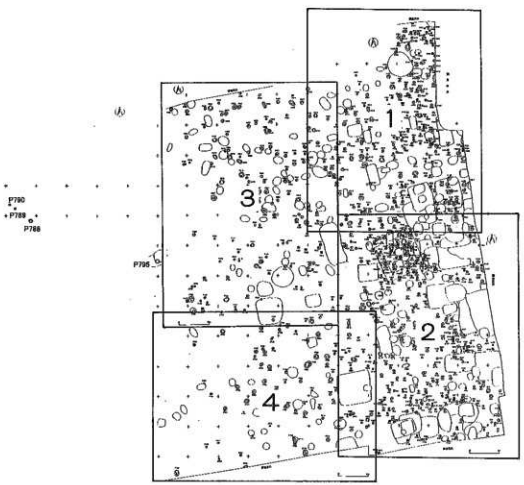
第6節　単独ピット

観音堂遺跡からは791個のピットが検出された。そのなかで、単独ピット（1）に示した柱穴列が2重にめぐるピット群は8.75m（桁行き）×7.5m（梁行き）の規模を持ち、整然とした柱穴配列ではないが、観音堂の地名に由来する、お堂の柱穴配列に組むことができ跡地ではないかと推測される。

『日本人の生活と文化11　祈願のかたち』（注2）「お堂とその周辺」によると、堂は行基が旅人の宿泊施設として、また仏教伝教の拠点として建てた布施屋がその先駆なものではなかったろうか。（略）その布施屋というのはどんな構造であったかというと、時代が少し下がるが鎌倉期の『西行物語絵巻』にみられるように屋根だけあっても、壁もなく、床すらも十分にはられていないと謂ったものだったのである。中世になると、全国を巡遊する念仏聖が活発に活動するようになった。（略）そして石塔や石仏、あるいはお堂を建てるくどくをといてまわった。（略）地縁関係で結ばれた新しい村落共同体が出来はじめ、中世も末ごろになると、村々にも、お堂が建ち、石塔・石仏などが建てられるようになった。とあり、3間×3間の本堂の建物が想定される。またお堂周

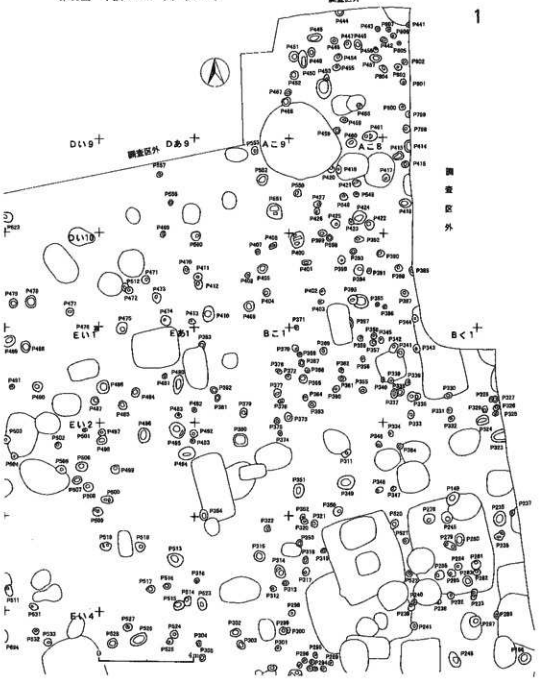
辺に墓地を持つとの記述もあり、土壙墓も検出されておることなど注目される。

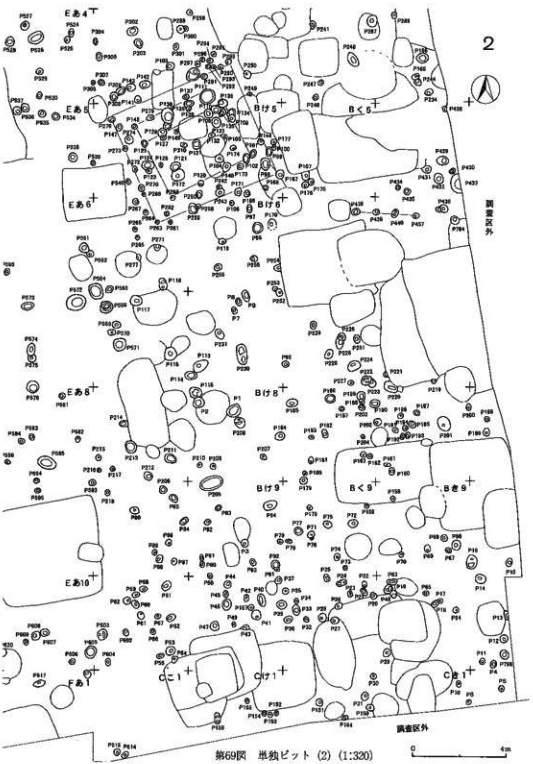
ピットの集中している場所があり、何らかの掘立柱の建物が想定されるが、不規則な柱穴の配列と、柱間規模が様々である中世においては推測の巾が大きくなるため、ピット群として扱った。



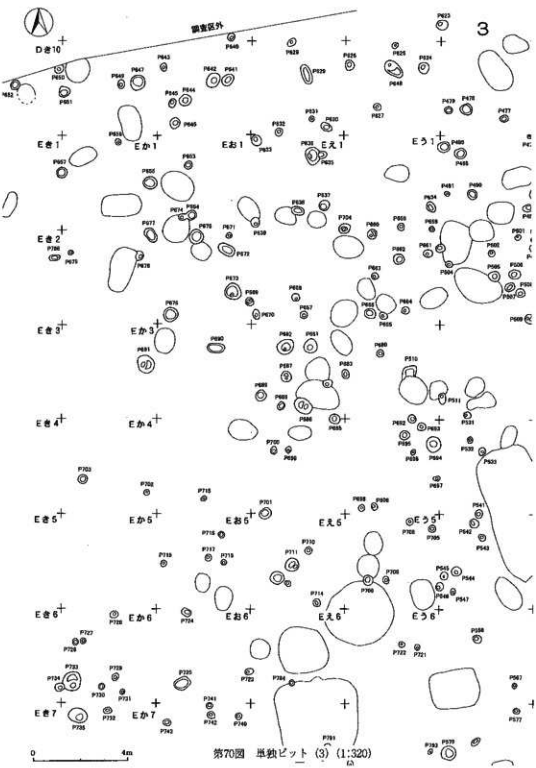
第67図　観音堂遺跡単独ピット全体図（1:500）

第68図　単独ピット（1）（1:320）





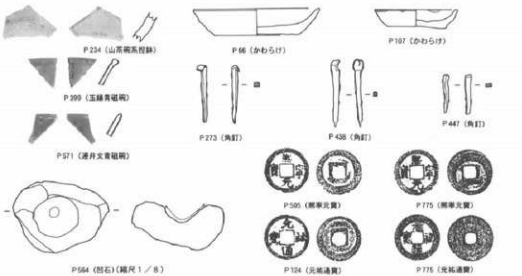
第69図　単独ピット（2）（1:320）



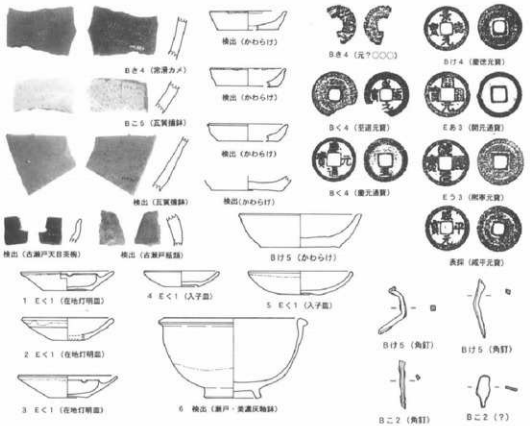
第70図　単独ピット（3）（1:320）

第71図　単独ピット(4)(1:200)

4



第72図　単独ピット出土遺物

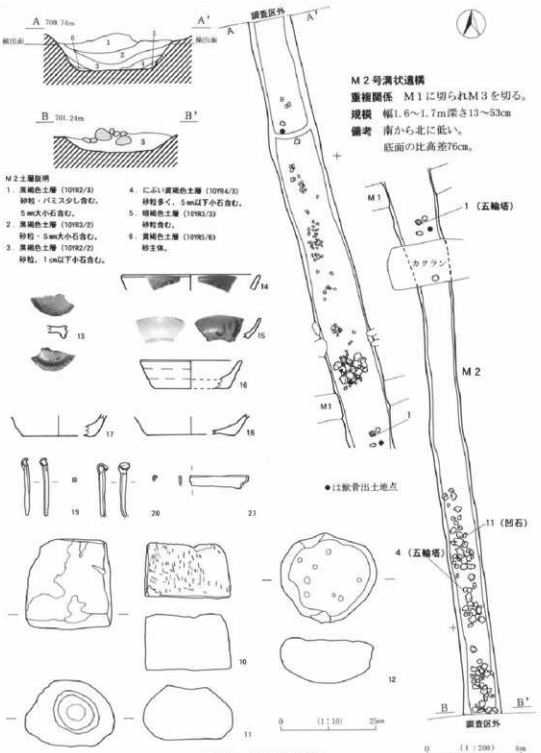


第73図　グリット・表採遺物

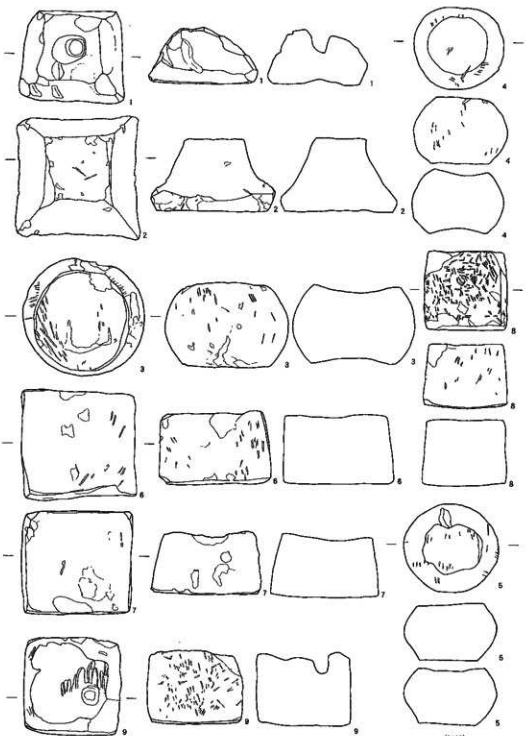
第７節　溝状遺構

観音堂遺跡からはＭ１・Ｍ２・Ｍ３号溝状遺構の３本が検出された。

第74図　M1・M3号溝状遺構



第75図　M2号溝状遺構



第76図　M2号溝状遺構

写真374　Ｍ１号溝状遺構（南より）

写真375　Ｍ１号土層堆積状態（東より）

写真376　Ｍ１号溝状遺構礫出土状況（西より）

写真377　Ｍ２号溝状遺構（南より）

写真378　Ｍ２号溝状遺構（南より）

写真379　M２号溝状遺構（南より）

写真380　M２号土層堆積状態（南より）

写真381　M２号礫出土状況（南より）

写真382　M２号礫出土状況（北より）

写真383　Ｍ２号五輪塔出土状況

写真384　Ｍ２号礫出土状況（南より）

写真385　Ｍ２号骨・五輪塔出土状況（西より）

写真386　Ｍ２号骨出土状況（南より）

写真387　Ｍ３号土層堆積状態（南より）

写真389　Ｍ３号溝状遺構（南より）

写真388　Ｍ３号骨出土状況

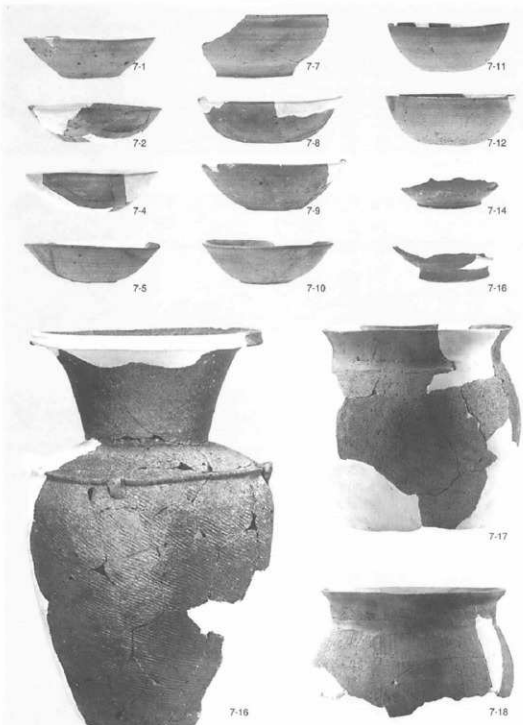


写真390　H 1 号住居跡（約1:4）

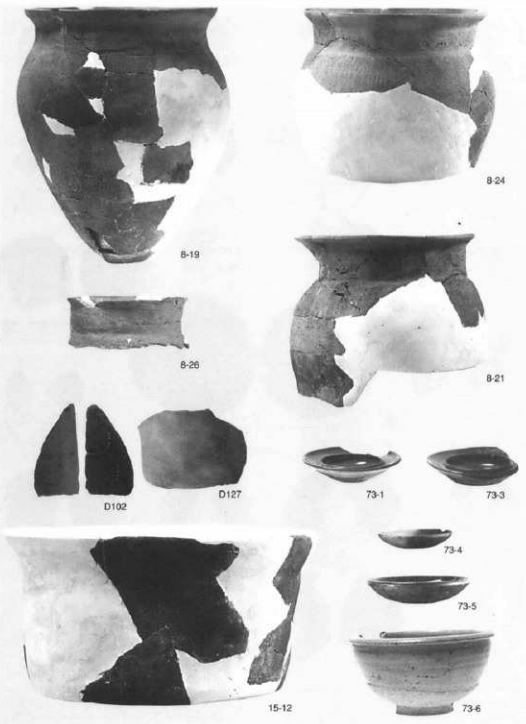
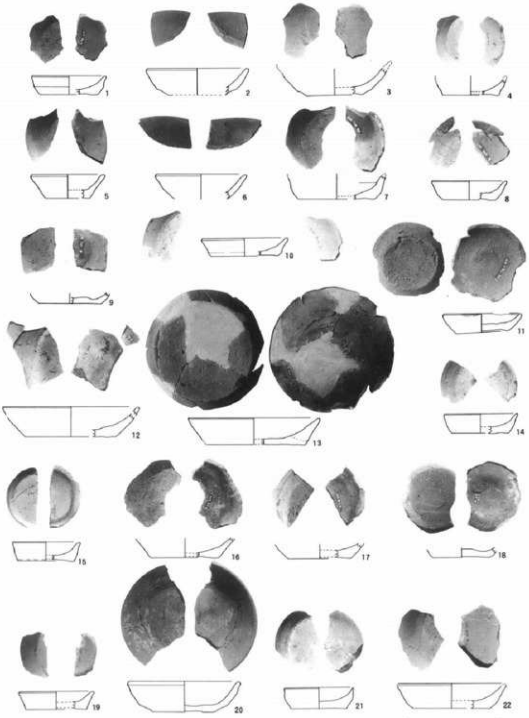
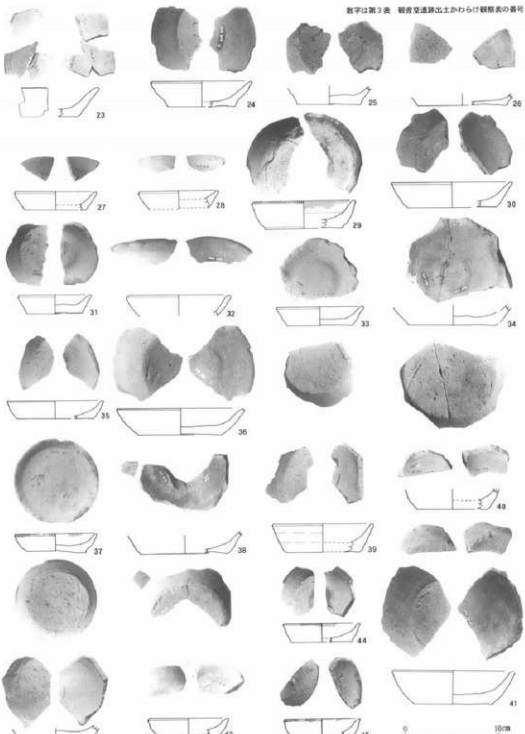


写真391　H1・Ta11・D23・D102・D127・グリット（約1:4）(15−12は約1:8)

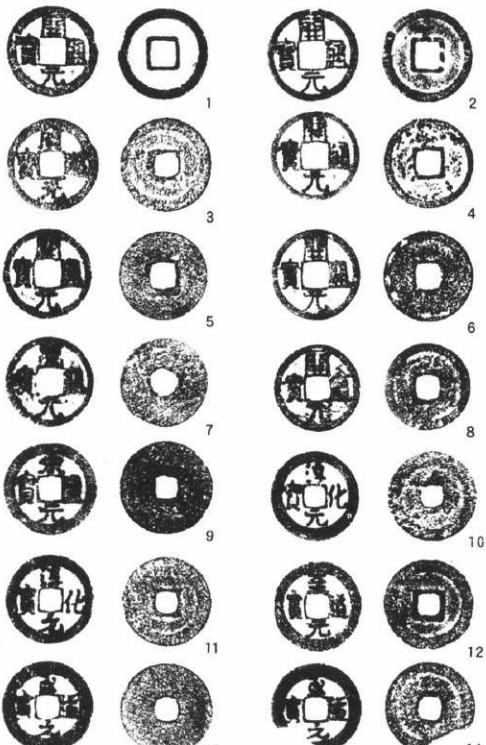


第77図　観音堂出土かわらけ（1）

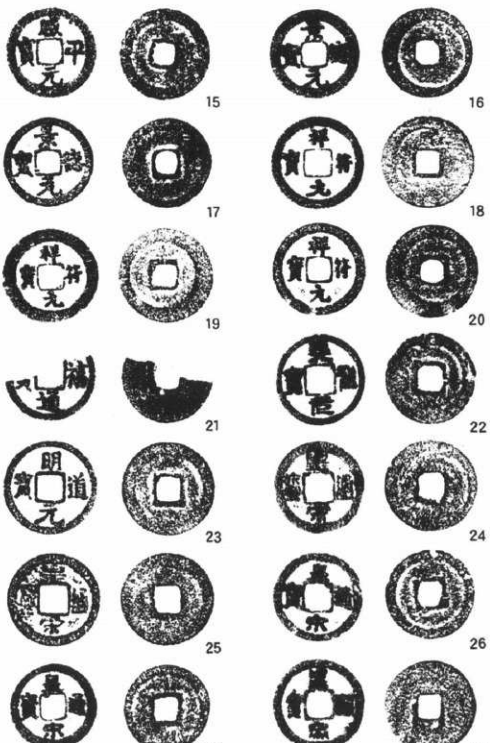
数字は第3表　観音堂遺跡出土かわらけ観察表の番号



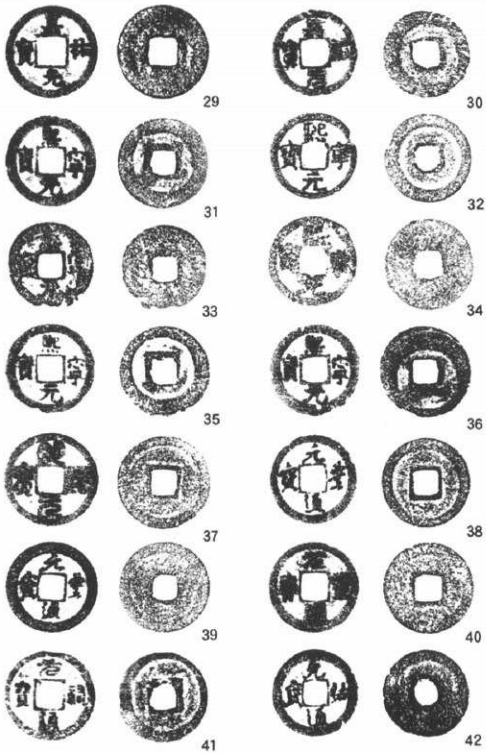
第78図　観音堂遺跡出土かわらけ（2）



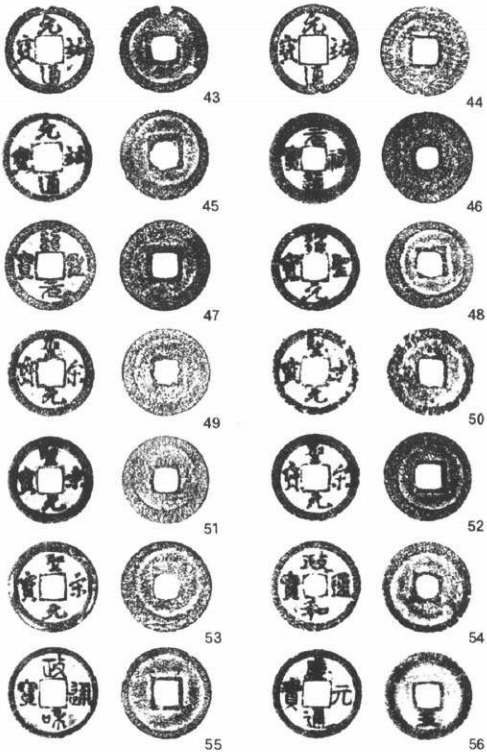
第79図　観音堂遺跡出土渡来銭拓影図（1）（原寸）



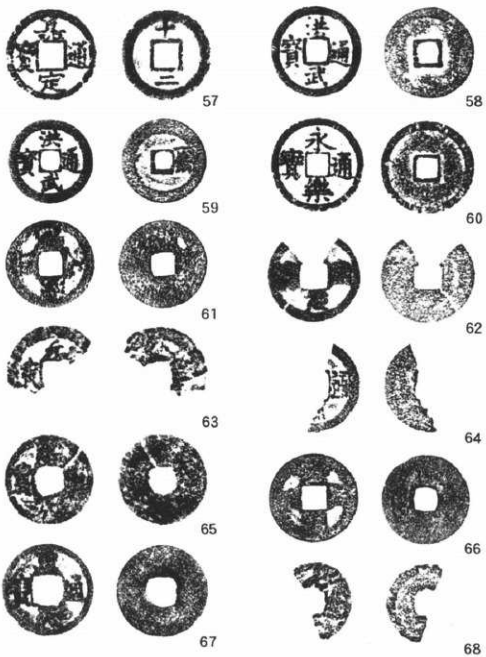
第80図　観音堂遺跡出土渡来銭拓影図（2）（原寸）



第81図　観音堂遺跡出土渡来銭拓影図（3）（原寸）



第82図　観音堂遺跡出土渡来銭拓影図（4）（原寸）



第83図　観音堂遺跡出土渡来銭拓影図（5）（原寸）

数字は第4表　観音堂遺跡出土渡来銭一覧表の番号

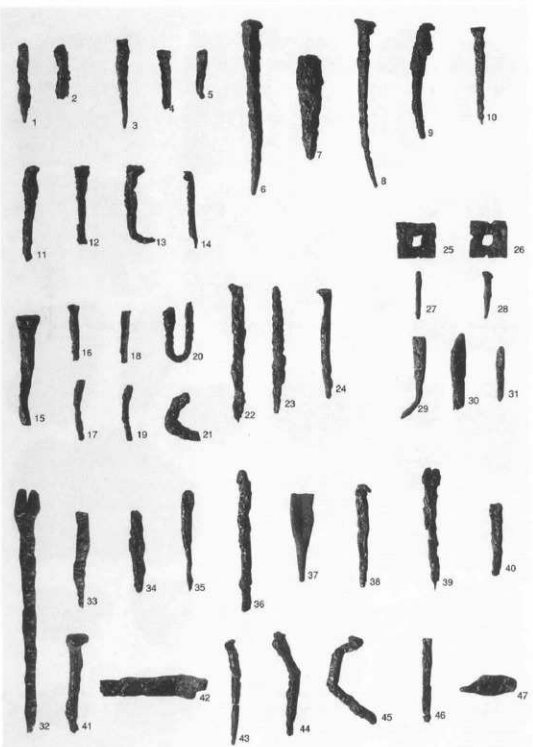


写真392　観音堂遺跡出土鉄製品・銅製品（約1:2）

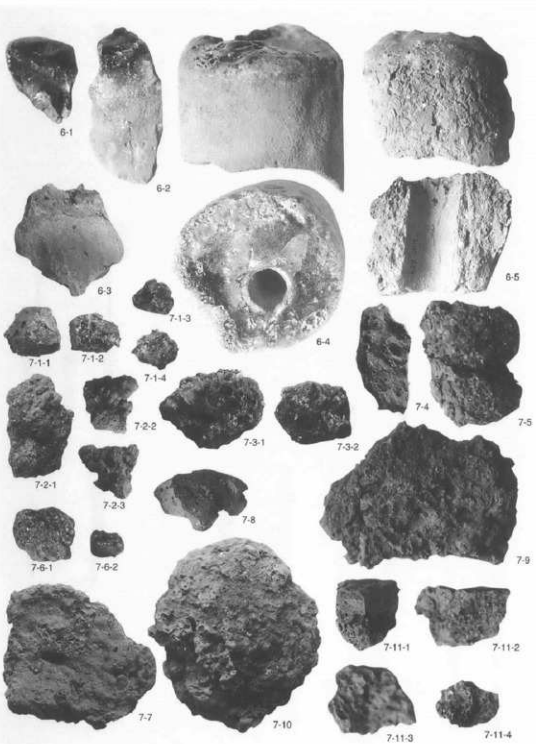


写真383　観音堂遺跡出土羽口・鉄滓（約1:2）

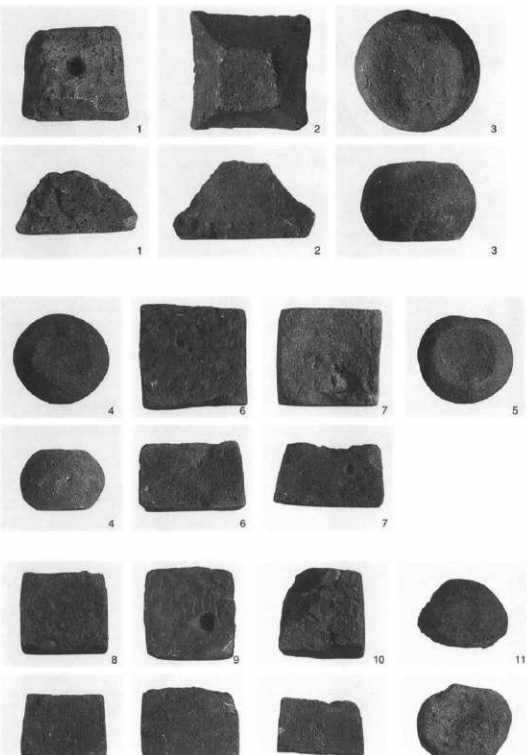


写真394　観音堂遺跡出土五輪塔・石製品（約1:10）

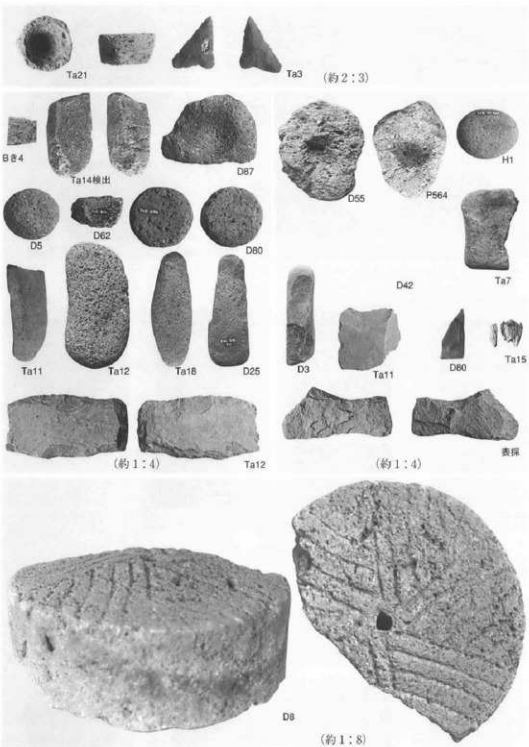


写真395　観音堂遺跡出土石製品

第2表　観音堂遺跡出土土器観察表

挿図番号	器種	法量	器形の特徴	成形・調整	備考
7－1	須恵器 坏	14.2 4.2 6.1		ロクロ成形。 底部回転糸切り。底部周縁部縁端。	完全実測。1/3口縁欠損。 色調　10YR7/1 （灰白色）　カマド出土。
7－2	須恵器 坏	(14.2) 4.2 (6.8)		ロクロ成形。 底部回転糸切り。	回転実測。 色調　5Y6/1 （灰白色）
7－3	須恵器 坏	(13.2) 4.4 (5.2)		ロクロ成形。 底部回転糸切り。	回転実測。1/3残存。 色調　10YR6/2 （灰黄褐色）
7－4	須恵器 坏	(13.8) 4.4 (5.1)		ロクロ成形。 底部回転糸切り。	回転実測。1/4残存。 色調　2.5Y6/1 （黄灰色）
7－5	須恵器 坏	14.4 4.2 5.1	全体にゆがむ。底部回転糸切を切す。	ロクロ成形。ロクロ回調整。 底部回転糸切り。	完全実測。ほぼ完存。 色調　2.5Y6/1 （黄灰色）火焼あり。
7－6	須恵器 坏	－ 2.3 (5.5)	内面調整。	ロクロ成形。 底部回転糸切り。	回転実測。底部1/2残存。 色調　10YR7/2 （にぶい黄橙色）　カマド出土。
7－7	須恵器 鉢	(15.2) 3.9 6.2	細い高台貼り付く。	ロクロ成形。ロクロ回調整。 底部回転糸切り。	回転実測。1/4残存。 色調　5Y6/1 （灰色）
7－8	土師器 坏	(15.4) 3.7 6.7		ロクロ成形。内面－ミガキ・黒色処理。 底部手持ちヘラ削り。	回転実測。底部1/2残存。 色調　5YR6/6 （橙色）
7－9	土師器 坏	(15.8) 5.2 6.2		ロクロ成形。 内面－ミガキ・黒色処理。2.5YR6/6脚色塗す。 外面－首下部手持ちヘラケズリ後ナデ。底部回転糸切り。	回転実測。1/3欠損。 色調　2.5YR4/4 （にぶい赤褐色）
7－10	土師器 坏	14.4 4.4 5.6		ロクロ成形。 内面－ミガキ・黒色処理色塗し2.5YR5/3にぶい赤褐色塗す。底部回転糸切り。周縁部縁なヘラ削り後ナデ。	完全実測。ほぼ完存。 色調　2.5YR6/6 （橙色）
7－11	土師器 坏	13.0 4.9 6.2	口縁部が開かない。丁寧な作り。	ロクロ成形。 内面－ミガキ・黒色処理。 外面部下部回転ヘラ削り。底部回転糸切り後回転ヘラケズリ。	完全実測。ほぼ完存。 色調　5YR5/4 （にぶい褐色）
7－12	土師器 坏	(17.5) 5.5 7.9	横置土器「上」。丁寧な作り。口縁部が開かない。	ロクロ成形。 内面－ミガキ・黒色処理。 外面部下部回転ヘラ削り。底部回転糸切り後回転ヘラケズリ。	完全実測。ほぼ完存。 色調　5YR5/8 （橙赤褐色）
7－13	土師器 坏	－ 2.4 7.0		ロクロ成形。 内面－ミガキ・黒色処理。 底部回転糸切り。	回転実測。底部のみ残存。 色調　5YR6/6 （橙色）
7－14	土師器 鉢	－ 2.1 7.1		ロクロ成形。 内底部回転糸切り→高台貼り付け。内面鉢対状のミガキ。黒色処理。	完全実測。底部のみ残存。 色調　7.5YR5/4 （にぶい褐色）
7－15	土師器 鉢	－ (4.8) 7.8		ロクロ成形。ロクロ回調整。 底部回転糸切り→高台貼り付け。内面ミガキ・黒色処理。	回転実測。 色調　5Y5/1 （灰色）

第2表　観音堂遺跡出土土器観察表(2)

挿図番号	器　種	法　量	器　形　の　特　徴	成　形・調　整	備　考
7−16	須恵器 四耳壺	(24.0) 41.0 16.6	口縁部大きく外反。胴部に凸帯が1本あり、穴無しの耳が付く。	ロクロ成形。外面平行タタキ目→口縁部胴最下部はロクロ横ナデ。底部ヘラナデ。内面口縁部ロクロ横ナデ。胴部あて具の押圧後してナデ。	回転実測。1/3残存。 色調　10YR4/2 (灰黄褐色) 自然釉付着
7−17	土師器 甕	20.0 〈19.7〉 −	口縁部「く」の字状。	外面−口縁部ヨコナデ、胴部ヘラケズリ。 内面−口縁部ヨコナデ、胴部ナデ。	回転実測。 色調　5YR5/6 (明赤褐色)
7−18	土師器 甕	19.8 〈11.6〉 −	口縁部「コ」の字状。	外面−口縁部ヨコナデ、胴部ヘラケズリ。 内面−口縁部ヨコナデ、胴部ナデ。	完全実測。 色調　10YR5/4 (にぶい赤褐色)
8−19	土師器 甕	20.6 26.5 4.2	口縁部「コ」の字状。	外面−口縁部ヨコナデ、胴部ヘラケズリ。 内面−口縁部ヨコナデ、胴部ナデ。	一部回転実測。1/2残存。 色調　7.5YR6/4 (にぶい赤褐色)
8−20	土師器 甕	(20.4) 〈13.2〉 −	口縁部「コ」の字状。	外面−口縁部ヨコナデ、胴部ヘラケズリ。 内面−口縁部ヨコナデ、胴部ナデ。	回転実測。1/3残存。 色調　5YR4/4 (にぶい橙色)
8−21	土師器 甕	20.0 〈11.0〉 −	口縁部「コ」の字状。	外面−口縁部ヨコナデ、胴部ヘラケズリ。 内面−口縁部ヨコナデ、胴部ナデ。	回転実測。1/3残存。 色調　7.5YR6/4 (にぶい赤褐色)
8−22	土師器 甕	21.2 8.1 −	口縁部「コ」の字状。	外面−口縁部ヨコナデ、胴部ヘラケズリ。 内面−口縁部ヨコナデ、胴部ナデ。	回転実測。 色調　5YR3/2 (暗赤褐色)
8−23	土師器 甕	− 〈8.0〉 (4.4)	22と接合資料か。	外面−口縁部ヨコナデ、胴部ヘラケズリ。 内面−口縁部ヨコナデ、胴部ナデ。	完全実測。2/3残存。 色調　5YR3/2 (暗赤褐色)
8−24	土師器 甕	20.0 〈15.6〉 −	口縁部「コ」の字状。	外面−口縁部ヨコナデ、胴部ヘラケズリ。 内面−口縁部ヨコナデ、胴部ナデ。	完全実測。胴部回転実測。 色調　5YR5/6 (明赤褐色)
8−25	土師器 甕	(18.8) 〈6.5〉 −	口縁部「コ」の字状。	外面−口縁部ヨコナデ、胴部ヘラケズリ。 内面−口縁部ヨコナデ、胴部ナデ。	回転実測。1/4残存。 色調　5YR5/6 (明赤褐色)
8−26	土師器 甕	(13.0) 〈4.9〉 −	口縁部「コ」の字状。	外面−口縁部ヨコナデ、胴部ヘラケズリ。 内面−口縁部ヨコナデ、胴部ナデ。	完全実測。 色調　7.5YR6/4 (にぶい橙色)

第3表 観音堂遺跡出土かわらけ観察表

挿図番号	出土位置	法量	器形の特徴	成形・調整	備考
78−1	Ta4	8.0 2.2 6.0	内外面に油煙付着。	ロクロ成形。底部回転糸切り。	回転実測。1/4残存。 色調 7.5YR1.7/1 (黒色)
78−2	Ta5 東側	(11.0) 3.8 (6.0)	胎土極細かい。	ロクロ成形。	回転実測。1/8残存。 色調 5YR5/6 (明赤褐色)
78−3	Ta5 西側	(12.0?) 〈2.5〉 (6.2)		ロクロ成形。底部回転糸切り。	回転実測。1/4残存。 色調 10YR4/3 (にぶい黄褐色)
78−4	Ta6	(7.6?) 〈1.7〉 (5.1)		ロクロ成形。底部回転糸切り。	回転実測。1/4残存。 色調 7.5Y7/6 (橙色)
78−5	Ta7 東側	(7.8) 2.5 (4.6)	焼成良好。	ロクロ成形。底部回転糸切り。	回転実測。1/4残存。 色調 10Y6/4 (にぶい黄橙色)
78−6	Ta7 東側	9.8 2.6 (5.4)	外面煤付着。	ロクロ成形。	回転実測。1/4残存。 色調 10YR5/2 (灰黄褐色)
78−7	Ta11 検出	(12.6?) 〈2.7〉 (8.2)	外面剥れた油煙付着。	ロクロ成形。底部回転糸切り。	回転実測。1/3残存。 色調 10YR8/4 (浅黄橙色)
78−8	Ta11	(8.2) 2.0 (5.6)		ロクロ成形。底部回転糸切り。	回転実測。1/4残存。 色調 7.5YR7/4 (にぶい橙色)
78−9	Ta11" 北側	− 〈1.3〉 (6.6)		ロクロ成形。底部回転糸切り。	回転実測。1/4残存。 色調 10YR5/3 (にぶい褐色)
78−10	Ta11 南側	(9.2) 1.9 (7.0)		ロクロ成形。底部回転糸切り。	回転実測。1/3残存。 色調 7.5YR5/6 (橙色)
78−11	Ta11 検出	8.2 2.1 5.1		ロクロ成形。底部回転糸切り。	完全実測。口縁部一部欠損。 色調 10YR5/4 (にぶい褐色)
78−12	Ta12	(14.4) 〈3.2〉 (9.6)		ロクロ成形。底部回転糸切り。	回転実測。1/4残存。 色調 2.5Y7/3 (浅黄色)
78−13	Ta24	14.0 2.8 10.2		ロクロ成形。底部回転糸切り。	完全実測。ほぼ完存。 色調 7.5YR7/4 (にぶい橙色)
78−14	Ta25	(8.0) 2.1 (6.0)	口縁部に油煙付着。	ロクロ成形。底部回転糸切り。	回転実測。1/6残存。 色調 10YR8/4 (浅黄橙色)
78−15	Ta25	(7.0) 2.0 6.0		ロクロ成形。底部回転糸切り。	回転実測。1/4残存。 色調 7.5YR7/6 (橙色)
78−16	D4 東側	− 〈2.0〉 (7.0)		ロクロ成形。底部回転糸切り。	回転実測。1/4残存。 色調 7.5YR7/6 (橙色)
78−17	D4 東側	− 〈1.5〉 (6.6)		ロクロ成形。底部回転糸切り。	回転実測。1/4残存。 色調 10YR7/4 (にぶい黄橙色)
78−18	D5 西側	− 〈1.1〉 (6.0)	煤付着内外面黒色。	ロクロ成形。底部回転糸切り。	回転実測。底部存。 色調 7.5YR1.7/1 (黒色)
78−19	D12	(8.0) 1.9 (6.4)		ロクロ成形。底部回転糸切り。	回転実測。1/4残存。 色調 5YR5/6 (明赤褐色)
78−20	D13	(13.6) 3.2 (6.6)	見込みにヘラ状具を引いた押圧痕あり。底部にもハケ目状の擦し引きあり。胎土極細かい。	ロクロ成形。底部糸切り。	回転実測。1/3残存。 色調 5YR5/6 (明赤褐色)
78−21	D16	(7.4) 2.2 (6.0)	よく焼けている。内側自然釉付着(5Y5/1灰色)。	ロクロ成形。底部回転糸切り。	回転実測。1/2残存。 色調 2.5Y6/1 (黄灰色)
78−22	D18	(11.2) 〈2.6〉 (8.2)		ロクロ成形。底部回転糸切り。	回転実測。1/4残存。 色調 5YR6/6 (橙色)
79−23	D19	− − −		ロクロ成形。底部回転糸切り。	部分実測。 色調 10YR7/4 (にぶい黄橙色)

第３表　観音堂遺跡出土かわらけ観察表(2)

掲載番号	出土位置	法　量	器形の特徴	成形・調整	備　考
79−24	D19 底面	(10.8) 2.7 (7.2)		ロクロ成形。 底部回転糸切り。	回転実測。1/4現存。 色調　7.5YR5/4 （灰黄褐色）
79−25	D19	− (1.2) (5.8)		ロクロ成形。 底部回転糸切り。	回転実測。1/3現存。 色調　7.5YR5/4 （灰黄褐色）
79−26	D30	− 0.9 (9.4)		ロクロ成形。 底部回転糸切り，ナデ	回転実測。1/3現存。 色調　7.5YR7/6 （橙色）
79−27	D22 底面	(8.6) 2.9 (6.4)		ロクロ成形。	回転実測。1/5現存。 色調　7.5YR7/6 （橙色）
79−28	D26	(9.4) 1.9 (6.4)		ロクロ成形。	回転実測。1/5現存。 色調　10YR8/3 （浅黄橙色）
79−29	D27	(11.0) 2.9 (8.2)		ロクロ成形。 底部回転糸切り。	回転実測。1/7現存。 色調　7.5YR7/4 （にぶい橙色）
79−30	D61	(12.8) 2.7 (9.6)		ロクロ成形。 底部回転糸切り。	回転実測。1/4現存。 色調　7.5YR6/4 （にぶい橙色）
79−31	D89	7.8 2.1 6.6	よく焼き締まる。	ロクロ成形。 底部回転糸切り。	完全実測。焼成良好。 色調　5YR6/6 （橙色）
79−32	D89	(14.6) (2.3) −	内面口唇部に煤付着。	ロクロ成形。 底部回転糸切り。	回転実測。1/6現存。 色調　7.5YR7/4 （にぶい橙色）
79−33	D89	(8.4) 2.6 6.8		ロクロ成形。 底部回転糸切り。	回転実測。2/3現存。 色調　5YR5/4 （にぶい赤褐色）
79−34	D89	− (1.5) (9.2)		ロクロ成形。底部回転糸切り。	回転実測。底部残存。 色調　5YR7/6 （橙色）
79−35	D119	(10.2) 1.9 (8.2)		ロクロ成形。 底部回転糸切り。	回転実測。1/4現存。 色調　5YR6/6 （橙色）
79−36	P56	(13.0) 2.8 (9.0)	煤付着。	ロクロ成形。 底部回転糸切り。	回転実測。底部欠。 色調　5YR5/4 （にぶい赤褐色）
79−37	P107	6.8 2.0 6.1	口唇部に油煙付着。	ロクロ成形。 底部回転糸切り。	完全実測。完形。 色調　7.5YR6/6 （橙色）
79−38	M32	− (2.3) (9.2)		ロクロ成形。 底部回転糸切り。	回転実測。1/4現存。 色調　7.5YR7/4 （にぶい橙色）
79−39	M42	(10.8) 3.1 (7.6)	内面煤付着。	ロクロ成形。 底部回転糸切り。	回転実測。1/2現存。 色調　7.5YR7/4 （にぶい橙色）
79−40	M2	− (2.3) (7.4)	外面に黒ぶあり。	ロクロ成形。 底部回転糸切り。	回転実測。1/4現存。 色調　10YR7/4 （にぶい黄橙色）
79−41	D175	(13.8) 3.5 (8.3)	全体に煤付着。	ロクロ成形。 底部回転糸切り。	回転実測。2/3現存。 色調　7.5YR6/3 （にぶい褐色）
79−42	撹乱	− (1.5) (7.8)		ロクロ成形。 底部回転糸切り。	回転実測。1/3現存。 色調　7.5YR8/4 （浅黄橙色）
79−43	撹乱	(8.6) 1.8 (6.4)		ロクロ成形。 底部回転糸切り。	回転実測。1/3現存。 色調　7.5YR7/4 （浅黄橙色）
79−44	撹乱	(8.2) 2.0 (5.4)	口唇部に油煙付着。	ロクロ成形。 底部回転糸切り。	回転実測。1/4現存。 色調　10YR7/4 （にぶい黄橙色）
79−45	撹乱	(8.2) 1.9 (5.6)	口唇部に油煙付着。	ロクロ成形。 底部回転糸切り。	回転実測。1/4現存。 色調　7.5YR7/6 （橙色）

第4表　観音堂遺跡出土渡来銭一覧表

挿図番号	銭名	初鋳年（西暦）	法量 径(cm)	法量 厚さ(g)	出土遺構	備考
1	開元通寶	唐（621）	2.45	2.65	Eあ3	
2	〃	〃	2.45	3.25	Ta7床	背文上月
3	〃	〃	2.48	3.02	〃	
4	〃	〃	2.415	2.15	〃	
5	〃	〃	2.38	2.84	D68	
6	〃	〃	2.435	3.22	D121　№1	背文上月
7	〃	〃	2.385	3.21	D121　№9	
8	〃	〃	2.335	2.76	D158	
9	宋通元寶	北宋（960）	2.49	2.55	D48	
10	淳化元寶	北宋（990）	2.41	3.15	Ta7床	
11	〃	〃	2.365	3.01	D121　№10	
12	至道元寶	北宋（995）	2.41	2.99	Ta19	
13	〃	〃	2.445	3.09	D121　№10	
14	〃	〃	2.445	3.08	Bく4	
15	咸平元寶	北宋（998）	2.42	3.04	表採	
16	景徳元寶	北宋（1004）	2.43	3.59	D162	
17	〃	〃	2.395	3.23	Bけ4	
18	祥符元寶	北宋（1008）	2.5	3.36	Ta7東	
19	〃	〃	2.545	3.72	D162	
20	〃	〃	2.505	3.86	D74	
21	天禧通寶	北宋（1017）	2.43	1.91	D20	約1/2欠損
22	天聖元寶	北宋（1023）	2.435	3.20	D162	
23	明道元寶	北宋（1032）	2.51	3.23	D37	

第4表　観音堂遺跡出土渡来銭一覧表(2)

掲図番号	銭名	初鋳年(西暦)	法量 直径(cm)	法量 重さ(g)	出土遺構	備考
24	皇宋通寶	北宋 (1038)	2.41	3.35	Ta 1	
25	〃	〃	2.485	3.81	Ta 7 東	
26	〃	〃	2.41	3.10	Ta22	
27	〃	〃	2.335	3.24	D 20	
28	〃	〃	2.48	3.32	D 162	
29	嘉祐元寶	北宋 (1056)	2.48	3.81	D 67	
30	〃	〃	2.33	2.87	D 152	
31	熙寧元寶	北宋 (1068)	2.45	3.42	D 68	
32	〃	〃	2.365	2.92	D 158	
33	〃	〃	2.305	2.93	D 158	
34	〃	〃	2.395	2.69	D 158	
35	〃	〃	2.44	3.60	P 505	
36	〃	〃	2.43	2.54	P 775	
37	〃	〃	2.51	3.38	ﾋう 3	
38	元豊通寶	北宋 (1078)	2.39	3.33	D 158	
39	〃	〃	2.455	3.23	Ta21	
40	〃	〃	2.445	2.97	P 597	
41	元祐通寶	北宋 (1086)	2.41	3.35	Ta 5	
42	〃	〃	2.345	2.92	Ta 7 床	
43	〃	〃	2.39	3.01	D 45	
44	〃	〃	2.42	3.73	D 90	
45	〃	〃	2.43	3.17	P 124	
46	〃	〃	2.465	4.44	P 775	

第４表　観音堂遺跡出土渡来銭一覧表(3)

挿図番号	銭名	初鋳年（西暦）	法量 径径(cm)	法量 厚さ(cm)	出土遺構	備考
47	紹聖元寶	北宋（1094）	2.445	3.15	D 66	
48	〃	〃	2.38	3.68	D 68	
49	建炎元寶	北宋（1101）	2.375	3.61	Ta7 床	
50	〃	〃	2.345	2.60	Ta7 床	
51	〃	〃	2.365	3.95	Ta7 床	
52	〃	〃	2.37	2.76	D 20	
53	〃	〃	2.46	3.33	D 121　№ 1	
54	政和通寶	北宋（1111）	2.395	2.90	P 597	
55	〃	〃	2.43	3.25	P 78	
56	慶元通寶	北宋（1195）	2.4	3.12	B く 4	背文「五」
57	嘉定通寶	南宋（1208）	2.385	2.95	M 3	背文「十二」
58	洪武通寶	明（1368）	2.43	3.74	Ta 7 東	
59	〃	〃	2.27	3.67	Ta 7 東	背文「一銭」
60	永樂通寶	明（1408）	2.5	3.12	D 12	
61	○○○○		2.36	2.63	Ta 1	判読不明
62	○寧元○		2.485	2.91	Ta 7 床	1/4 欠損
63	元○○寶		2.48	1.58	Ta 7 床	1/2 欠損
64	○○通○		2.48	0.93	Ta19	1/3 欠損
65	○○○寶		2.39	2.25	Ta21	判読不明
66	○○○○		2.385	2.91	D 5 東	判読不明
67	○○通寶		2.45	1.99	D 31	判読不明
68	○○○○		2.145	1.15	B き 4	約 1/2 欠損

第5表　観音堂遺跡出土鉄・銅製品　一覧表

NO	器　種	法　量				出　土　遺　構	備　　考
		長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)		
1	角釘	4.5	0.5	0.3	2.76	Ta5 西	端部欠損
2	〃	(3.0)	0.5	0.5	3.49	Ta5	頭部・端部欠損
3	〃	(5.2)	0.6	0.5	4.04	Ta5	頭部・端部欠損
4	〃	(3.3)	0.6	0.45	2.61	〃	頭部・端部欠損
5	〃	(3.0)	0.5	0.4	2.04	〃	頭部・端部欠損
6	〃	10	1.05	1.05	15.40	Ta7 東	完形
7	釘？	5.8	0.9	0.8	24.65	〃	頭部欠損
8	角釘	9.8	0.5	0.4	8.50	Ta11 北	完形
9	〃	(6.7)	0.6	0.5	7.54	Ta13 P 1	先端欠損
10	〃	(5.6)	0.5	0.4	4.03	Ta14 西	〃
11	〃	(5.5)	0.5	0.4	6.13	Ta14 東	〃
12	〃	(4.5)	0.45	0.4	3.77	Ta17 西	〃
13	〃	(4.5)	0.55	0.5	4.93	Ta22 北	先が折れ曲がる
14	〃	(4.4)	0.4	0.25～0.3	2.02	Ta24	頭が潰け先端欠損
15	〃	(6.4)	0.6	0.55	13.53	Ta24	先端欠損
16	〃	(3.2)	0.4	0.4	1.82	〃	先端欠損
17	〃	(4.1)	1.5	0.4	2.20	Ta26	頭部・先端欠損
18	〃	(3.0)	0.45	0.35	1.53	〃	〃
19	〃	(3.1)	0.45	0.3	1.14	D 7	〃
20	〃	(7.0)	0.6	0.35～0.4	5.77	D19北	折れ曲がる。先端欠損
21	〃	(4.0)	0.6	0.55	4.09	D78	折れ曲がる
22	〃	(8.0)	0.6	0.4	9.79	D11	先端欠損
23	角釘？	(12.4)	0.5	0.4	6.13	D28	
24	角釘	7.4	1.5	0.3	5.19	D37	完形
25	鋲釘	2.2	1.9	0.25	3.64	D36	
26	〃	2.05	2.05	0.15	2.97	〃	
27	角釘	(2.7)	0.4	0.25	0.54	〃	頭部欠損
28	〃	(2.7)	0.4	0.3	1.05	〃	
29	〃	(6.6)	0.6	0.25	4.48	〃	端部折れ曲がる
30	〃	(10.0)	0.7	0.4	6.51	〃	二つに折れている
31	〃	(3.0)	0.48	0.25	1.33	D36	頭部・先端部欠損
32	角釘？	(13.7)	0.6	0.5	23.47	D67	先端欠損
33	角釘	(5.9)	0.25	0.4	5.67	〃	頭部・先端欠損
34	〃	(4.6)	0.6	0.45	4.24	D80	〃
35	〃	(5.9)	0.55	0.4	3.85	D107	〃
36	〃	(7.9)	0.6	0.4	8.80	D90	2つに折れている。〃
37	キセル	4.9	1.4	0.4	3.02	D122	吸い口部分つぶれている。銅製品
38	角釘	6.0	0.5	0.4	5.21	P273	完形
39	〃	(6.0)	0.5	0.4	7.67	P438	先端部欠ける
40	〃	(4.3)	0.5	0.35	4.20	P447	〃
41	〃	(5.6)	0.5	0.4	6.72	M 2	〃
42	刀子	(5.6)	1.4	0.3	7.48	〃	先端、柄の部分欠損
43	角釘	(6.0)	0.4	0.4	2.79	〃	2コに折れている
44	〃	(6.2)	0.4	0.3	5.39	包け5	折れ曲がっている
45	〃	(5.7)	0.5	0.4	8.07	〃	〃
46	〃	(4.8)	0.45	1.25	2.87	Bこ2	頭部・先端部分欠損
47	刀子？	(3.4)	1.35	0.2	3.59	〃	先端・柄の一部欠損

第6表　観音堂遺跡出土羽口一覧表

NO	法量(cm)			出土遺構	形態の特徴	備考
	全長	外径	内径			
1	<4>	—	—	Ta11・12検出面	口部熱を受け融解し黒色に変化	口部部のみ残存
2	<7.8>	—	—	Ta14検出面	口部熱を受け黒色に変化　粘土、小石・砂含む	口部部約1/10残存
3	<5.8>	—	—	Ta27北	口部わずか熱を受け黒色に変化	口部部約1/5残存
4	<6.7>	8.0	2.0	M 1	口部熱を受け黒色に変化　粘土、砂質	口部部先端が少し欠けるがほぼ完存
5	<5.9>	7.2	3.3	Aこ9	口部熱を受け融解し黒色に変化 粘土3cm大小石含む　もろい	口部部約1/2残存

第7表　観音堂遺跡出土鉄滓一覧表

NO	法量				出土遺構	備考
	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)		
1－1	2.6	2.5	2.2	27	Ta15北	茶褐色、赤黒色、暗灰色
1－2	2.6	2.1	2.0	16.5	〃	
1－3	2.2	1.9	1.2	7.0	〃	
1－4	2.2	1.8	1.3	7.5	〃	
2	5.2	3.4	2.7	56.0	Ta19	茶褐色、暗灰色、赤黒色
	3.0	2.8	2.0	17.5	〃	
	3.2	2.8	1.9	16.5	〃	
3－1	4.8	3.8	3.7	89.5	Ta20	赤褐色、暗灰色、赤黒色、白色
3－2	4.0	3.1	2.5	47	〃	
4	5.7	2.8	1.8	53	Ta22	一部熱のため黒色（光沢あり）　灰黄褐色、黄褐色
5	6.2	4.7	3.3	127.5	Ta27南	赤茶色、灰黄褐色、暗灰色
6	3.0	2.9	1.8	35.5	D93	暗灰色、赤茶色、黄灰色
	1.7	1.2	1.1	4.5	〃	
7	8.6	7.2	2.5	179.5	D122	灰黄褐色、暗灰色、茶色
8	5.0	3.0	2.0	44	D122	灰黄褐色、灰黒褐色
9	10.2	6.5	3.0	322	D150　№1	黄褐色、赤茶色
10	9.1	8.0	3.2	364.5	D150　№2	黄茶褐色、灰黄褐色、灰赤褐色
11－1	4.0	3.0	3.0	67.5	M 2	灰黄褐色、暗灰色
11－2	4.6	3.1	2.1	48.0	〃	暗灰色、灰黄褐色、むらさきがかった黒色、黄茶色
11－3	4.8	3.6	1.5	33.0	〃	暗灰色、灰黄褐色、茶色
11－4	3.1	2.3	1.8	12.0	〃	白色、茶色、黒色（光沢あり）羽口の先端？
11－5	2.6	2.0	1.5	9.5	〃	暗灰色（光沢あり）灰黄褐色

第８表　観音堂遺跡陶磁器一覧表(1)

No.	器　種	産　地	時　代	遺 構 名
1	白磁口はげ小皿	中国	13C後～14C前	D25
2	白磁小皿	〃	15C	Ta26Ⅲ区
3	〃	〃	〃	D 5
4	青磁玉縁碗	〃	13C	Ta11.北
5	青磁蓮弁文碗	龍泉窯	〃	D34
6	〃	〃	〃	D37
7	〃	〃	〃	D87
8	〃	〃	〃	P571
9	〃	〃	〃	M 2
10	〃	〃	13C後～14C前	D25
11	〃	〃	〃	D122
12	〃	〃	13C	M 1
13	〃	〃	15C前	Ta11
14	青磁玉縁碗	中国	〃	Ta24
15	〃	〃	15C～16C	Ta11S
16	〃	〃	〃	P389
17	青磁碗	中国	中世	Ta6
18	〃	龍泉窯	〃	Ta17K
19	〃	中国	〃	D31
20	青磁鉢	龍泉窯	14C末～15C前	D25
21	青磁蓮弁文小鉢？	〃	13C後～14C前	D34
22	古瀬戸灰釉瓶子	瀬戸	13C	Ta7東
23	古瀬戸灰釉鶴首	〃	14C～15C	Ta7東
24	〃	〃	13C	検出面
25	古瀬戸扁子類	〃	中世	Ta12
26	古瀬戸灰釉底部	〃	〃	Ta11・12検出面
27	古瀬戸扁子底	〃	〃	Ta7東
28	古瀬戸灰釉鉢	〃	14C後～15C前	Ta23検出面
29	〃	〃	15C後半	Ta11・12、Ta12
30	〃	〃	〃	Ta11・12
31	古瀬戸灰釉おろし皿	〃	14C後半	D34・D67
32	〃	〃	〃	D45
33	古瀬戸緑釉小皿	〃	14C後～15C前	Ta24
34	〃	〃	〃	Ta24
35	古瀬戸灰釉平碗	〃	15C	Ta6検出面
36	古瀬戸天目茶碗	〃	15C前	Ta12
37	〃	〃	中世	検出面

第８表　観音堂遺跡陶磁器一覧表(2)

No.	器　種	産　地	時　代	遺構名
38	山茶椀系擂鉢	東海	13C	Ta6
39	〃	〃	13C前半	Ta15北
40	灰釉陶器	〃	平安	Ta1
41	山茶椀系擂鉢	〃	13C	Ta6
42	〃	〃	13C	Ta19
43	〃	〃	13C前	Ta20
44	〃	〃	13C	D32
45	〃	〃	〃	D64
46	〃	〃	〃	D87
47	〃	〃	〃	D78
48	〃	〃	〃	D77
49	〃	〃	〃	検出面
50	〃	〃	〃	P234
51	〃	〃	13C後半（暦和）	M1
52	瓶	常滑	中世	Ta6
53	〃	〃	〃	Ta11.12検出面
54	〃	〃	〃	B者4
55	瓦質擂鉢	在地	13C末～14C前	Ta1
56	〃	〃	〃	Ta11検出面
57	〃	〃	〃	Ta12
58	〃	〃	〃	Ta18
59	〃	〃	〃	D8南
60	〃	〃	〃	D19
61	〃	〃	〃	D78
62	〃	〃	〃	D80
63	〃	〃	〃	Ta27南
64	〃	〃	〃	D108
65	〃	〃	〃	Bこ5撹乱
66	瓦質香炉（スタンプ文）	不明	中世	D3西
67	瓦質火鉢（風呂釜）	〃	〃	M1
68	瓦質火鉢	〃	中世後半以降	Ta3
69	灰釉小皿	在地	18C末以降	Hい6
70	鉄釉灯明皿	〃	〃	Hい5　撹乱
71	鉄釉壺	〃	〃	試作土
72	鉄釉瓶	〃	〃	Hい5　撹乱
73	灰釉皿	瀬戸、美濃	近世	D48
74	灰釉丸椀	〃	18C後	M2

第8表　観音章遺跡陶磁器一覧表(1)

No.	器　種	産　地	時　代	遺 構 名
75	灰釉鉢	瀬戸、美濃	近世	Ta21　検出面
76	不明	〃	不明	D3東
77	鉄釉碗	〃	18C	Eこ5　撹乱
78	鉄釉鉢	〃	18C後半	Eい3
79	鉄釉瓶	〃	19C以降	検出面
80	鉄釉鉢	在地	18C末以降	耕作土
81	鉄釉徳鉢	瀬戸、美濃	近世	M1
82	白磁皿	〃	19C以降	D80
83	〃　丸碗	〃	〃	検出面
84	〃　小碗	〃	〃	Hい6
85	〃　〃	〃	〃	検出面
86	青磁器	不明（伊万里？）	近世	D70
87	〃　小碗	瀬戸、美濃	19C	D102
88	〃　瓶類	不明	近代	Eき3
89	〃　赤絵碗	瀬戸、美濃	19C以降	D37　撹乱
90	染付碗　紙型刷り	〃	19C後半	M1
91	染付小皿	〃	19C後半以降	耕作土
92	染付鉢　紙型刷り	〃	〃	検出面
93	〃　小皿　〃	〃	〃	Eこ5　撹乱
94	〃	〃	〃	M2
95	〃　小碗　銅版刷	〃	〃	検出面
96	〃　皿　銅版転写	〃	19C以降	D37の撹乱
97	〃　皿	〃	〃	〃
98	〃　瓶類	〃	〃	〃
99	〃　上絵付皿	〃	〃	〃
100	上絵付皿	〃	〃	Eく1
101	染付碗	〃	〃	D37の撹乱
102	染付小碗	不明	〃	D37　〃
103	染付皿	瀬戸、美濃	19C	Ta5西
104	〃　碗	不明	不明	D13
105	染付皿　銅版転写	瀬戸、美濃	19C後半以降	耕作土
106	上絵口	〃	19C以降	〃
107	染付碗	伊万里	18C	Ta5西

第9表　観音堂遺跡単独ピット一覧表(1)

遺構名	出土位置	重複関係	規模（長×短×深さ）(cm)	形態	出土遺物	覆土
P1	B—け—8	D7に切られる	60×50×34	楕円形		①黒褐色土（10YR2/2）黒褐色土ブロック含 地山砂含む ②暗褐色土（10YR3/3）地山砂、小石多く含む
P2	B—け—8	D7に切られる	46×44×36	円形		暗褐色土（10YR3/3）地山砂、小石多く含む
P3	B—け—9	D10を切る	30×30×34	円形		①暗褐色土（10YR3/2）地山砂～5cm大小石多く含む ②暗褐色土（10YR3/3）地山砂多く含む
P4	B—か—10		34×32×30	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P5	C—か—1		30×18×20	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含む　1cm大小石多含
P6	C—き—1		20×20×12	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒多含　1cm大小石含
P7	B—け—7		28×24×12	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒多含　1cm大小石含
P8	B—け—7		32×24×12	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5mm大小石含
P9	B—け—7		42×30×30	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5mm大小石含
P10	C—き—1		24×22×14	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含　1cm大小石含
P11	B—か—10		28×25×12	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含　1cm大小石含
P12	B—か—10		32×30×26	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含　1cm大小石含
P13	B—か—10	D12を切る	32×□×32	?		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含　1cm大小石含
P14	B—か—10		48×36×35	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒含　1cm大小石少含
P15	B—か—9		32×30×26	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　小石少含
P16	B—か—9		60×42×25	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含　小石少含
P17	B—き—10		22×22×21	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P18	B—き—10		30×30×19	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P19	B—き—10	P48に切られる	32×32×25	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含、砂粒少含
P20	B—く—10	D15に切られる	30×26×18	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P21	B—く—10		34×22×12.5	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P22	B—く—10		28×26×30.5	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含、1cm小石少含
P23	B—く—10		24×16×14.5	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P24	B—く—10		48×20×26.5	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P25	B—く—10		30×22×28	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P26	B—く—10	D15と重複	32×26×12	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　1cm小石少含
P27	B—く—10	〃	36×30×15	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P28	B—く—10		36×34×29			黒褐色土（10YR2/3）2～3cm小石含
P29	B—き—10		34×30×25			黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P30	C—く—1		24×22×21			黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P31	C—く—1		32×32×20	円形		暗褐色土（10YR3/3）砂粒含　2～3cm小石含
P32	B—く—10		26×20×13	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P33	B—く—10		40×36×15	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P34	B—く—10		20×20×7	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P35	B—く—10		26×24×10	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P36	B—く—10		32×30×22	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含
P37	B—け—10	P38を切る	34×24×24.5	楕円		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含　パミス少含
P38	E—う—5	D104内	30×30×54	円形		①黒褐色土（10YR2/2）小石、地山砂含む ②暗褐色（10YR3/3）地山砂多く含む　柱痕
P39	E—う—5		40×38×15	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒　パミス含
P40	E—う—5		56×30×23	楕円		黒褐色土（10YR2/2）炭化物少含　砂粒少含
P41	E—う—5		42×40×29	円形		黒褐色土（10YR2/3）1cm小石少含
P42	E—う—5		28×28×30	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒　パミス少含
P43	E—う—5	Ta2に切られる	34×20×14.5	円形		黒褐色土（10YR2/3）1cm大小石含
P44	E—う—5		32×26×20	円形		暗褐色土（10YR3/3）砂粒多含　パミス含
P45	E—う—5		28×24×11.5	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含　パミス少含
P46	E—う—5		44×40×11.5	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含　パミス少含
P47	E—う—5		40×40×18	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　1cm小石含
P48	B—き—10	D15、P19に切られる	32×24×31	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）
P49	B—け—10		20×18×8	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P50	B—け—10		24×22×20	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含　1cm大小石含

第９表　観音堂遺跡単独ピット一覧表(2)

遺構名	出土位置	重複関係	規模（長×短×深さ）(cm)	形態	出土遺物	覆土
P51	B－こ－10		50×34×56	楕円形	礎盤1	黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P52	B－こ－10		42×30×16	楕円形		暗褐色土（10ＹＲ3/3）砂粒少含
P53	B－こ－10		42×36×13	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒多含
P54	B－こ－10	Ta-a を切る	38×24×39	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含　1㎝大小石含
P55	B－こ－10		32×18×10.5	方形		暗褐色土（10ＹＲ3/3）砂粒多含
P56	B－こ－10		28×22×21.5	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含　炭化物少含
P57	B－こ－10		22×22×22.5	方形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P58	B－こ－10		24×22×17.5	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P59	B－こ－10		30×22×45	隅丸方形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P60	B－こ－10		30×28×25.5	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P61	B－こ－10		34×28×35.5	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含　パミス含
P62	B－こ－10		32×32×59	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P63	B－き－10	D 跡を切る	41×20×12	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）炭化物少含　砂粒含
P64	B－き－10		24×24×27	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P65	B－き－10		24×20×24	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P66	B－き－9		40×40×58	円形	かわらけ1	黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含　5㎜大小石含
P67	B－き－9		35×20×19	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含　＊
P68	B－き－9		30×30×20	円形		暗褐色土（10ＹＲ3/3）砂粒多含　砂ブロック含
P69	B－き－9		30×25×38	円形		暗褐色土（10ＹＲ3/3）砂粒多含　砂ブロック含
P70	B－き－9		30×20×23	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P71	B－く－9		30×25×30	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含　5㎜大小石含
P72	B－く－9		36×36×32	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P73	B－く－9		22×20×17	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P74	B－く－9		25×25×22	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含　パミス少含
P75	B－く－9		36×30×32	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含　パミス少含
P76	B－く－9		20×20×14	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒　砂ブロック含
P77	B－く－9		36×36×18	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含
P78	B－く－9		30×16×10	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含
P79	B－け－9		22×22×13	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂粒少含
P80	B－け－9		34×22×12	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂含む
P81	B－け－9		22×14×8	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂含む
P82	B－け－9		30×26×12	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂含む
P83	B－け－9		38×24×18	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）地山砂少含む
P84	B－こ－9		40×30×29	円形	かわらけ1	黒褐色土（10ＹＲ2/3）地山砂多く含む
P85	B－こ－9		36×26×11	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）地山砂多く含む
P86	B－こ－9		21×22×12	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）地山砂多く含む
P87	B－こ－9		25×24×15	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）地山砂多く含む
P88	B－こ－9		32×30×18	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）地山砂多く含む
P89	B－こ－9		75×20×11	円形		暗褐色土（10ＹＲ3/3）地山多量含む
P90	B－こ－9		46×34×52	円形	かわらけ1	黒褐色土（10ＹＲ2/3）地山砂多く含む
P91	B－け－9	P 102 を切る	24×20×76	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）地山砂多く含む
P92	B－け－9	P 91 に切られる	34×32×25	円形		暗褐色土（10ＹＲ3/3）地山砂多い
P93	B－け－9		30×34×20	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）地山砂多い
P94	B－け－9		64×44×36	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）地山砂含
P95	B－く－7		28×26×16	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）地山砂含
P96	B－け－6		48×42×31	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）＊中に大礫あり
P97	B－け－6		28×24×21	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）地山砂含
P98	B－け－5		50×36×30	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）地山砂多く含む
P99	B－け－5		40×22×16	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）地山砂多く含む
P100	B－け－5		22×18×16	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）地山砂多く含む
P101	B－け－5		33×30×18	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）地山砂含む

第９表　観音堂遺跡単独ピット一覧表(3)

遺構名	出土位置	重複関係	規模（長×短×深さ)(cm)	形態	出土遺物	覆土
P102	B－け－5		38×28×23	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂が細ブロックで含む
P103	B－こ－4	D21を切る	34×28×22	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P104	B－け－5	D22と重複	38×30×31	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂多く含む
P105	B－け－5	D21に切られる	□×40×30	?		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P106	B－け－6		20×20×9	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P107	B－く－5	Ta1に切られる	□×30×28	円形	かわらけ1	黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む　細ブロック混じる
P108	B－け－5	P134を切る	30×28×21	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む　細ブロック混じる
P109	B－け－5		36×36×34	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂ブロック含む
P110	B－け－5		38×34×15	円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含む
P111	B－け－4		72×62×16	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含む
P112	B－け－4		54×52×38	不整円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P113	B－け－7		70×46×33	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含む
P114	B－け－7		48×34×19	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂ブロック混じる
P115	B－け－8		60×44×10	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂少々含む
P116	B－こ－7		102×54×37	不整楕円		黒褐色土（10YR2/2）地山砂少々含む
P117	B－こ－7	D8に切られる	48×46×37.5	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P118	B－こ－6		52×32×19	不整楕円		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P119	B－け－6	D23に切られる	28×24×23	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P120	B－け－5	D54を切る	26×24×?	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P121	B－こ－5	P172を切る	46×32×30	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P122	欠番					
P123	B－こ－5	P124を切る	26×20×15	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含む
P124	B－こ－5	P123に切られる	50×40×22	楕円形	[illegible]	黒褐色土（10YR2/2）地山砂多く含む
P125	B－こ－5		30×26×28	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂多く含む
P126	B－こ－5		16×12×10	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂多く含む
P127	B－こ－5	P128を切る	24×18×8	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含む
P128	B－こ－5	P127に切られる	□×34×19	円形?		黒褐色土（10YR2/2）地山砂多く含む
P129	B－こ－5	P130に切られる	34×□×35	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂多く含む
P130	B－こ－5	D24，P129に切られる	62×54×22	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂多く含む
P131	B－け－5		38×34×23	円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含む
P132	B－け－5	D21に切られる	28×16×23	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含む
P133	B－け－5		44×41×23	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂多く含む
P134	B－け－5	P108に切られる	□×38×18	円形?		黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含む
P135	B－け－5		36×24×27	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P136	B－け－5		30×30×24	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂多く含む
P137	B－こ－4		26×26×19	円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含む
P138	B－け－5	P139を切る	22×20×19	円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含む
P139	B－け－5	P138に切られる	42×□×19	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂多く含む
P140	B－け－5	D22を切る	44×30×18	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂多く含む
P141	B－こ－4		30×26×29	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P142	B－こ－4		42×32×39	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P143	B－こ－4		34×34×36	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P144	B－け－5		28×26×13	円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含む
P145	B－こ－5		26×18×12	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含む
P146	欠番					
P147	B－こ－5		32×26×16	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含む
P148	B－こ－5		18×16×31	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂多く含む
P149	B－く－2	D40を切る	62×40×30	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）炭化物粒子含　地山砂含
P150	C－く－1	D30を切る	34×28×15	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5㎜大小石含む
P151	C－く－1		30×30×37	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒　砂ブロック含
P152	C－け－1		22×20×20	円形	土師1	黒褐色土（10YR2/2）炭化物少含　砂粒含　パミス含

第9表　観音堂遺跡単独ピット一覧表(4)

遺構名	出土位置	重複関係	規模（長×幅×深さ）(cm)	形態	出土遺物	覆土
P153	C－け－1		20×20×25	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　砂ブロック含
P154	C－け－1		20×20×18	方形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　砂ブロック含
P155	C－け－1		20×18×25	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P156	C－け－1	Ta4に切られる	46×26×28	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　1cm小石少含
P157	B－け－10		24×22×25	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P158	B－き－9	Ta14と重複	20×20×15	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5mm大小石含
P159	B－く－9	Ta14と重複	18×18×11	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5mm大小石含
P160	B－き－8	Ta14と重複	28×26×16	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒含　5mm大小石含
P161	B－き－8	Ta14と重複	28×18×11	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P162	B－く－8	Ta14と重複	24×24×14	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P163	B－く－8	Ta14と重複	24×24×18	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P164	C－く－1	D43を切る	28×20×29	楕円形	土錘1	暗褐色土（10YR3/3）砂粒多含　5mm大小石含
P165	B－き－4		32×28×27	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂多く含む
P166	B－き－4		52×46×38	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂多く含む
P167	B－け－5	D33を切る	36×32×42	円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含む
P168	B－け－5		22×20×19	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂多く含む
P169	B－け－5		28×26×17	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂少々含む
P170	B－け－6		□×38×34	楕円？		暗褐色土（10YR3/4）地山砂主体　～5cm大礫多い
P171	B－け－5		34×29×35	円形	かわらけ1	①黒褐色土（10YR2/2）砂粒　②黒褐色土（10YR2/3）地山砂　ブロック混
P172	B－こ－5	P121に切られる	50×□×20	円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂含む
P173	B－け－5		26×25×7	円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含む
P174	B－け－5		22×18×13	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P175	B－く－5	P107に切られる P176を切る	30×25×36	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P176	B－く－5	P107、P175に切られる	28×28×35	円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂多量に含む
P177	B－け－5	Ta1に切られる	28×22×19	円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂　褐ブロック混　P107と似る
P178	B－く－9		22×16×10	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒　砂ブロック含
P179	B－く－9		34×34×30	円形		黒褐色土（10YR3/2）砂粒含　5cm大小石含
P180	B－く－8		22×18×16	円形		黒褐色土（10YR3/2）炭化物少含　砂粒　砂ブロック含　パミス少含
P181	B－く－8		30×22×22	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒　パミス少含
P182	B－く－8		34×24×18	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P183	B－く－8		20×20×7	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　パミス少含
P184	B－く－8		40×34×28	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含　5mm大小石含
P185	B－く－8		50×34×32	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P186	B－く－8		40×34×12	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P187	B－く－8		18×18×10	円形		黒褐色土（10YR2/2）炭化物含　砂粒　パミス少含
P188	B－く－8	P189を切る	24×24×7	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P189	B－く－8	P188に切られる	□×34×21	楕円？		黒褐色土（10YR3/2）パミス少含　砂粒含　1cm大小石含
P190	B－く－8		44×40×21	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒　パミス含
P191	B－き－8		24×22×21	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P192	B－き－8		22×18×12	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P193	B－き－8		30×23×16	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）炭化物少含　砂粒　パミス少含
P194	B－き－8		22×22×18	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P195	B－き－8		30×28×？	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒　パミス少含
P196	B－き－8		24×20×20	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒　少含
P197	B－き－8		28×24×27	円形	かわらけ1	黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒　砂ブロック含
P198	B－か－8		24×24×12	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P199	B－か－8		36×30×25	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P200	B－か－8		26×20×16	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P201	B－き－8		62×50×36	楕円形		黒褐色土（10YR3/2）砂粒含　1cm大小石含
P202	B－き－8		32×30×26	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5cm大小石含
P203	B－く－8		30×246×18	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含

第9表　観音堂遺跡単独ピット一覧表(5)

遺構名	出土位置	重複関係	規模 長×幅×深さ(cm)	形態	出土遺物	覆土
P204	B−く−8		16×16×16	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P205	B−け−9		98×52×20	楕円形		黒褐色土（10YR3/2）
P206	B−こ−9		30×30×13	円形		黒褐色土（10YR3/2）
P207	B−け−8		24×22×25	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒　砂ブロック含
P208	B−け−8		46×44×35	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P209	B−け−8		24×22×33	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P210	B−け−8		22×20×12	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P211	B−こ−8		54×36×16	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P212	B−こ−8		38×32×12	円形		暗褐色土（10YR3/3）砂粒　砂ブロック含
P213	B−こ−8		50×46×19	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒　砂ブロック含
P214	B−こ−8	Ta10を切る	34×26×32	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P215	B−こ−8		26×24×23	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P216	B−こ−8		16×16×13	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P217	B−こ−8		22×20×12	円形		黒褐色土（10YR3/3）砂粒　砂ブロック含
P218	B−こ−9		28×20×47	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P219	B−き−7	Ta12に切られる	□×18×19	？		黒褐色土（10YR2/3）砂粒多含
P220	B−き−7	Ta12に切られる	58×□×27	楕円？		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5㎜大小石含
P221	B−き−7	Ta12に切られる	28×□×15	円形？		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒少含
P222	B−く−7	P223を切る	□×36×37	楕円？		暗褐色土（10YR3/3）炭化物少含　砂粒多含　パミス少含
P223	B−く−7	P222に切られる	40×□×40	円形？		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒含
P224	B−く−7		44×38×37	楕円形		暗褐色土（10YR3/3）砂粒含　パミス少含
P225	B−く−7	P226を切る	□×32×28	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒　パミス少含
P226	B−く−7	P225に切られる	36×30×37	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P227	B−く−7		26×20×26	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P228	B−く−7		38×36×31	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含　1㎝大小石含
P229	B−く−7		32×24×21	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P230	B−け−7		82×40×33	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含　5㎜小石含
P231	B−け−7		44×30×20	楕円形		暗褐色土（10YR3/3）1㎝大小石含
P232	B−く−3	Ta17を切る	28×28×21	円形		①黒褐色土（10YR2/2）地山砂含　②暗褐色土（10YR3/3）地山砂多く含む
P233	B−く−3	Ta17を切る	44×20×32	長方形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂多く含む
P234	B−き−4		32×28×48	円形	かわらけ1	黒褐色土（10YR2/3）地山砂含む
P235	B−き−3		60×52×11	円形		褐灰色土（7.5YR4/1）明褐灰色（7.5YR7/2）の灰と炭多量に含む
P236	B−き−3		46×26×20	不整楕円		黒褐色土（10YR2/2）地山砂少々含む
P237	B−き−3	D47を切る	22×22×35	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P238	B−く−3	D36に切られる	22×□×20	？		黒褐色土（10YR2/3）炭少々含む　砂あり
P239	B−く−3	P240を切る	36×26×27	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）炭少々含　砂多く含む
P240	B−く−3	D36, P239に切られる	□×26×19	？		黒褐色土（10YR2/2）炭少々含　砂含む
P241	B−く−4		34×30×29	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭少含　地山砂含む
P242	B−け−5	P243を切る	22×18×22	円形		黒褐色土（10YR2/2）炭少含　地山砂含む
P243	B−け−5	P242に切られる	38×□×25	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂ブロック含　小石含
P244	B−き−4	Ta9に切られる	36×□×30	？		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含
P245	B−く−3	Ta17を切る	50×46×52	円形		
P246	B−く−4		22×20×37	円形		黒褐色土（10YR2/2）　砂粒　パミス少含
P247	B−く−4		24×22×30	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒　パミス少含
P248	B−く−4	カクランに切られる	64×38×32	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P249	B−け−4	D26に切られる	20×10×8	不整楕円		黒褐色土（10YR2/3）砂粒　5㎜以下　小石含
P250	B−け−4	D31に−	31×28×28	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒5㎜大小石含
P251	B−く−7		32×38×27	円形		黒褐色土（10YR2/2）炭化物少含　砂粒少含　パミス含
P252	B−け−6	P253を切る	28×24×23	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P253	B−け−6	P252に切られる	22×20×12	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P254	B−け−6	Ta15に切られる	28×28×18	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5㎜大小石含

第9表　観音堂遺跡単独ピット一覧表(6)

遺構名	出土位置	重複関係	規模（長×短×深さ）(cm)	形態	出土遺物	覆土
P255	B−け−6		30×26×20	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P256	B−け−6		30×30×21	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含　1㎝小石含
P257	B−け−6		18×18×17	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P258	B−け−6	P259を切る	26×22×25	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒含
P259	B−け−6	P258に切られる	48×36×24	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒　砂ブロック含
P260	B−け−5		34×26×20	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P261	B−こ−6		22×20×14	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P262	B−こ−6		24×20×23	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P263	B−こ−5		29×20×32	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P264	B−こ−6		24×24×17	円形		暗褐色土（10YR3/3）砂粒　砂ブロック含
P265	B−こ−6		24×20×20	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P266	B−こ−6		20×20×16	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P267	B−こ−6		30×28×18	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒　砂ブロック　1㎝小石含
P268	B−こ−6		22×20×28	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P269	B−こ−5		16×14×10	円形		暗褐色土（10YR3/2）砂粒含
P270	B−こ−5		30×26×22	円形		暗褐色土（10YR3/2）砂粒含
P271	B−こ−6	D52と重複	□×30×35	?		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P272	B−こ−5		26×24×21	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒　砂ブロック含
P273	B−こ−5		22×20×30	円形	角釘1	黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P274	B−こ−5		36×34×35	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P275	B−こ−5		32×22×18	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P276	B−こ−5		32×24×17	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P277	B−こ−6	D53に切られる	34×□×15	?		黒褐色土（10YR2/2）砂粒　パミス少含
P278	B−く−3	Ta17と重複	50×38×?	楕円形		①黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含む ②暗褐色土（10YR3/3）地山砂主体
P279	B−く−3	Ta17と重複	60×24×19	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂少々含
P280	B−く−3	Ta17と重複	50×40×27	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂少々含
P281	B−く−3	P282を切る　*	40×36×51	円形		①黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含む　柱痕 ②暗褐色土（10YR3/3）地山砂主体
P282	B−く−3	P281に切られる　*	30×30×14	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂少々含む
P283	B−く−3	Ta17と重複	44×40×25	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂少々含む　炭化物粒子少々
P284	B−く−3	Ta17と重複	30×28×15	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P285	B−く−3	Ta17と重複	34×30×23	円形		①黒褐色土（10YR2/3）炭、炭化物粒子含（柱痕） ②暗褐色土（10YR3/3）地山砂主体
P286	B−く−3	Ta17と重複	42×36×49	円形		①黒褐色土（10YR2/2）炭化物粒子少含 ②暗褐色土（10YR2/3）地山砂多含
P287	B−く−4		50×46×27.5	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂ブロック混
P288	B−き−4		30×24×13	円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含む
P289	B−け−4		22×20×21	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P290	B−け−4		26×24×23	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P291	B−け−4		24×20×20	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、砂ブロック含
P292	B−け−4	P293を切る	24×22×23	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P293	B−け−4	P292に切られる	22×20×16	円形		暗褐色土（10YR3/3）炭化物少含　砂粒　砂ブロック含
P294	B−け−4		24×24×?	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒含
P295	B−け−4		24×20×16	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒　砂ブロック含
P296	B−け−4		20×20×22	円形	須恵1	黒褐色土（10YR2/2）砂粒　砂ブロック含
P297	B−け−4		24×24×31	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒　砂ブロック含
P298	B−こ−4		26×22×14	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P299	B−こ−4	P300を切る	34×32×31	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P300	B−こ−4	P299に切られる	22×□×26	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P301	B−こ−4		26×26×16	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒　砂ブロック少含
P302	B−こ−4		40×34×27	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P303	B−こ−4		44×30×35	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）パミス少含　砂粒少含　5㎜小石含
P304	B−こ−4		24×20×13	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P305	B−こ−4		32×26×24	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含

第9表　観音堂遺跡単独ピット一覧表(7)

遺構名	出土位置	重複関係	規模（長×短×深さ）(cm)	形態	出土遺物	覆土
P306	B−こ−4		20×16×11	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P307	B−こ−4		26×22×21	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P308	B−こ−4	P309を切る	38×34×25	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P309	B−こ−4	P308に切られる	44×30×14	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P310	B−こ−5	風倒木	26×20×17	楕円形		暗褐色土（10YR3/3）砂粒含
P311	B−け−2	D66に切られる	44×□×22	楕円形		
P312	B−こ−3		26×24×17	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P313	B−こ−3		26×24×26	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P314	B−こ−3		58×42×34	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒含　5㎜大小石含
P315	B−こ−3		50×46×11	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5㎜大小石含
P316	B−こ−3		24×22×7	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含　レベリング落ち
P317	B−け−3		34×26×25	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒　砂ブロック含
P318	B−け−3		30×22×12	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒　パミス含
P319	B−け−3		24×20×15	円形		黒褐色土（10YR2/2）炭化物　砂粒少含
P320	B−け−3	P352を切る	30×24×15	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P321	B−け−3		24×24×19	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒含
P322	B−こ−3		24×24×15	円形		暗褐色土（10YR3/3）砂粒少含
P323	B−き−2	東側調査区外	□×52×30	楕円?		黒　色（10YR2/1）炭化物少含　砂粒少含
P324	B−き−2		50×38×37	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）炭化物少含　砂粒少含
P325	B−き−1		24×22×16	円形		暗褐色土（10YR3/2）炭化物少含　砂粒含
P326	B−き−1		26×24×33	円形		暗褐色土（10YR3/2）炭化物少含　砂粒含
P327	B−き−1	P328に切られる	26×□×15	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒含
P328	B−き−1	P327を切る	20×18×13	円形		暗褐色土（10YR3/3）炭化物少含　砂粒含
P329	B−き−1		26×26×18	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P330	B−く−1	Ta20を切る	30×22×17	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P331	B−く−1		22×20×12	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P332	B−く−1		26×24×13	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P333	B−く−1		32×26×15	楕円形		暗褐色土（10YR3/2）砂粒含
P334	B−く−2		22×22×14	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒含
P335	B−く−1		54×40×30	不整楕円		黒褐色土（10YR2/2）炭化物少含　砂粒含
P336	B−く−1		24×20×15	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒含
P337	B−く−1	P338を切る	40×22×24	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P338	B−く−1	P337に切られる	□×30×38	円形	かわらけ1	暗褐色土（10YR3/3）砂粒多含
P339	B−く−1	D65と重複	26×20×39	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒含
P340	B−く−1	D65と重複	20×14×19	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P341	B−く−1	D65と重複	36×30×34	円形		暗褐色土（10YR3/2）砂粒含
P342	B−く−1	D65と重複	44×30×29	不整楕円		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P343	B−く−1	Ta20を切る	34×30×53	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P344	A−く−10	Ta20を切る	30×26×26	円形		暗褐色土（10YR3/2）砂粒多含
P345	B−く−1		26×24×16	円形		黒褐色土（10YR2/2）炭化物少含　砂粒少含
P346	B−け−2		24×22×21	円形		暗褐色土（10YR3/2）砂粒含
P347	B−く−2		24×18×11	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒含
P348	B−け−2		30×22×19	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒含
P349	B−け−2		72×60×10	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒　砂ブロック含
P350	B−け−2		43×36×33.5	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒　砂ブロック少含
P351	B−け−2		56×46×31	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　パミス少含
P352	B−け−3	P320に切られる	□×29×45	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P353	B−け−3	D73に切られる	26×26×16	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P354	B−こ−3	Ta21に切られる	40×32×11	楕円?		黒褐色土（10YR2/3）砂粒　パミス少含
P355	B−け−1		30×28×30	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P356	B−け−1		22×22×13	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂　細ブロック含む

第9表　観音堂遺跡単独ピット一覧表(8)

遺構名	出土位置	重複関係	規模（長×短×深さ）(cm)	形態	出土遺物	覆土
P357	B−け−1		28×28×11	円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含む
P358	B−け−1		24×22×13	円形		黒褐色土（10YR2/2）炭化物粒子含　地山砂細ブロック含む
P359	B−け−1		28×22×13	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含む
P360	B−け−1		32×24×23	方形？		黒褐色土（10YR2/2）地山細ブロック多く含む
P361	B−け−1		30×20×15	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）地山細ブロック多く含む
P362	B−け−1		26×20×14	円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含む
P363	B−け−1		30×30×16	円形		暗褐色土（10YR3/3）地山砂多く含む
P364	B−け−1		26×18×21	楕円形	壺1	黒褐色土（10YR2/2）地山砂多く含む
P365	B−け−1		34×32×15	円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂含む
P366	B−け−1		24×20×12	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P367	B−け−1		34×24×10	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂細ブロック含
P368	B−け−1		22×20×11	円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂　小石多く含む　灰含む
P369	B−け−1		32×23×20	円形		黒褐色土（10YR2/2）灰　炭化物粒子　地山砂　細ブロック含む
P370	B−け−1		30×28×11	円形		黒褐色土（10YR2/3）灰　炭化物少々含　地山砂　ブロック含む
P371	A−け−10		20×16×11	円形		黒褐色土（10YR2/2）灰　炭化物粒子　地山砂　細ブロック多く含む
P372	B−け−1		22×20×15	円形		黒褐色土（10YR3/3）地山砂多量に含む
P373	B−け−1		40×38×25	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P374	B−こ−2		22×18×13	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P375	B−こ−1		28×26×8	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む
P376	B−こ−1		25×14×14	楕円形		暗褐色土（10YR3/2）砂粒含
P377	B−こ−1		36×24×18	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P378	B−こ−1		35×16×11	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P379	B−こ−1		38×30×14	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）炭化物少含　砂粒少含
P380	B−こ−2		66×52×12	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒　砂ブロック少含
P381	B−こ−1		39×22×10	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5㎜大小石含
P382	B−こ−1		32×28×16	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5㎜大小石含
P383	B−こ−1	D75に切られる	35×□×20	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5㎜大小石含
P384	B−く−2	D56と重複	28×25×20	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒　5㎜大小石含
P385	A−け−10	カクランに切られる	16×14×14	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒含
P386	A−く−10		18×16×10	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P387	A−く−10		30×28×38	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒含
P388	A−く−10	東側調査区外	38×□×19	楕円？		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5㎜大小石含
P389	A−く−10		32×28×25	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、砂ブロック含　5㎜大小石含
P390	A−く−10		30×26×25	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含　5㎜大小石含
P391	A−け−10		20×16×14	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　炭化物少含
P392	A−け−10		40×25×21	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、砂ブロック含
P393	A−け−10		28×24×18	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒含
P394	A−け−10		46×40×24	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒、5㎜大小石含
P395	A−け−10	P396を切る	40×38×32	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒、5㎜大小石含
P396	A−け−10	P395に切られる	□×56×20	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　灰少含　砂粒含
P397	A−け−10	D74に切られる	68×□×8	楕円形		暗褐色土（10YR3/3）砂粒含
P398	A−け−10		30×30×13	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、5㎜大小石含
P399	A−け−10		35×26×26	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P400	A−け−10		64×58×34	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒含
P401	A−け−10		35×20×17	方形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、5㎜大小石含
P402	A−け−10		28×24×14	円形		黒褐色土（10YR2/2）炭化物少含　砂粒含
P403	A−け−10		24×18×12	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P404	A−こ−10		30×30×18	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P405	A−こ−10		42×36×22	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P406	A−こ−10		32×30×15	方形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P407	A−こ−10		22×22×17	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含

第９表　観音堂遺跡単独ピット一覧表(9)

遺構名	出土位置	重複関係	規模（長×短×深さ）(cm)	形態	出土遺物	覆土
P408	A−こ−10		24×22×14	円形		暗褐色土（10ＹＲ3/2）砂粒含
P409	A−こ−10		46×42×19	円形		暗褐色土（10ＹＲ3/2）パミス少含
P410	A−こ−10		62×48×27	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）パミス少含　炭化物少含　砂粒含
P411	A−こ−10	P412を切る	34×32×16	円形		暗褐色土（10ＹＲ3/2）砂粒含
P412	A−こ−10	P411に切られる	□×30×23	楕円？		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含
P413	D−あ−10		26×22×21	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）炭化物少含　砂粒含
P414	A−く−9	東半部調査区外	50×□×20	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒、砂ブロック含
P415	A−く−9		44×30×24	不整形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒、砂ブロック含
P416	A−く−9		26×26×21	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒、砂ブロック含
P417	A−く−9		32×30×25	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒5㎜大小石含
P418	A−く−9		52×40×26	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）炭化物少含　砂粒含
P419	A−け−9	D77を切る	32×22×14	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含
P420	A−け−9	D80に切られる	28×□×20	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂粒少含
P421	A−け−9		34×30×30	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂粒含
P422	A−け−9		40×40×32	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）炭化物、灰少含　砂粒含
P423	A−け−9	D424を切る	24×20×21	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P424	A−け−9	D423に切られる	□×54×29	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）炭化物少含　砂粒少含
P425	A−け−9		40×38×33	円形		暗褐色土（10ＹＲ3/2）砂粒、砂ブロック含
P426	A−け−9		30×20×42	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P427	A−け−9		30×26×29	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒、5㎜大小石含
P428	B−き−5	東側調査区外	22×□×26	円形？		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒、小石含
P429	B−き−5		44×38×18	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物焼土粒子少々含　地山砂、小石含
P430	B−き−5		24×20×12.5	方形		黒褐色土（10ＹＲ3/2）炭化物焼土粒子少々含　地山砂、小石含
P431	B−き−5	撹乱に切られる	□×32×20	円形		黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山砂、地山砂ブロック多く含む
P432	B−き−5		44×40×13	〃		黒褐色土（10ＹＲ3/2）地山砂、地山砂ブロック多く含む　小石多い
P433	B−き−5	東側調査区外	80×□×40	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）地山砂ブロック混　小石多く含む
P434	B−き−5		20×18×12	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）地山砂少々含む
P435	B−き−5		30×25×27	〃		黒褐色土（10ＹＲ2/2）地山砂多く含む
P436	B−き−6		50×34×47	不整楕円		黒褐色土（10ＹＲ2/3）　暗褐色土（10ＹＲ2/3）　ブロック混
P437	B−き−6		28×24×16.5	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）地山砂多く含む
P438	B−き−6		28×25×40	円形	角釘1	黒褐色土（10ＹＲ2/3）地山砂多く含む
P439	B−く−6		36×30×22	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）地山砂多く含む
P440	B−き−6		40×22×32	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）地山砂多く含む
P441	A−け−7	D84に切られる	22×□×18	円形？		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含
P442	A−け−7		28×24×23	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒、砂ブロック含
P443	A−け−7		22×22×21	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒、5㎜大小石含
P444	A−け−7	北半部調査区外	□×32×28	？		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含
P445	A−け−7		60×32×26	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂粒少含
P446	A−け−8		36×30×23	楕円形		暗褐色土（10ＹＲ3/2）砂粒、砂ブロック含
P447	A−け−8		32×30×46	円形	角釘1	黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒、パミス少含
P448	A−け−8		30×26×21	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含
P449	A−け−8		34×28×18	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含
P450	A−け−8	P451を切る	76×36×46	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂粒少含
P451	A−け−8	P450に切られる	42×40×20	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒、5㎜大小石含
P452	A−け−8		34×32×29	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含
P453	A−け−8	P466を切る	28×22×21	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含
P454	A−け−8		36×32×26	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含　パミス少含
P455	A−け−8	カクランに切られる	28×26×37	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含
P456	A−け−8		20×20×16	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含
P457	A−け−8		44×32×36	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含
P458	A−け−8	P465を切る	28×20×25	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）炭化物、砂粒少含

第9表　観音堂遺跡単独ピット一覧表(10)

遺構名	出土位置	重複関係	規模（長×短×深さ）(cm)	形態	出土遺物	覆土
P459	A−け−8		28×26×27	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P460	A−け−9		48×38×22	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P461	A−け−9		60×40×31	不整楕円		黒褐色土（10YR2/2）砂粒、パミス少含
P462	欠番					
P463	欠番					
P464	欠番					
P465	A−け−8	D78, P453に切られる	22×22×21			黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含　パミス少含
P466	A−け−8	P453に切られる	86×62×23	楕円形		暗褐色土（10YR3/3）砂粒5㎜大小石含
P467	A−け−8		28×26×16	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P468	A−け−8		38×36×27	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒含
P469	D−あ−10		20×20×18	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P470	D−あ−10		30×30×22	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P471	D−あ−10		32×32×16	円形		暗褐色土（10YR3/2）砂粒多含
P472	D−あ−10	P512を切る	30×30×27	円形		暗褐色土（10YR2/3）砂粒、砂ブロック含
P473	D−あ−10		46×38×29	楕円形		暗褐色土（10YR2/3）砂粒、砂ブロック含
P474	D−あ−10		42×42×28	円形		暗褐色土（10YR2/3）砂粒、1㎝以下小石含
P475	E−あ−1		50×44×28	円形		暗褐色土（10YR2/3）砂粒含
P476	E−い−1		14×14×10	円形		暗褐色土（10YR2/3）砂粒含
P477	D−い−10		36×30×16	円形		暗褐色土（10YR3/3）ローム粒子多含　パミス少含
P478	D−い−10		50×50×24	円形		黒褐色土（10YR2/2）1㎝以下小石含　砂粒少含　パミス少含
P479	D−い−10		36×32×23	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P480	E−あ−1		80×40×9	不整楕円		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、1㎝以下小石含
P481	E−あ−1		22×20×17	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5㎜大小石含
P482	E−あ−1		20×16×9	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P483	E−あ−1		26×20×14	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒含
P484	E−あ−1		34×34×19	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒含
P485	E−あ−1		40×32×14	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P486	E−あ−1		56×52×15	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　パミス少含
P487	E−い−1		38×30×27	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒多含
P488	E−い−1		46×46×17	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒含
P489	E−い−1		52×42×29	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含　パミス少含
P490	E−い−1		44×40×25	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒、5㎝大小石含
P491	E−い−1		22×20×18	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒、5㎝大小石含
P492	E−あ−2		32×32×21	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P493	E−あ−2		20×20×15	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P494	E−あ−2		72×60×36	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）パミス少含　砂粒、1㎝以下小石含
P495	E−あ−2		70×60×50	不整楕円		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P496	E−あ−2		62×50×23	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P497	E−あ−2		30×30×28	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P498	E−あ−2		42×36×23	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P499	E−あ−2		40×38×37	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、1㎝以下小石含
P500	E−あ−2		46×30×27	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒含
P501	E−い−2		20×20×22	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P502	E−い−2		30×28×26	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒含
P503	E−い−2	D93を切る	40×32×16	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P504	E−い−2	D93を切る	28×26×14	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P505	E−い−2		48×42×39	円形	擦文式甕（1068）	黒褐色土（10YR2/2）砂粒、パミス少含
P506	E−い−2		44×42×25	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含　5㎜大小石含
P507	E−い−2		40×34×23	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P508	E−い−2		38×38×25	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P509	E−い−2		42×38×22	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒、砂ブロック含

第9表　観音堂遺跡単独ピット一覧表(11)

遺構名	出土位置	重複関係	規模（長×幅×深さ）(cm)	形態	出土遺物	覆土
P510	E－う－3	D99に切られる	〔 〕×60×16	？		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5㎜大小石含
P511	E－い－3	D100を切る	46×28×16	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P512	D－あ－10	D88、P472に切られる	〔 〕×32×22	楕円？		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、砂ブロック含
P513	E－あ－3		68×54×24	楕円形	貝（アカニシ）	黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　2㎝以下小石含
P514	E－あ－3		38×28×37	隅丸長方形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含　5㎜以下小石含
P515	E－あ－3		48×36×27	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、1㎝以下小石含
P516	E－あ－3		30×22×14	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5㎜大小石少含
P517	E－あ－3		32×32×18	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5㎜大小石含
P518	E－あ－3		40×40×19	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P519	E－あ－3		44×34×22	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P520	B－く－3		42×32×18	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P521	B－く－3		25×24×16	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P522	B－く－3		26×24×24	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P523	B－こ－3		50×40×20	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5㎜大小石含
P524	E－あ－4	P525を切る	30×30×19	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、パミス少含
P525	E－あ－4	P524に切られる	28×26×27	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物少含　砂粒少含
P526	E－あ－4		70×42×17	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、1㎝以下小石含
P527	E－あ－4		40×36×33	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒、砂ブロック含
P528	E－あ－4		40×40×25	円形		暗褐色土（10YR3/3）砂粒多含
P529	E－あ－4		30×28×23	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P530	E－あ－4		25×22×12	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P531	E－い－3		32×26×23	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、5㎜大小石含
P532	E－い－4		26×26×16	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P533	E－い－4		30×30×29	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P534	E－あ－5		32×30×38	円形		黒褐色土（10YR2/2）炭化物少含　砂粒含
P535	E－あ－5		32×26×19	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、パミス少含
P536	E－あ－5		40×30×31	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含　1㎝以下小石含
P537	E－あ－5		38×36×40	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、パミス少含　5㎜大小石含
P538	E－あ－5		40×40×28	楕円形		①黒褐色土（10YR2/3）砂粒5㎜大小石含 ②暗褐色土（10YR3/3）砂粒多含
P539	E－あ－5		24×20×18	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P540	B－こ－5		26×20×18	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P541	E－い－5	P542を切る	40×32×14	楕円形		暗褐色土（10YR3/3）砂粒多含
P542	E－い－5	P541に切られる	40×40×19	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　1㎝以下小石含
P543	E－い－5		30×30×25	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P544	E－い－5		40×40×21	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、1㎝以下小石含
P545	E－い－5		34×32×26	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P546	E－い－5		34×34×34	円形		暗褐色土（10YR3/2）砂粒含
P547	E－い－5		26×22×17	円形		黒褐色土（10YR2/3）炭化物、焼土含　砂粒含
P548	A－け－9		22×22×18	円形		黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含　炭化物粒子含
P549	A－け－9		32×28×34	円形		黒褐色土（10YR2/2）地山砂含む　炭化物粒子含
P550	A－け－9		36×30×17	楕円形		①黒褐色土（10YR2/3）地山砂多く含　炭化物粒子含 ②暗褐色土（10YR3/3）地山砂主体
P551	A－こ－9		66×66×26	円形？		黒褐色土（10YR2/3）地山砂含
P552	A－こ－9		52×42×15	円形		暗褐色土（10YR3/3）地山砂多く含
P553	A－こ－9		30×30×17	円形		暗褐色土（10YR3/3）地山砂多く含
P554	欠番					
P555	欠番					
P556	D－あ－9		22×18×9	円形	かわらけ1	暗褐色土（10YR3/3）地山砂多量含む
P557	D－あ－9		28×22×8	円形		暗褐色土（10YR3/3）地山砂多量含む
P558	欠番					
P559	A－け－10		28×22×16	円形		暗褐色土（10YR2/2）地山砂多く含む
P560	A－け－10		36×34×21	方形		暗褐色土（10YR2/2）地山砂多く含む　砂ブロック混入

第９表　観音堂遺跡単独ピット一覧表⑿

遺構名	出土位置	重複関係	規模（長×短×深さ）(cm)	形態	出土遺物	覆土
P561	E－あ－6	P562を切る	42×40×36	円形		暗褐色土（10YR2/3）砂粒、5㎜大小石含
P562	E－あ－6	P561に切られる	30×30×24	円形		暗褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P563	B－こ－6		32×24×17	楕円形		①黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含 ②暗褐色土（10YR2/3）砂粒含
P564	E－あ－7		70×56×19	楕円形	礫石　かわらけ？	暗褐色土（10YR3/2）砂粒、砂ブロック含　5㎜大小石含
P565	E－あ－7		30×22×21	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒、砂ブロック含
P566	E－い－6		40×34×21	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含　5㎝大小石多含
P567	E－い－6		22×18×8	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P568	B－こ－7		54×50×28	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P569	B－こ－7	P570を切る	36×32×37	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含　1㎝以下小石含
P570	B－こ－7	P569に切られる	30×26×24	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒、パミス少含
P571	B－こ－7		56×54×31	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含　5㎝大小石含
P572	E－あ－7		86×68×14	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含　5㎜大小石含
P573	E－あ－7		58×34×15	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒、砂ブロック含
P574	E－あ－7	P575を切る	50×34×32	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、5㎜大小石含
P575	E－あ－7	P574に切られる	([illegible])×30×22	？		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含　1㎝以下小石含
P576	E－あ－7		54×52×32	円形		黒褐色土（10YR2/2）5㎜大小石少含
P577	E－い－7		30×24×13	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P578	E－い－7		45×26×19	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　2～3㎝小石含
P579	E－い－7		64×58×24	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、1㎝以下小石含
P580	E－い－7		64×62×29	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、5㎜大小石含
P581	E－あ－8		24×24×28	円形		黒褐色土（10YR2/2）炭化物少含　砂粒少含
P582	E－あ－8		22×16×8	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P583	E－あ－8		26×24×7	円形		暗褐色土（10YR3/3）砂粒含
P584	E－あ－8		30×26×13	円形		暗褐色土（10YR3/3）砂粒含
P585	E－あ－8		80×50×7	楕円形		暗褐色土（10YR3/2）砂粒、砂ブロック含　1㎝以下小石含
P586	E－あ－8		22×22×34	円形		黒色土（10YR2/1）砂粒少含
P587	E－い－8		24×20×17	円形		黒色土（10YR2/1）砂粒少含
P588	E－い－8		32×30×16	円形		暗褐色土（10YR3/3）砂粒含
P589	E－い－8		62×62×21	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒、砂ブロック含　パミス少含
P590	E－い－8		68×62×28	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　1㎝以下小石含
P591	E－い－8		40×38×20	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　1㎝以下小石含
P592	E－う－8	D114と重複	54×36×26.5	不整楕円		暗褐色土（10YR3/3）砂粒多含
P593	E－あ－9		26×26×20	円形		黒色土（10YR2/1）砂粒少含
P594	E－あ－9		26×20×11	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒、パミス少含
P595	E－あ－9		26×22×13	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒、パミス少含
P596	E－い－9		25×22×9	円形		黒色土（10YR2/1）砂粒、パミス少含
P597	欠番					
P598	E－い－9		56×50×14	(不整)円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒、砂ブロック含む　パミス少含
P599	E－い－9		34×30×18	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、1㎝以下小石含
P600	E－い－9		36×26×43	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含　5㎜大小石含
P601	E－い－9	D118と重複	20×18×21	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P602	B－こ－10		26×26×20	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P603	B－こ－10		44×40×22	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P604	B－こ－10		26×22×15	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P605	E－あ－10		50×46×18	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P606	E－あ－10		24×22×11	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P607	E－あ－10		36×34×22	円形		黒色土（10YR2/1）砂粒少含
P608	E－あ－10		40×34×31	楕円形		黒色土（10YR2/1）砂粒少含
P609	E－あ－10		24×18×22	楕円形		黒色土（10YR2/1）砂粒少含
P610	E－あ－10		40×30×10	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒
P611	E－あ－10		46×40×22	円形	貝（クロアワビ）	黒褐色土（10YR2/3）砂粒、砂ブロック含　5㎜大小石含

第９表　観音堂遺跡単独ピット一覧表⒀

遺構名	出土位置	重複関係	規模（長×短×深さ）(cm)	形態	出土遺物	覆土
P612	E－い－10		36×32×19	円形		黒色土（10YR2/1）砂粒少含
P613	欠番					
P614	C－こ－1		30×20×17	円形		黒色土（10YR2/2）砂粒少含
P615	C－こ－1		26×26×17	円形		黒色土（10YR2/3）砂粒含
P616	F－あ－1		32×30×39	円形		黒色土（10YR2/2）砂粒少含
P617	F－あ－1		48×30×14	楕円形		黒色土（10YR2/3）砂粒、5㎜大小石含
P618	F－い－1		50×50×30	円形		黒色土（10YR2/3）砂粒含　1㎝以下小石多含
P619	欠番					
P620	E－あ－10	D117内より検出，重複不明	32×32×49	円形		黒色土（10YR2/3）砂粒少含
P621	E－う－9	P622を切る	70×60×14	円形		黒色土（10YR2/3）砂粒含
P622	E－い－8	P621に切られる	60×□×23	楕円？		黒色土（10YR3/2）砂粒含1㎝以下小石含
P623	D－い－9		50×46×28	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含
P624	D－う－10		48×44×24	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　炭化物少含　1㎝以下小石含
P625	D－う－10		26×22×9	円形		暗褐色土（10YR3/3）砂粒多含
P626	D－う－10		40×36×20	円形		黒褐色土（10YR2/3）パミス少含　砂粒少含　5㎝大小石含
P627	D－う－10		30×30×16	円形		黒褐色土（10YR2/3）パミス少含　砂粒少含　5㎝大小石含
P628	D－え－10		36×30×16	円形		黒褐色土（10YR2/3）パミス、砂粒少含
P629	D－え－10		80×40×10	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）パミス、砂粒少含　5㎝大小石含
P630	D－え－10		50×34×12	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）パミス、5㎝大小石含　砂粒含
P631	D－え－10		22×20×13	円形		黒褐色土（10YR2/3）パミス少含　砂粒少含
P632	D－え－10		34×34×15	円形		黒褐色土（10YR2/3）パミス少含　砂粒少含
P633	E－え－1		50×46×42	円形		黒褐色土（10YR2/2）パミス少含　砂粒少含　5㎜大小石含
P634	E－う－1		40×32×19	方形？		黒褐色土（10YR2/2）砂粒、1㎝以下小石含む
P635	E－え－1	P636を切る	□×32×24	楕円？		暗褐色土（10YR3/2）砂粒含　パミス少含
P636	E－え－1	P635に切られる	76×□×37	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）パミス、砂粒含
P637	E－え－1		46×44×28	円形		黒褐色土（10YR2/3）パミス少含、砂粒少含
P638	E－え－1	D134を切る	50×32×17	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）パミス少含、砂粒少含
P639	E－え－1	D133を切る	40×34×22	円形		黒褐色土（10YR2/3）パミス少含、砂粒少含
P640	D－お－9		30×28×16	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5㎜大小石含
P641	D－お－10		54×40×17	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含　5㎜大小石含
P642	D－お－10		56×54×28	円形		黒褐色土（10YR2/2）1㎝以下小石含　パミス少含
P643	D－お－10		32×30×11	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P644	D－お－10		50×46×13	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P645	D－お－10		32×30×18	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P646	D－お－10		44×44×20	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P647	D－か－10		60×60×12	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P648	D－う－10		86×54×24	楕円形		①黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5㎜大小石含 ②暗褐色土（10YR3/3）砂粒多含　5㎜大小石含
P649	D－か－10		38×32×19	円形		黒褐色土（10YR2/2）パミス少含　砂粒少含
P650	D－き－10	北調査区外	36×□×27	？		黒褐色土（10YR2/2）パミス少含　砂粒少含
P651	D－か－10		48×46×24	方形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5㎜大小石少含
P652	D－き－10	D127を切る	42×40×19	円形		黒褐色土（10YR2/2）パミス少含　砂粒少含
P653	E－お－1		36×34×15	円形		黒褐色土（10YR2/2）パミス少含
P654	E－お－1	P674を切る	42×38×12	円形		黒褐色土（10YR2/2）パミス少含
P655	E－か－1		62×50×17	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）パミス少含
P656	E－か－1		26×26×11	円形		黒褐色土（10YR2/2）パミス少含
P657	E－か－1		48×42×12	円形		黒褐色土（10YR2/2）パミス少含
P658	E－う－1		26×20×14	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）炭化物少含　砂粒含
P659	E－う－1		28×24×18	円形		黒褐色土（10YR2/3）パミス少含　砂粒含
P660	E－う－2		38×36×27	円形		黒褐色土（10YR2/3）パミス少含
P661	E－う－2		42×34×24	円形		暗褐色土（10YR3/3）5㎜大小石含　砂粒、砂ブロック含
P662	E－う－2		46×40×26	円形		黒褐色土（10YR2/3）パミス少含　砂粒少含

第9表　観音堂遺跡単独ピット一覧表(14)

遺構名	出土位置	重複関係	規模（長×短×深さ）(cm)	形態	出土遺物	覆土
P663	E－う－2		28×26×35	円形		黒褐色土（10YR 2/3）炭化物少含　砂粒、砂ブロック少含
P664	E－う－2		32×32×15	円形		黒褐色土（10YR 2/3）砂粒含　1cm以下小石含
P665	E－う－2	D138を切る	34×28×18	楕円形		黒褐色土（10YR 2/3）パミス少含　砂粒、5mm大小石含
P666	E－う－2		50×38×21	楕円形		黒褐色土（10YR 2/3）炭化物少含　砂粒、砂ブロック含　パミス少含
P667	E－え－2		30×28×24	円形		黒褐色土（10YR 2/2）砂粒含
P668	E－え－2		34×32×20	円形		黒褐色土（10YR 2/3）パミス少含　砂粒含
P669	E－え－2		36×30×27	円形		暗褐色土（10YR 3/2）パミス少含　砂粒含
P670	E－え－2		38×28×23	楕円形		黒褐色土（10YR 2/3）5mm大小石含　パミス少含　砂粒少含
P671	E－お－2		28×22×15	楕円形		黒褐色土（10YR 2/3）パミス少含　砂粒含
P672	E－お－2		70×44×16	楕円形		黒褐色土（10YR 2/3）パミス、5mm大小石含
P673	E－お－2		72×66×21	円形		黒褐色土（10YR 2/3）炭化物少含　パミス含　砂粒少含　1cm以下小石含
P674	E－お－1	D130, P654に切られる	36×30×27	円形		黒褐色土（10YR 2/2）パミス少含
P675	E－お－2	D132を切る	58×56×13	円形		黒褐色土（10YR 2/2）1cm以下小石含　パミス少含
P676	E－お－2		62×60×9	円形		黒褐色土（10YR 2/3）パミス少含　炭化物少含　1cm以下小石含
P677	E－か－2		60×40×21	隅丸長方形		黒褐色土（10YR 2/2）パミス少含　5mm大小石含
P678	E－か－2	D145を切る	38×□×29	?		黒褐色土（10YR 2/2）砂粒少含　パミス少含　5mm大小石含
P679	E－か－2		20×18×18			黒褐色土（10YR 2/2）パミス少含　5mm大小石少含
P680	E－う－3		34×28×16	円形		暗褐色土（10YR 3/2）砂粒含　2～3cm大小石含
P681	E－え－3		56×54×26	円形		黒褐色土（10YR 2/3）パミス少含　砂粒、1cm以下小石含
P682	E－え－3		70×60×22	円形		黒褐色土（10YR 2/3）パミス少含　砂粒少含　1cm以下小石含
P683	E－え－3		36×24×17	楕円形		黒褐色土（10YR 2/2）パミス、砂粒少含
P684	E－え－3	D142を切る	42×□×13.5	楕円?		黒褐色土（10YR 2/2）パミス少含
P685	E－え－3		42×40×31	円形		黒褐色土（10YR 2/3）砂粒、5mm大小石含
P686	E－え－3	D142を切る	80×□×48	?		黒褐色土（10YR 2/3）砂粒、1cm以下小石含
P687	E－え－3		46×42×32	円形		黒褐色土（10YR 2/3）砂粒少含　5mm大小石含
P688	E－え－3		40×30×16	楕円形		黒褐色土（10YR 2/3）パミス少含　砂粒少含
P689	E－え－3		48×46×26	円形		黒褐色土（10YR 2/3）パミス少含　5mm大小石含
P690	E－お－3		73×36×12	楕円形		黒褐色土（10YR 2/2）パミス少含　砂粒含
P691	E－か－3		76×74×30	円形		黒褐色土（10YR 2/2）パミス少含　砂粒少含　1cm以下小石含
P692	E－う－4		34×30×33	円形		黒褐色土（10YR 2/3）砂粒含
P693	E－う－4		40×32×30	円形		黒褐色土（10YR 2/3）砂粒含　5mm大小石含
P694	E－う－4		70×60×20	円形		黒褐色土（10YR 2/3）砂粒含　1cm大小石含
P695	E－う－4		38×36×58	円形		黒褐色土（10YR 2/3）砂粒少含　5mm大小石含
P696	E－う－4		22×20×14	円形		黒褐色土（10YR 2/3）砂粒少含
P697	E－う－4		26×20×25	楕円形		黒褐色土（10YR 2/3）1cm大小石含　砂粒含
P698	E－う－4		26×26×20	円形		黒褐色土（10YR 2/3）砂粒少含
P699	E－え－4		24×22×9	円形		黒褐色土（10YR 2/3）砂粒少含
P700	E－え－4		30×30×16	円形		黒褐色土（10YR 2/2）砂粒少含　5mm大小石含
P701	E－え－4		52×44×14	方形		黒褐色土（10YR 2/3）1cm以下小石含　砂粒少含
P702	E－か－4		26×24×14	円形		黒褐色土（10YR 2/3）砂粒少含　5mm大小石含
P703	E－か－4		40×38×33	円形		黒褐色土（10YR 2/3）炭化物少含
P704	E－え－2		46×40×19	円形		黒褐色土（10YR 2/2）砂粒少含
P705	E－う－5		30×26×23	円形		黒褐色土（10YR 2/3）砂粒含
P706	E－う－5		30×28×11	円形		黒褐色土（10YR 2/3）砂粒含
P707	欠番					
P708	E－う－5		30×22×19	円形		黒褐色土（10YR 2/3）砂粒少含
P709	E－う－5	D106に切られる	42×42×18	円形		黒褐色土（10YR 2/3）砂粒少含　1cm以下小石含
P710	E－う－5		32×30×16	円形		黒褐色土（10YR 2/3）〃　5mm大小石含
P711	E－う－5		60×56×33	円形		暗褐色土（10YR 3/2）パミス、砂粒少含　5mm大小石含
P712	E－う－5		59×52×19	方形?		暗褐色土（10YR 3/2）パミス、砂粒少含　5mm大小石含
P713	E－う－5		26×20×19	楕円形		黒褐色土（10YR 2/3）砂粒少含

第９表　観音堂遺跡単独ピット一覧表(15)

遺構名	出土位置	重複関係	規模（長×短×深さ）(cm)	形態	出土遺物	覆土
P714	E－え－5		32×28×19	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含　1cm以下小石含
P715	E－お－4		22×22×14	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P716	E－お－5		28×24×14	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂粒少含
P717	E－お－5		30×24×14	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P718	E－お－5		26×24×15	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P719	E－お－5		26×26×10	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P720	欠番					
P721	E－う－6		20×20×21	円形		暗褐色土（10ＹＲ3/2）砂粒含
P722	E－う－6		26×22×16	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂粒，5mm大小石含
P723	E－お－6		32×28×13	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂粒少含
P724	E－お－6		40×26×20	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）パミス，砂粒少含　5mm大小石含
P725	E－お－6		70×50×19	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）パミス，砂粒少含　1cm以下小石含
P726	E－か－6		38×30×29	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒，5mm大小石少含
P727	E－か－6		24×22×12	円形		暗褐色土（10ＹＲ3/3）砂粒含
P728	E－か－6		30×22×31	楕円形		暗褐色土（10ＹＲ3/3）砂粒含
P729	E－か－6		30×28×29	円形		暗褐色土（10ＹＲ3/3）砂粒含
P730	E－か－6		28×26×21	円形		暗褐色土（10ＹＲ3/3）砂粒含
P731	E－か－6		22×20×18	円形		暗褐色土（10ＹＲ3/3）砂粒含
P732	E－か－7		30×28×22	円形		暗褐色土（10ＹＲ3/3）砂粒含
P733	E－か－6		82×76×45	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）パミス少含　砂粒含　1cm以下小石含
P734	E－か－6		34×32×28	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）〃　5mm大小石含
P735	E－か－7		82×60×55	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）パミス少含　砂粒含
P736	E－う－7		30×28×9	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）パミス少含　砂粒含
P737	E－う－7		30×30×14	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂粒少含　1cm以下小石含
P738	E－う－7		46×32×19	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含　パミス少含
P739	E－え－7		44×44×16	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂粒少含　1cm以下小石含
P740	E－お－7		22×22×17	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂粒少含
P741	E－お－7		26×24×19	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P742	E－お－7		32×28×35	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P743	E－お－7		36×28×20	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P744	E－お－7		56×50×19	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含　1cm以下小石多含
P745	E－え－8		50×26×18	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含　パミス少含　5mm大小石含
P746	E－え－8		40×36×41	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含　5mm大小石含
P747	E－え－8		26×26×55	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂粒，砂ブロック含
P748	E－え－8		32×32×39	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/1）砂粒，砂ブロック含
P749	E－え－8		50×44×15	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/1）砂粒含　1cm以下小石含
P750	E－え－8		32×30×32	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含　1cm以下小石含
P751	E－か－8		38×34×25	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）パミス，砂粒少含　5mm大小石含
P752	E－う－9		38×35×30	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒含　パミス少含　1cm以下小石含
P753	E－う－9		38×32×10	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂粒含
P754	E－う－9		34×26×35	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/1）砂粒少含　5mm大小石含
P755	E－え－9		44×38×19	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂粒含　1cm以下小石多含
P756	E－え－9		58×51×47	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂粒含　5mm大小石含
P757	E－え－8		52×40×38	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂粒含　5mm大小石含
P758	E－え－9		58×56×31	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂粒含　1cm以下小石多含
P759	E－え－9		52×50×36	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂粒含　1cm以下小石多含
P760	E－お－9		60×50×22	円形		暗褐色土（10ＹＲ3/3）ローム粒子多含　5mm大小石含
P761	E－か－9		35×24×9	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P762	E－か－9	P154を切る	22×20×27	円形		黒褐色土（10ＹＲ2/3）砂粒少含
P763	E－う－10		64×54×15	不整楕円		黒褐色土（10ＹＲ2/2）砂粒少含
P764	E－う－10		40×32×13	楕円形		黒褐色土（10ＹＲ2/1）砂粒，砂ブロック含む

第9表　観音堂遺跡単独ピット一覧表(16)

遺構名	出土位置	重複関係	規模（長×短×深さ）(cm)	形態	出土遺物	覆土
P765	E－う－10	P781を切る	42×32×30	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒含　1cm以下小石含　2～3cm大小石含
P766	E－え－10		66×56×32	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒含　1cm以下小石含
P767	E－お－10		68×56×21	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　パミス少含　1cm以下小石含
P768	E－お－10		20×18×11	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P769	E－お－10		60×44×25	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　1cm以下小石含
P770	F－う－1		82×62×40	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、5cm大小石含
P771	F－う－1	P782、P783を切る	64×□×47	円形？		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　1cm以下小石含
P772	F－え－1		22×18×23	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒含
P773	欠番					
P774	F－え－1	D157を切る	22×20×15	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P775	F－お－2	南側調査区外	64×□×36	楕円形	縄文土器（1068） 石器（1085）	黒褐色土（10YR2/2）砂粒含　5cm大小石含
P776	F－お－1		30×26×14	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、砂ブロック含
P777	F－か－1		30×26×11	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、砂ブロック含
P778	F－か－1		28×24×11	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、砂ブロック含
P779	F－か－2		26×18×16	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P780	E－う－10		24×22×10	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P781	E－う－10	P765に切られる	□×54×27	楕円？		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含　5cm大小石含
P782	F－う－1	P771に切られる	□×42×17	円形？		暗褐色土（10YR3/2）1cm以下小石含
P783	F－う－1	P711に切られる	□×50×15	？		暗褐色土（10YR3/2）砂粒含
P784	E－え－6	H1を切る	26×26×28	円形		黒褐色土（10YR2/2）5cm大小石含　砂粒少含
P785	F－き－2		76×54×40	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）1cm以下小石含　砂粒、砂ブロック含
P786	E－き－2		40×26×21	楕円形		黒褐色土（10YR2/2）パミス少含　砂粒少含
P787	欠番					
P788	H－い－4		50×48×21	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、砂ブロック少含　1cm以下小石含
P789	H－い－3		32×30×26	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　1cm以下小石含　まれに2～3cm大の小石含
P790	H－い－3	H1、P6を切る	32×30×31	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　1cm以下小石含　まれに2～3cm大の小石含
P791	E－え－7	H1床面上で検出 H1のP6を切る	32×28×32	円形		黒褐色土（10YR2/2）シルト質粒子含　地山砂含む
P792	E－う－7		34×21×20	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　1cm以下小石含
P793	E－う－7		20×18×11	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒含
P794	B－き－6	Ts23を切る	34×32×22	円形		黒褐色土（10YR2/2）炭化物粒子含
P795	E－く－5	D97を切る H1床面より検出	54×54×21	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　5cm大小石含
P796	B－か－10		38×36×31	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒含　1cm以下小石含
P797	欠番					
P798	A－く－8		30×28×16	円形		暗褐色土（10YR3/2）砂粒含
P799	A－く－8	東側調査区外	30×□×16	？		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P800	A－く－8		26×24×29	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、砂ブロック含
P801	A－く－8		26×24×25	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P802	A－く－8		24×22×21	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、砂ブロック含
P803	A－く－8		26×24×19	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒、砂ブロック含
P804	A－く－8		32×22×27	楕円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P805	A－く－8		16×14×12	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P806	A－く－7		22×20×14	円形		黒褐色土（10YR2/3）砂粒少含
P807	A－く－7		24×20×21	円形		黒褐色土（10YR2/2）砂粒少含
P808	E－う－4		32×28×20	円形		黒褐色土（10YR2/3）1cm大小石含　砂粒含
P809	E－あ－10	D117を切る	40×（24）×19	円形		不明

第10表　観音堂遺跡土坑一覧表(1)

掲載ページ	遺構名	出土位置	重複関係	規模 長径×短径×深さ(cm)	形態	出　土　遺　物	長軸方位	備　考
116 P	D1	Bく10	D15を切る	290×172×9	ⅡC5		N−7°−W	銭1個出土
90 P	D2	Bく9	−	114×114×20	ⅡA3		−	銭6個出土
119 P	D3	Bか9	東側調査区外 Ta5を切る	250×146×17	ⅠA5	土師3 須恵1 土器2 瓦質香炉1（中世） かわらけ6 瀬戸・美濃・陶器（時代器種不明）	N−0°	
65 P	D4	Bき10	D14、D15を切る	206×191×32	ⅠA4	かわらけ4 須恵1 土師1	N−17°−W	
98 P	D5	Bき7	Ta11を切る	146×126×52	ⅡB3	かわらけ3 白磁小皿（中国産15C） 土錘3 碁石・判読不明銭1	N−23°−W	
90 P	D6	Bこ8	Ta10を切る	101×93×53	ⅡA3		N−90°−W	扁平石あり
100 P	D7	Bけ8	−	156×130×21	ⅡB3	角釘1	N−46°−E	銭4個出土
54 P	D8	Bこ7	−	186×142×<119>	ⅡB4	瓦質擂鉢1（在地13C末～14C前） 須恵1 土師1 犬（頭蓋骨）	N−88°−E	井戸跡
122 P	D9	Bこ7	−	98×90×58	ⅢA3		N−42°−W	
112 P	D10	Bけ9	P3に切られる	<84>×66×25	ⅡC3		N−10°−W	
72 P	D11	Bけ9	−	100×90×18	ⅠC3	土師1 角釘1	N−10°−W	
62 P	D12	Bか10	P13に切られる	142×124×33	ⅠA3	かわらけ1 永楽通宝	N−0°	
62 P	D13	Bき8	Ta5を切る	<146>×143×18	ⅠA3	かわらけ1 染付碗（産地時代不明） 須恵1 土師1	−	H1と須恵四耳壺接合
65 P	D14	Bき10	D4に切られる	266×<193>×24	ⅠB5		N−30°−E	
66 P	D15	Bく10	D1、D4、D14に切られる	319×162×15	ⅠC5		N−78°−E	
98 P	D16	Bき10	P63に切られる	102×76×12	ⅡB3	かわらけ1 馬（大腿骨）	N−12°−E	銭4個出土
100 P	D17	Bき9	−	96×75×20	ⅡB3	土師2	N−80°−E	
108 P	D18	Bこ8	Ta10に切られる	134×104×62	ⅡB3	かわらけ1 土師1	N−26°−W	
78 P	D19	Bく7	Ta15を切る	196×122×42	ⅠC4	かわらけ3 土鍋3 瓦質擂鉢（在地13C末～14C前） 土師1 須恵1 角釘1	N−18°−W	
62 P	D20	Bけ6	D33を切る	114×108×32	ⅠA3	皇宋元寳1 かわらけ1 天聖通寳1 皇宋通寳1	N−25°−W	
108 P	D21	Bけ5	D22を切る	116×82×48	ⅡB3		N−54°−E	
67 P	D22	Bけ5	D21、P104、P140に切られる	<110>×86×12	ⅠB3		N−17°−E	
90 P	D23	Bけ6	−	96×92×25	ⅡA3	弥生1 須恵1	N−90°	
74 P	D24	Bこ4	P194に切られる	166×88×42	ⅠC3	ねじ釘1（撹乱） かわらけ1 土師1 貝（ハマグリ）	N−0°	
65 P	D25	Bけ5	D30を切る Ta1とD26に切られる	184×173×27	ⅠA4	白磁小椀口はげ（中国産13C後～14C前） 青磁碗蓮弁文（龍泉窯13C後～14C前） 青磁碗（龍泉14C末～15C前） かわらけ1 砥石	N−17°−W	
80 P	D26	Bけ5	P249に切られる	254×90×18	ⅠD5		N−0°	
67 P	D27	Bき9	D28を切る Ta5に切られる	140×<101>×24	ⅠB3		N−11°−E	
108 P	D28	Bき9	D27に切られる	96×72×46	ⅡB3	角釘1	N−22°−W	
67 P	D29	Bけ5	−	124×96×36	ⅠB3		N−80°−E	

第10表　観音堂遺跡土坑一覧表(2)

掲載ページ	遺構名	出土位置	重複関係	規模 長径×短径×深さ(cm)	形態	出土遺物	長軸方位	備考
86P	D30	Bく4	D25に切られる	81×<67>×22	ⅡB2	かわらけ1	−	
67P	D31	Bけ4	D83を切る	146×122×16	ⅠB3	青磁碗（中国南中世） 須恵1 判読不明銭1 牛（歯）	N−38°−W	
67P	D32	Bき4	D41を切る	130×84×16	ⅠB3	須恵2 山茶碗系擂鉢（13C） かわらけ3	N−10°−W	
72P	D33	Bけ5	D20、P98に切られる	<140>×88×21	ⅠC4		N−37°−W	
68P	D34	Bく4	攪乱により一部破壊される	216×160×57	ⅠB4	青磁蓮弁文小鉢（龍泉窯13C後〜14C前） 青磁蓮弁文碗（>13C） 須恵1 古瀬戸灰釉おろし皿（14C後）	N−90°−W	P67古瀬戸おろし皿と接合
58P	D35	Bく4	−	120×92×24	ⅡB3	土鍋土版 獣骨	N−5°−W	
89P	D36	Bく3	Ta17を切る	122×113×37	ⅡA3	かわらけ4 角釘3 飾り鉄2	N−90°	
116P	D37	Bき10	攪乱により一部破壊される D38を切る	244×134×22	ⅡC4	青磁蓮弁文碗（龍泉窯13C） 角釘1 明道元寳1 かわらけ5 須恵1	N−76°−E	礫14個出土
120P	D38	Cき1	D37に切られる	<155>×116×24	ⅠC		N−0°	
90P	D39	Cき1	南側調査区外 P150に切られる	116×107×19	ⅡA3		N−45°−W	
90P	D40	Bく2	P149に切られる	128×119×20	ⅡA3		N−52°−W	
119P	D41	Bき4	D45を切る	245×<146>×21	ⅠA5		−	
100P	D42	Bく2	−	140×114×30	ⅡB3	貝（タニシ、ウミニナ、アワビ、アカニシ） タイ（前頭） 土鍋1 茶臼1	N−50°−E	礫5個出土
86P	D43	Cく1	−	89×70×15	ⅡB2		N−80°−E	
90P	D44	Bき4	東側調査区外	125×<60>×31	ⅡA3 (?)		−	
119P	D45	Bき3	D41に切られる	<149>×<116>×20	Ⅰ?	元祐通寳1 古瀬戸 灰釉 おろし皿(14C後半)	−	
90P	D46	Bく3	−	116×107×24	ⅡA3	かわらけ3 土鍋2 須恵1	N−60°−E	
120P	D47	Bき3	P237に切られる	<116>×<36>×27	Ⅱ?		−	
62P	D48	Bき2	−	<110>×104×30	ⅠA3	かわらけ1 宋通元寳1 瀬戸・美濃皿（近世）	N−46°−E	礫7個出土
86P	D49	Bき8	Ta14に切られる	88×70×24	ⅡB2		N−18°−E	
100P	D50	Bく7	Ta12に切られる	<100>×84×10	ⅡB3		N−37°−W	
83P	D51	Bこ8	Ta10に切られる	66×58×36	ⅡA2		N−44°−W	
83P	D52	Bこ6	P271に切られる	84×81×32	ⅡA2		N−61°−E	
90P	D53	〃	−	118×110×31	ⅡA3		N−56°−W	
122P	D54	Eく5	M1に切られる	<160>×86×50	ⅡC3		N−25°−W	
63P	D55	Bく2	D56を切る	140×137×51	ⅠA3	土鍋2 砥石・貝（アカニシ）	N−63°−W	礫多量出土
100P	D56	Bく2	D55とP384に切られる	128×<99>×17	ⅡB3		N−89°−E	
98P	D57	Bく2	−	112×92×27	ⅡB3	甕2（中世） 犬（頭骨）	N−79°−E	礫多量出土
63P	D58	Bけ3	Ta18を切る	104×59×18	ⅠA3		N−85°−E	

第10表 観音堂遺跡土坑一覧表(3)

掲載ページ	遺構名	出土位置	重複関係	規模 長径×短径×深さ(cm)	形態	出土遺物	長軸方位	備考
100 P	D59	Bく3	Ta 18、Ta 19を切る	130×114×14	ⅡB3		N－28°－W	
108 P	D60	Bこ4	－	118×84×58	ⅡB3		N－15°－W	礫1個出土
68 P	D61	Bけ7	－	130×96×50	ⅠB3		N－84°－W	
68 P	D62	Bけ3	Ta 18を切る	172×126×21	ⅠB4	かわらけ1 砥石 ネズミ(下顎)	N－64°－E	
120 P	D63	Bき1	D 64を切る	<113>×<33>×54	Ⅱ?		－	
119 P	D64	Bき1	D 63に切られる	<78>×<75>×33	Ⅰ?	山茶碗系捏鉢(13C) かわらけ3 貝(タニシ・アカニシ)	－	
63 P	D65	Bく1	P 339、P 340、P 341、P 342に切られる	124×116×15	ⅠA3		N－18°－W	
100 P	D66	Bけ2	－	128×90×25	ⅡB3	紹聖元宝1 魚骨	N－57°－W	礫1個出土
98 P	D67	Bこ4	－	92×70×21	ⅡB3	古瀬戸灰釉おろし皿(14C後半) 貝(アワビ、クロアワビ) 角釘1 寛永通宝1	N－8°－W	灰釉おろし皿はD 45、D 34、D 67と同個体
58 P	D68	Bこ3	Ta 21を切る	78×66×15	ⅡB2	人頭骨 開元通宝1 熙寧元宝1 紹聖元宝1	N－17°－W	土壙墓
74 P	D69	Bこ2	撹乱により一部破壊される	<116>×60×55	ⅠC3		N－77°－E	
102 P	D70	Bこ2	・	155×110×21	ⅡB3	産地不詳(伊万里?) 青磁蓋(近世) かわらけ4	N－78°－E	
117 P	D71	Bこ2	Ta 21、D 69に切られる	<179>×150×72	ⅡB4		N－76°－E	
78 P	D72	Bこ3	－	172×110×48	ⅠC4		N－85°－E	
86 P	D73	Bけ3	－	84×60×40	ⅡB2		N－89°－E	
74 P	D74	Aけ10	－	172×92×27	ⅠC4	祥符元宝1 土鍋3 貝(ハマグリ)	N－11°－W	
83 P	D75	Bこ1	－	72×70×21	ⅡA2		N－0°	
74 P	D76	Bこ1	－	176×96×52	ⅠC4		N－10°－W	
68 P	D77	Aけ9	D 119を切る P 419に切られる	146×116×44	ⅠB3	山茶碗系捏鉢(13C)	N－62°－E	
89 P	D78	Aけ8	D 94を切る	92×84×38	ⅡA3	山茶碗系捏鉢(13C) 瓦質擂鉢(在地13C末～14C前)・角釘1	N－8°－W	
63 P	D79	Bく6	－	94×90×15	ⅠA3	土錘1	N－0°	
55 P	D80	Aけ8	P 420に切られる	344×340×<100>	ⅡA5	かわらけ8 瓦質擂鉢1(在地13C末～14C前) 須恵1 土鍋2 瀬戸・美濃白磁皿(19C初頭) 貝(アカニシ)・獣骨・釘1・砥石・角釘1	N－72°－W	井戸跡
86 P	D81	Bけ4	D 82に切られる	70×54×21	ⅡB2	獣骨	N－13°－W	
100 P	D82	Bけ4	D 81を切る	106×87×30	ⅡB3		N－78°－W	
80 P	D83	Bけ4	Ta 19を切りD 31に切られる	104×80×30	ⅠD4	貝(ハマグリ)	N－85°－W	
120 P	D84	Aく7	P 441に切られる	<120>×<70>×60	Ⅲ	かわらけ2 土鍋1	－	
90 P	D85	Dあ10	－	119×119×51	ⅡA3		－	
112 P	D86	Dい10	－	114×70×59	ⅡC3		N－71°－E	
78 P	D87	Dい10	－	182×104×67	ⅠC4	山茶碗系捏鉢(13C)・貝(アカニシ) 常滑産押印文甕(13C) かわらけ3 土鍋1 砥石 獣骨	N－37°－W	

第10表　観音堂遺跡土坑一覧表(4)

掲載ページ	遺跡名	尚土位置	東西関係	規模 長径×短径×深さ(cm)	新地	尚土遺物	長軸方位	備考
90 P	D88	Dあ10	−	101×99×21	ⅡA3		N−10°−W	
75 P	D89	Eあ1	上部観点により観察	<176>×<110>×<45>	ⅠC4	貝（アカニシ）	N−80°−E	
75 P	D90	Eい1	−	134×78×42	ⅠC3	角剣　完結通貨1	N−70°−E	
72 P	D91	Eい1	−	124×90×9	ⅠC3		N−58°−E	
90 P	D92	Eい1	P 93を切る	104×94×18	ⅡA3		N−90°	
72 P	D93	Eい2	D 92に切られる	184×140×17	ⅠC4	鉄滓1	N−1°−W	
108 P	D94	Aけ8	D 78に切られる	<87>×64×54	ⅡB3		N−85°−E	
117 P	D95	Eい2	P 505に切られる	217×138×55	ⅡC4		N−53°−W	
112 P	D96	Eい2	−	126×78×28	ⅡC3		N−58°−E	
108 P	D97	Eけ5	M 1, P 795に切られる	<108>×<130>×57	ⅡB3		N−79°−W	
80 P	D98	Eあ3	−	104×52×26	ⅠD3		N−10°−W	
91 P	D99	Eう3	P 510を切る	130×114×51	ⅡA3		N−38°−W	
83 P	D100	Eう3	P 511を切る	81×74×50	ⅡA2		N−80°−E	
102 P	D101	Eい3	−	96×72×30	ⅡB3	弥生1	N−34°−E	
122 P	D102	Eい3	−	134×46×71	ⅡC3	瀬戸・美濃古窯小碗（19 C）かわらけ1 瓦1	N−81°−E	
112 P	D103	Eい4	Ta 24を切る	104×68×72	ⅡC3		N−17°−E	
68 P	D104	Eい4	P 38に切られる	112×86×20	ⅠB3		N−40°−W	
91 P	D105	Eう4	−	110×106×70	ⅡA3		N−11°−E	縄1 鍋底土
91 P	D106	Eう5	−	104×96×52	ⅡA3		−	
56 P	D107	Eう6	−	292×270×<161>	ⅡA5	角剣1　須恵5　土師2	N−78°−E	井戸跡
102 P	D108	Eう5	−	134×106×30	ⅡB3	瓦質鉢体（在地13 C−14 C前）	N−75°−W	
112 P	D109	Eい4	−	130×72×23	ⅡC3		N−16°−W	縄1 鍋底土
112 P	D110	Eい5	−	162×86×42	ⅡC3		N−39°−W	
112 P	D111	Aこ9	−	98×60×58	ⅡC3		N−85°−W	縄1 鍋底土
102 P	D112	Eあ6	−	116×96×32	ⅡB3		N−37°−W	
83 P	D113	Eい7	−	92×82×19	ⅡA2		N−66°−E	縄7 鍋底土
63 P	D114	Eい8	P 507に切られる	130×122×15	ⅠA3		N−76°−E	
68 P	D115	Eあ9	Ta 26を切る	110×78×20.5	ⅠB3		N−70°−W	
91 P	D116	Fあ1	−	99×98×21	ⅡA3		−	

第10表　観音堂遺跡土坑一覧表(5)

掲載ページ	遺構名	出土位置	新旧関係	規模 長径×短径×深さ(cm)	形態	出土遺物	長軸方位	備考
106 P	D117	Eあ10	P620・P800に切られる	162×134×51	ⅡB3	貝（タニシ・アカニシ） 銅銭2	N－82°－E	
122 P	D118	Eい9	－	114×60×46	ⅢC3		N－50°－W	
100 P	D119	Aけ9	D77・P417に切られる	149×<122>×21	ⅡB3	かわらけ1	N－17°－E	礫9個出土
80 P	D120	Eい10	－	146×56×21	ⅠD3		N－3°－W	
58 P	D121	Eう10	－	105×67×28	ⅠD3	人骨、開元通宝1、聖宋元宝、至道元宝1、淳化元宝1、判読不明銭1	N－25°－W	土壙墓
57 P	D122	Fあ1	南半調査区域外	294×<152>×<149>	ⅡA5	かわらけ1 青磁蓮弁文碗（13C後～14C前） 古銭9 砥石1 青銅製煙管1 鉄滓2	－	井戸跡
120 P	D123	Fけ1	M2に切られる	<100>×<98>×70	ⅡA3		－	
108 P	D124	Eう1	－	100×75×46	ⅡB3		N－85°－E	
75 P	D125	Eか1	－	150×88×31	ⅠC3		N－20°－W	
91 P	D126	Dか10	北側調査区域外	101×<93>×39	ⅡA3		－	
83 P	D127	Dき10	P652に切られる	84×81×75	ⅡA2	土器1	－	
112 P	D128	Eか1	－	118×64×22	ⅠC3		N－63°－E	
102 P	D129	Eお1	－	150×112×25	ⅡB3		N－51°－W	
102 P	D130	Eお1	P674に切られる	134×116×27	ⅡB3		N－37°－E	
75 P	D131	Eか1	－	164×92×36	ⅠC3		N－90°	
83 P	D132	Eお2	P675を切る	87×81×24	ⅡA2		N－65°－W	礫3個出土
112 P	D133	Eえ1	P639に切られる	120×70×15	ⅡC3		N－39°－W	
102 P	D134	〃	P638に切られる	98×76×23	ⅡB3		N－55°－W	
86 P	D135	〃	－	80×70×27	ⅡB2		N－82°－W	礫1個出土
102 P	D136	Eう2	－	128×93×30	ⅡB3		N－81°－W	
102 P	D137	〃	－	96×72×27	ⅡB3		N－11°－W	
86 P	D138	〃	－	88×70×28	ⅡB2		N－41°－W	礫1個出土
102 P	D139	〃	－	130×108×32	ⅡB3		N－37°－E	
112 P	D140	Eえ3	－	122×72×13	ⅡC3		N－41°－W	
91 P	D141	〃	D142を切る P684に切られる	104×104×27	ⅡA3		－	
117 P	D142	〃	D141・P684・P686に切られる	192×118×43	ⅡC4		N－73°－W	
108 P	D143	Eお3	－	104×94×35	ⅡB3		N－2°－W	
112 P	D144	Eお4	－	128×84×27	ⅡC3		N－79°－W	
117 P	D145	Eか2	P678に切られる	196×100×36	ⅡC4		N－25°－E	

第10表　観音堂遺跡土坑一覧表(6)

掲載ページ	遺構名	出土位置	重複関係	規模 長径×短径×深さ(cm)	形態	出土遺物	長軸方位	備考
112 P	D146	Eえ4	－	98×58×44	ⅡC3		N－0°	
108 P	D147	Eお5	－	104×76×49	ⅡB3		N－0°	
83 P	D148	Eえ6	－	90×90×42	ⅡA2		－	
112 P	D149	Eか7	－	146×80×62	ⅡC3		N－38°－W	
98 P	D150	Eお9	－	102×84×46	ⅡB3	貝（アカニシ） 獣骨2 鉄滓3	N－13°－W	礫多量出土
83 P	D151	Eえ9	－	87×72×17	ⅡA2		N－68°－W	
91 P	D152	Eう9	－	132×126×36	ⅡA3	嘉祐元宝1	N－72°－E	
91 P	D153	Eう10	－	134×125×56	ⅡA3	銅銭1	N－82°－E	
102 P	D154	Eか9	P762に切られる	118×84×32	ⅡB3		N－71°－E	
91 P	D155	Eえ10	－	104×99×18	ⅡA3		－	
83 P	D156	Fえ1	－	90×90×12	ⅡA2		－	
86 P	D157	Fえ1	P774に切られる	88×72×8	ⅡB2		N－41°－W	礫2個出土
58 P	D158	Bけ10	P37に切られる	57×48×32	ⅡB1	開元通宝1、熙寧元宝3、元豊通宝1、政和通宝1、人骨	N－20°－W	土壙墓
120 P	D159	Aく9	東側調査区域外	90×<32>×21	Ⅱ?		－	
83 P	D160	Aこ9	－	86×80×10	ⅡA2		N－10°－E	
86 P	D161	Dあ9	－	70×60×12	ⅡB2		N－20°－W	
86 P	D162	Eう9	－	62×52×13	ⅡB2	祥符元宝1、政和通宝1、大観元宝1、景徳元宝1、皇宋通宝1、元豊通宝1	N－0°	
83 P	D163	Fい1	－	88×80×15	ⅡA2		N－0°	
83 P	D164	Fえ1	－	80×72×12	ⅡA2		N－80°－E	
102 P	D165	Eく8	－	114×84×27	ⅡB3		N－75°－W	
83 P	D166	Eい10	－	74×68×16	ⅡA2		N－28°－W	礫1個出土
83 P	D167	Aこ9	－	70×64×24	ⅡA2		N－10°－E	〃
80 P	D168	Eき1	－	114×50×9	ⅠD3		N－21°－E	
86 P	D169	Eお5	－	80×62×13	ⅡB2	貝（アカニシ）	N－5°－E	
108 P	D170	Eう5	D165に切られる	100×80×20	ⅡB3		N－0°	

第11表　観音堂遺跡竪穴住居址・竪穴建物跡・竪穴状遺構一覧表

掲載ページ	遺構名	出土位置	重複関係	規模 長径×短径×深さ(cm)	形態	出土遺物	長軸方位	備考
16P	H1	Eえ6 Eえ7 Eう6 Eう7	−	304×304×9〜23	隅丸方形	土師　須恵　磨石	N−5°−W	
36P	Ta1	Bく5	D25·Ta7·Ta8を切る	228×132×21〜38	長方形	灰釉碗　皇宋通宝1　判読不明銭2　瓦質擂鉢(在地13C末〜14C前)　鍵　貝(ハマグリ)	N−14°−W	
22P	Ta2	Bけ10	Ta3·Ta4·Ta13·Ta16を切る	264×276×25〜45	方形		N−11°−W	
22P	Ta3	Bく10	Ta2に切られる	264×252×11〜20	方形	石鏃1　瓦質火鉢(中世後半以降)	N−5°−W	
22P	Ta4	Cけ1	Ta2·P51に切られる Ta13·Ta16を切る	292×188×4〜18	長方形	かわらけ1	N−20°−W	
26P	Ta5	Bか9	Ta14·D27を切る D3·D13に切られる	360×336×10〜28	方形	伊万里染付碗1　瀬戸·美濃皿1(19C)　黒曜石　角釘2　元祐通宝　貝(ハマグリ)	N−11°−W	
28P	Ta6	Bき6	Ta15を切る	728×272×9〜28	不整長方形	古瀬戸灰釉平碗(15C)　山茶碗系捏鉢(13C)　青磁碗(中国産)　常滑甕(中世)　かわらけ1　角釘3	N−106°−W	
37P	Ta7	Bく5	Ta8·9を切る Ta1に切られる	248×364×0〜41	長方形	古瀬戸瓶子(中期)　貝(クロアワビ·ハマグリ)　古瀬戸灰釉縁釉皿(14C〜15C)　かわらけ2　角釘2　開元通宝2　明道元宝1　淳化元宝1　祥符元宝1　至和元宝1　〇寧元宝1　元祐通宝1　元〇〇宝1　聖宋元宝3　洪武通宝2	N−92°−W	
37P	Ta8	・	Ta1·Ta7に切られる	<64>×<42>×22〜26	不明		−	
39P	Ta9	Bき4	撹乱に一部破壊される Ta7·Ta8に切られる	388×<160>×7〜20	長方形?		N−98°−W	
44P	Ta10	Bこ7	D6に切られD18·D51を切る	380×140×68〜108	隅丸長方形	馬(歯)	N−11°−W	
29P	Ta11	Bき6	東側調査区域外 Ta6·D5に切られる Ta12を切る	584×<296>×40〜68	方形?	青磁劃花文碗(龍泉窯15C後半)　·玉縁碗(中国13C)　青磁碗(中国15C〜16C)　瓦質擂鉢(在地13C末〜14C前)　常滑甕(中世)　古瀬戸灰釉縁皿(中世)　羽口·(銅)·角釘1·かわらけ·土鍋	N−15°−W	
32P	Ta12	Bき7	Ta11に切られる D50を切る	420×<256>×26〜51	長方形	古瀬戸灰釉鉢(15C後半)　古瀬戸天目茶碗(15C前)　古瀬戸瓶子(中期)　羽口　瓦質擂鉢(在地13C末〜14C前)　杯蓋　砥石　貝(ハマグリ)　犬(歯)　犬(骨)	N−14°−W	
34P	Ta13	Bけ10	Ta2·Ta4に切られる Ta16を切る	296×492×2〜38	長方形	角釘1	N−110°−W	
27P	Ta14	Bき8	Ta5·D27に切られる D49を切る	400×236×3〜14	長方形	羽口　砥石　角釘2	N−90°	P158·P160·P161·P162·P163に切られる
31P	Ta15	Bく6	Ta6·D19に切られる	276×368×4〜43	長方形	山茶碗系捏鉢(13C前半)　緑泥片岩	N−103°−W	
24P	Ta16	Bけ10	Ta2·Ta4·Ta13に切られる	168×148×4〜11	方形		N−15°−W	
40P	Ta17	Bく3	D36·D40·D45·P140·P232·P233·P265に切られる	372×212×2〜17	隅丸長方形	青磁碗(龍泉窯系中世)　角釘1	N−9°−W	
41P	Ta18	Bけ3	D58·D59·D62に切られる　Ta19を切る	316×280×2〜14	長方形	瓦質擂鉢(在地13C末〜14C)　磨石	N−14°−W	
42P	Ta19	Bけ4	D31·58·59·61·62·63·Ta18に切られる	256×364×0〜19	長方形	山茶碗系捏鉢(13C)　至道元宝1　割れ銭1	N−105°−W	
45P	Ta20	Bく1	P330·P343·P344に切られる 北東側調査区域外	400×168×21〜36	長方形	貝(アカニシ、ハマグリ)　獣骨	N−5°−W	
46P	Ta21	Bこ2	P55に切られる　D68に切られる　D71を切る	260×108×14〜27	長方形	瀬戸·美濃灰釉皿(近世)　古瀬戸鉢(14C後〜15C前)　凹石　犬(下顎)	N−12°−W	
47P	Ta22	Bこ5	−	208×244×77〜88	長方形	角釘1　皇宋通宝	N−96°−W	
33P	Ta23	Bき6	東側調査区域外 Ta11に切られる	<456>×<88>×48	不明		N−10°−W	
48P	Ta24	Eい4	南側、撹乱に破壊されるD103に切られる	<488>×140×0〜59	隅丸長方形	古瀬戸灰釉小瓶(14C後〜15C前)　玉縁青磁碗(15C前)　角釘3　かわらけ1	N−15°−W	
49P	Ta25	Eい6	−	144×192×10〜20	長方形		N−100°−W	
50P	Ta26	Eあ9	D115に切られる	394×408×4〜21	方形	白磁小皿(中国15C)　角釘2　かわらけ2	N−98°−W	
52P	Ta27	Eえ6	−	160×180×24〜47	隅丸方形	瓦質擂鉢(在地13C末〜14C前)1　馬(歯)　獣骨	N−95°−W	

第Ⅴ章　総括

第84図　観音堂遺跡全測図（1:400）

平安時代

同期と認められる遺構はＨ１号住居跡のみである。南西にある上の城遺跡からは奈良～平安の竪穴住居跡が34棟検出されているがその集落の西端にあたるであろうか。出土土器は、軟質須恵器杯と椀、内面黒色処理された土師器杯と椀、口縁部形態「コ」字形の武蔵甕である。肩部に孔のあかない紐を４つもつであろう四耳壺がある。逼書土器の多い時期であるが本住居からも「工」の字が出ている。これらより、９世紀中頃の時期設定ができようかと思う。この時期の竪穴住居跡は一辺４～６ｍ規模が一般的であり（注３）、３ｍ方形規模のものは少例である。カマドの袖は石を芯材に粘土を貼り、武蔵甕を重ねて煙道としたのか多くの武蔵甕が出土した。

中世の遺構

竪穴建物跡

Ta5・Ta7・Ta8・Tal0・Tal1・Tal2・Tal3・Tal5・Tal8・Tal9・Ta23・Ta26

・・・・・・・・12棟ある。

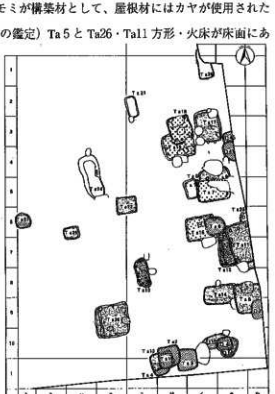
- いずれも壁際に柱穴を持ち、上屋を想定できる竪穴である。
- 規模は一辺が３ｍを越えるものである。
- Tal1では炭化材が残り、針葉樹のマツ・モミが構築材として、屋根材にはカヤが使用されたことが判明している。（パリノ・サーヴェイ社の鑑定）Ta5とTa26・Tal1方形・火床が床面にある（Tal1の形態は未確認。）など、そこで居住ないし作業した可能性が考えられる竪穴である。Ta7・Tal5・Tal8・Tal9　長方形、Tal0・Tal2は超長方形態である。これらも薄い貼り床ながら床面があり、踏み固められたようすがある。

竪穴状遺構

Ta1・Ta2・Ta3・Ta4・Ta6・Ta9・Tal3・Tal4・Tal6・Tal7・Ta20・Ta21・Ta22・Ta24・Ta25・Ta27

・・・・・・・16棟である。

- いずれも規則的な柱穴は持たない、
- 規模が一辺２ｍ前後以上を測る。
- ほぼ平坦な底面を持っているが貼り床されないものも多い。



竪穴建物跡・竪穴状遺構全体図

※発掘調査では遺構名を曖昧な観点で呼称したため報告書作成中に竪穴状遺構とかわらない土坑の一群があることに気づいた。（混乱するので名称の変更はしない。）土坑分類の長軸170cm 以上の方形土坑である。ＩＡ４－Ｄ４・Ｄ25、ＩＢ５－Ｄ14、ＩＣ５－Ｄ15、調査区域外で全容のつかめないＤ３・Ｄ41・Ｄ45の７棟も同様の遺構である。

合わせて23棟は上層・居住性ということでは確証を欠くが、土坑という範疇の中では共通の性格を持つ一群の竪穴であるので竪穴状遺構とした。正方形に近いTa２・Ta３・Ta４・Ta６・Ta16・Ta27・Ｄ４・Ｄ14・Ｄ３・Ｄ41、長方形のTa９・Ta13・Ta14・Ta16・Ta17・Ta22・Ta25・Ｄ15、超長方形のTa１・Ta20・Ta21・Ta24の３形態がある。

竪穴建物跡の性格については、その居住性をめぐって様々な指摘がなされている。ここで竪穴建物跡としたものは居住した可能性があり、竪穴状遺構は倉庫というより貯蔵庫としての機能が考えられるものと思う。

この竪穴群は遺跡の東縁に南北に連なっており密集している。江戸時代の甲州街道が現在も遺跡の東30mほどを遺跡の東西境と同一方向に通っており、竪穴群も並行している。中世においても近世から現代と同様な屋並みがあったと言える。

井戸跡

４基の井戸が確認された。規模は崩壊していることを考え、小さい値でみると径142・270・290・340cmと様々である。井戸枠は検出されていないが、Ｄ80は石が投げ込まれており径120cmの円形範囲内であることから同程度の井戸枠が想定される。Ｄ８も下部の径は110cmを測り、井戸枠の規模であろう。検出面から100cmほど掘ると湧水してくる。底面については湧水のため掘ってない。

土壙墓

Ｄ68は幼児骨、Ｄ121は熟年の男性で直葬である。両者ともに渡来銭が副葬してあり、聖宗元宝（初鋳年1101年）、紹聖元宝（初鋳年1094年）以降であることは確かである。Ｄ158は径60cm 未満の小ピットであるが、渡来銭と骨（小破片骨で人骨か判別不可能）、厚さ5mm の板状の３×４cm の木材片（樹種不明）を伴出している。人か獣骨かは解らないが箱に入れて埋めたのであろう埋葬施設である。

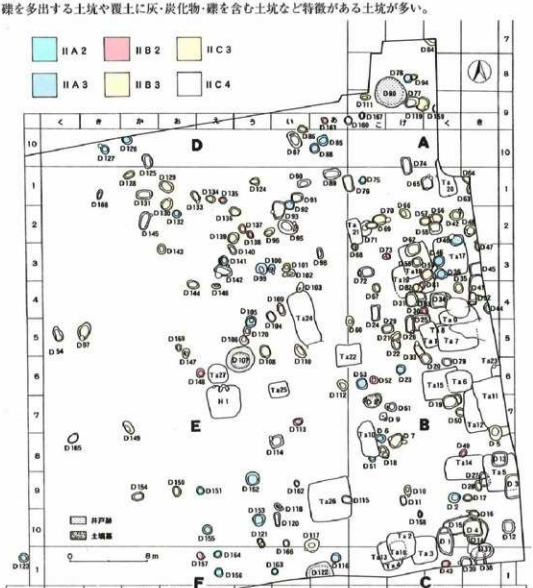
土坑

170基を土坑とし、その中から井戸跡、土壙墓、竪穴状遺構と同質なものを除くと、155基の土坑を形態と大きさで分類してみた。

方形基調の土坑は41基と26％にすぎない。また一辺が90cm 以下の方形基調の土坑は見あたらない。ＩＡ3（正方形）とＩＢ3・ＩＣ3（長方形）の一部の土坑（第39図で水色表示）はいずれも竪穴建物跡より新しく、灰・炭化物・礫を多く含むものがある。Ｄ55は礫が多く投棄されたような状態で検出され、深いことなど井戸の廃棄状態と類似することから、柿状のものに水が貯められていたのではないかと推測される。ＩＢ3・4、ＩＣ４の規模が大きく長方形になりテラスを持って深い土坑（第39図で黄色に

表示)の一群、ＩＣ３の長方形で深い一群、ＩＤ４・５の２つの土坑の性格は判然しないが中世の遺物を出土しており、「室」として貯蔵等に利用したものか。ＩＤ３は土壙墓と規模形態が類似しており、同様の性格が推測される。方形基調の土坑は竪穴建物跡と重なって分布しており、生活に密着した穴であったようである。

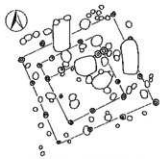
円形基調の土坑は小規模の65cm未満のものはピットとして扱い、ⅡＡ２・ⅡＢ２から分類した。ⅡＡ２・ⅡＢ２の差はなく、遺物にも特徴はない。D127は土器片1を出土しており(写真391参照)この土器の年代がわからないが近い時期のもので中世ではない。またⅡＢ３の土坑では、アワビやおろし皿、礫を多出する土坑や覆土に灰・炭化物・礫を含む土坑など特徴がある土坑が多い。



第85図　観音堂遺跡円形基調土坑分布図（1：400）

単独ピット

単独ピットは791個検出されたが、数の多さと不規則なため建物跡として組み合わせることができなかった。多数の遺構の重複で壊されたピットもあり全容はつかめないものの、B14グリットにおいて棟行き560cm（3間）×梁行き510cm（3間）の方形に1棟組むことができた。ピットの密集度からも何らかの建物が想定され、この規模の建物では観音堂地名のお堂の建物跡の可能性もあり得ると推測する。



観音堂遺跡掘立柱建物址

溝状遺構

M1は東西方向で西傾斜し、50～60cm大の礫も含む。遺物に近代陶磁器もあるが部分的に混入したものと思われる。M2は大半の遺構が調査区の東側に集中する中で遺構が途切れ、その西側にある溝状遺構である。標高からみても谷に当たる地点であり、北西の低地に向かって、北傾斜の溝である。多数の大小の礫がまとまって出土しており、礫の中には五輪塔の火・水・地輪が混じっていた。ウマ・イヌの骨があり、ウマは解体痕があり埋葬されたものではなく投棄されたと思われる。M3はM2よりに西にずれるが南北方向の溝である。黒褐色土が締まっていることから、道の可能性もあるかと思う。底面の高低は調査区では差がない。

中世遺物

かわらけ

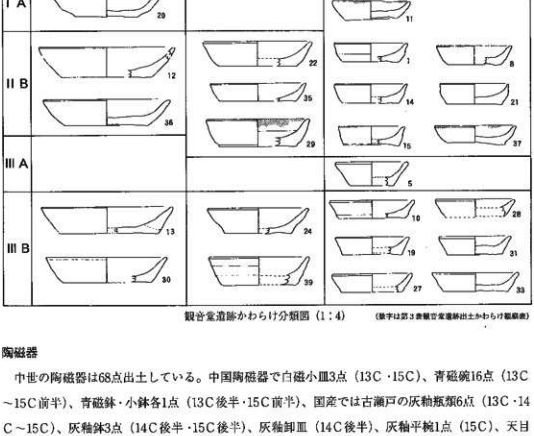
観音堂遺跡のかわらけ（土師質土器・土師質皿などの言い方もなされる。）についてみると、いずれもロクロ成形で底部には糸切り痕を残し、比較的厚手のものである。形態は3形態に分けられ、

Ⅰ群　底径に比して口径の大きい杯器形（A）に近く比較的薄手、見込みに押圧痕があり、胎土も極細かいもの。

Ⅱ群　口径と底径の差がなく皿器形（B）で、体部が肥厚した底部から内湾気味に立ち上がり、端部で外反させるもの。

Ⅲ群　体部が底部から直線的に立ち上がり外反するもの。杯形（A）・皿形（B）両者あるが皿形が多い。

服部氏の編年（注4）ではⅢ類の器形を15C後半から16C末に位置づけている。Ⅲ類13のかわらけが15Cの玉縁青磁碗伴出しており、ほぼ一致している。また、Ⅱ類とⅢ類は同じ遺構で出土しており、時間差は判然としない。Ⅰ類は服部氏編年の一段階前の14世紀中葉から15世紀前半のものと類似している。従って観音堂のかわらけは14C中頃から15C頃の所産とみられる。



観音堂遺跡かわらけ分類図（1：4）　（数字は第3表観音堂遺跡出土かわらけ組成表）

陶磁器

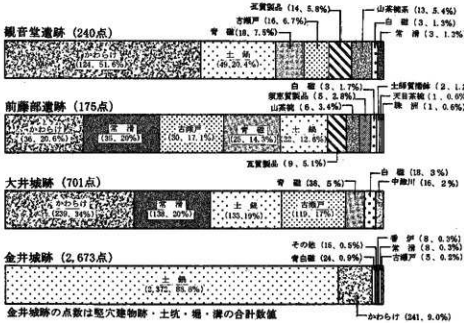
中世の陶磁器は68点出土している。中国陶磁器で白磁小皿3点（13C・15C）、青磁碗16点（13C～15C前半）、青磁鉢・小鉢各1点（13C後半・15C前半）、国産では古瀬戸の灰釉瓶類6点（13C・14C～15C）、灰釉鉢3点（14C後半・15C後半）、灰釉卸皿（14C後半）、灰釉平椀1点（15C）、天目茶椀2点（15C）、山茶椀系捏鉢13点（13C）、常滑甕3点（中世）、瓦質擂鉢11点（13C末～14C前半）、瓦質火鉢2点・瓦質香炉1点（中世）という内訳になる。13世紀と14世紀後半から15世紀前半にまとまっており、16世紀代のものを含んでいない。

土鍋

土鍋（内耳鍋・内耳土器とも言われる。）実測図体は1点のみである。底部から直立した体部が内稜を持って内湾気味に外傾する口縁を持っている。野村崚年（注5）で述べている「I類は口辺部を強く「く」字状に外反させるもので、口辺内面は凹凸が少なく直線的に開く」ものと同器形である。これは15世紀前半の使用が考えられるとしている。本遺跡の土鍋も15世紀という年代が相当しよう。

ところで中世焼き物組成グラフに示したが、かわらけの破片の数え方が観音堂遺跡は小砕片まで入れてあるので他の遺跡より多くなっていると思われるが、常滑の量を除いて、前藤部遺跡（注6）・大井城跡（注7）と類似した組成となっている。前藤部遺跡は13～14世紀前半と15世紀中頃の資料が中心で本遺跡に近い時期である。大井城跡は中国陶磁器は14～15世紀代、国産品は16世紀代のもの

が多い。金井城跡（注8）は15～16世紀が中心で16世紀中頃の限られた時期の城郭としている。ここでは金井城が、煮沸具である土鍋（内耳鍋）が多く遺跡の性格に差違があるものと思われる。



第86図　中世遺跡別焼物組成グラフ

金属製品・羽口・鉄滓

鉄製品は鉄製の角釘42点、飾鋲２点、刀子２点がある。煙管は青銅製１点がある。

また羽口が５点と鉄滓が出土しており、鍛冶が行われたようである。

石製品

中世の石製品には砥石製のミニチュア門石、凹石４点、硯３点、磨石７点、茶臼下臼の受け皿1点、粉挽き臼下臼1点、五輪塔11点である。粉挽き臼は六分画で長野県に分布しているものである。（注９）粉挽き臼は中世では貴重なもので、「粉挽き臼がひろく普及するに至るのは江戸時代も中期以降のことであろうと従来考えられてきた。」とある。大井城跡では39点・金井城跡45点（注８）の粉挽き臼が出土している。城郭等では16世紀頃に出土している例が他でも報告されている。観音堂遺跡の１点の出土は本遺跡の時期がやや早いのと遺跡の性格により出土が少ないものと推測される。まして茶臼は貴重な臼であったようである。

その他

調査では多くの貝類が出土し、内陸の地佐久において、海生の貝類が多くみられた。アカニシは巻き貝だが中世では食用にされたらしく中世鎌倉の調査でも多く出土している。またアワビは中世においては高級贈答品とされ需要が供給を上まわっていたという。（註10）またアワビの貝殻自体も

螺鈿細工の原料である。貝殻だけ搬入した可能性もあるが、中世の流動性のあるようすが示された。またタイなども食され、M２号溝状遺構からは解体痕のあるウマの骨が出土しており、やはり食用にされたようだ。またイヌと中世との関連（犬追物で犬を使用）を指摘する見解もあるが（註11）、本遺跡で多くの犬の骨がみられることも中世の遺跡のためであろうか。

まとめ

観音堂遺跡の遺構の年代を遺物でみると

Ⅰ期　Ta15・Ta19・Ta20・D8・D78（13C末～14C前半）東海系捏鉢、瓦質擂鉢のみを出土。

Ⅱ期　Ta21・Ta24・Ta26・D15（15C前半以降）かわらけⅡ類、古瀬戸・青磁が15世紀前半の時代。

Ⅲ期　Ta４・Ta７・Ta11・Ta22・D8井戸跡・D４・D12・D32・D36（15C後半以降）Ⅲ類のかわらけ、15世紀後半の陶磁を出土する。遺物がないため時代を推定できない遺構が多いがおおよそこの３期の遺構と推定される。近世末～近代の陶磁器が一部に混入したり、明らかに撹乱の中から出土している。中には（D118など）近世から近代の土坑もあろうが、遺物が近世末～近代にとんでしまうことから、中世末16世紀の遺物はなくこの遺跡は14世紀後半から15世紀にかけて存続し、近世末まで途絶えていたようである。また、遺跡の性格については、岩村田宿（宿の景観は街道・町屋・河原・辻堂・市場だという（註12））の一角であろうと思われる。すぐ東に江戸時代の甲州街道の前者の道が想定され（道構の軸が真北ではなく甲州街道に沿っていることから）、単独ピット群や竪穴建物跡が町屋として、観音堂地名が残り、辻堂と推定される掘立柱建物跡や墓地もある。

岩村田は中世において大井氏の城下町である。大井氏は室町時代北朝方に属し一時落城したが、南朝方が敗北してから勢力が伸びた。永享の乱（1437）では、鎌倉府の足利持氏の末子永寿王丸を安原安養寺にかくまい、後に永寿王丸は関東管領に補せられ大井氏は全盛期を迎える。そして文明16年（1484）に村上氏に焼かれ衰退してゆく。観音堂遺跡は中世岩村田宿の南西限界に当たる位置にあり、ここから800m北東にある大井城跡の大井氏と連動してして宿が広がりまた衰退したようである。

終わりに

土坑と単独ピットの数に圧倒され、西半域には遺構が密ではないことに、胸をなでおろしたものです。中世の遺跡は遺物はそれほど多くはないものの、遺構の煩雑さにいつも悩まされます。今回調査が順調に進み、ここに報告書の刊行ができたことは、周囲の方々の絶力の賜ものと感謝しております。中世岩村田宿の解明に本遺跡の資料は多大なる成果を残し、今後の調査の進行により、中世の岩村田がより明瞭になることと思われます。

註

1．1990 『中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書８－松本市内　その５－北栗遺跡』（財）長野県埋文センター

2．1982 『日本人の生活と文化Ⅱ　祈願のかたち』(株)ぎょうせい

3．1995 『曽根新城Ⅰ他・上久保田向Ⅰ他・西曽根Ⅱ・Ⅲ』佐久市教育委員会

4．1984 服部実喜中世鎌倉における出土かわらけの編年的位置づけについて『神奈川考古第19号』

5．1990 野村一寿　第６節中世の土器・陶磁器『中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書４－松本市内その１－総論編（財）長野県埋蔵文化財センター

6．1999.3 刊行予定『前藤部遺跡』佐久市教育委員会

7．1986 『大井城跡（黒岩城）』佐久市教育委員会

8．1998 「金井城跡」『北陸新幹線埋蔵文化財発掘調査報告書１』（財）長野県埋蔵文化財センター

9．1978 三輪茂雄『ものと人間の文化史25　臼』法政大学出版局

10．1989 矢野憲一『ものと人間の文化史62　鮑』法政大学出版局

11．1992 『日本史の中の動物事典』東京堂出版

12．1998 シンポジウム日本の考古学５『歴史時代の考古学』学生社

佐久市観音堂遺跡の獣骨

群馬県立大間々高等学校　宮崎重雄

観音堂遺跡は佐久市岩村田にある。出土骨類はウマ、ウシ、イヌ、ネズミ、タイである。

1　ウマ（Equus caballus）

D16　からは大腿骨片が2片出土している。2片のうち、1片の近位破断面は打ち砕かれたような痕跡を示している。両辺とも骨表面には食肉動物による咬痕と思われるあとがついている。

M2　からは橈骨近位端と思われる部位が2片、これとは別の橈骨？片5点出土している。

橈骨近位端には2片とも鋭い刃物によるきり痕があり、解体痕と思われる。

M3　からは多数のウマの骨や歯が出土している。出土部位は切歯、臼歯、肩甲骨、上腕骨、大腿骨、中足骨などであるが、分布範囲が狭いことや出土部位数が1個体分を越えていないことなどから、同一個体のものと思われる。

切歯の咬合面の模様や上顎第3後臼歯の歯冠高などから推定される年齢は9－10才の壮令馬である。体高を推定できる部位を欠くが、おそらく日本の在来馬ほどであろう。

Ta10　からはウマの下顎第3前臼歯が1本出土している。歯冠高から推定される年齢は5－6才である。

Ta27　から下顎の第4前臼歯が1本出土している。歯冠高から推定される年齢は8－9才の壮令馬である。

2ウシ（Bos taurus）

D31　から歯冠高40.0＋㎜の臼歯片が出土しているが、詳細は不明である。

3イヌ（Canis familiaris）

D8　からイヌの頭蓋骨、左上顎第3前臼歯、同第4前臼歯近心半分、同第1後臼歯、左・右上顎犬歯が残存する。

この個体は最大頭蓋長は146.0㎜で、現生柴犬ほどの小型犬である。

M2　からは左下顎骨岩様部などの頭蓋骨、左上顎犬歯、同右第4前臼歯、同左第1後臼歯、左下顎第1後臼歯などが出土している。歯の大きさは現生柴犬なみであるが、犬歯や下顎の大1後臼歯が大きめなのはオスだからであろう。

D57　からは底後頭骨が発掘されている。その大きさは現生柴犬なみであり、小型犬のものであることを示している。

Ta12　からはイヌの下顎骨片や下顎犬歯が出土している。犬歯の大きさは超小型犬というべきで、現生柴犬よりさらに小さい。

Ta21　からは臼歯を残した下顎が出土している。臼歯の大きさは現生柴イヌよりやや小さめの小型

犬である。

4　ネズミ類

D62　からはネズミ類の下顎骨が検出されている。現生クマネズミよりだいぶ大きく現生には該当種はないようである。

5　魚類

D42　からはタイの前顎骨が出土している。

D66　からも魚骨が検出されているが詳細は不明である。

6　その他

D68　からは種不明の肢骨などの骨片の出土がある。幼獣のものである。

参考引用文献

醍醐正之（1956）犬の骨格に関する比較解剖学的考察Ⅰ．頭蓋骨について、日本獣医畜産大學紀要、5,43-60

醍醐正之（1957）犬の骨格に関する比較解剖学的考察Ⅱ．下顎骨について、日本獣医畜産大學紀要、6,70-79

GoubauxA. and Barrier G.　(1892) The Exterior of the Horse . J. B. Lippincott Co.

Levine M (1982) The use of crown height measurements and eruption- wear sequences to age horse teeth . In Wilson . B , Grigson C . and Payne S . eds . Ageing and Sexing Animal Bones from Archaeological Sites . Bar British Series 109,223-250.

斉藤弘吉（1963）「犬科動物骨格計測法」．私家版

茂原信生（1989）古代日本犬の形態変化．考古学ジャーナル，303，22-27

茂原信生・小野寺覚（1984）　田柄貝塚出土の犬骨について．人類学雑誌 ,92（3），187-210

馬側計測表

上顎歯槽

	地点名	M3
	左右	右
	歯種	第3後臼歯
歯冠近遠心径	咬合面	25.5+
歯冠頬舌径	咬合面	15.8+
〃	舌側	51

下顎臼歯

	地点名	Ta27	Ta10
	歯種	第3前臼歯	第4前臼歯
歯冠近遠心径	歯根から3cm	26.0	28.0
歯冠頬舌径最大幅	歯根から3cm	15.4	15.9
歯冠高	頬側	50.7	75.4
〃	舌側	52.1	73.6
下後縁谷長	咬合面	8.7	9.3
下内縁谷長	咬合面	11.5	13.0
doubleknot長	歯根から3cm	14.5	15.9
下内縁幅		5.3	6.1

イヌ下顎骨計測値

		Ta21	M2
右下顎最大保存長		106.+	
第1前臼歯	歯冠長	3.9al	
第2前臼歯	歯冠長	439al	
第3前臼歯	歯冠長	9	
	歯冠幅	4.1	
	歯冠高	5.5	
第4前臼歯	歯冠長	10	
	歯冠幅	5	
	歯冠高	6.5	
第1後臼歯	歯冠長	18.4al	19.7
	歯冠幅		8.1
	歯冠高		10
第2後千歯	歯冠長	7.7	
	歯冠幅	5.7	
	歯冠高	5.2	
下顎体高	第2後臼歯後	24.6	
	第1後臼歯中央	22.2	
	第4前千歯・第1後臼歯	17.8	
	第4前臼歯中央	8.4	
	第3前臼歯・第2前臼歯	16.7	
	第2前臼歯中央	4.9	
	第1前臼歯前	3.9	
下顎体厚	第1後臼歯	10	11.4
	第2・第3前臼歯間	9.7	10.8
下顎連合幅		12	

イヌ後頭骨

		D-57	D-8
92	後頭顆最大幅	33.2	
93	後頭顆頬部最大幅	30.4	28.7
94	両後頭顆孔間距離	17.3	16.4
118	上顎幅		29.3
126	硬口蓋幅		28.2
123	硬口蓋幅		24
124	硬口蓋幅		25.4
95	両関節窩後突起間距離		22.4
107	両大口蓋孔距離		20.3
40	最小前頭幅		32.3
45	両眼窩下孔距離		31.3
148	後頭三角最大高		41.1
152	頬骨高		44.4
147	後頭三角高		25.4
41	前頭骨頬骨突起端間距離		40.6
42	両眼窩最小距離		27.3
35	頭蓋幅		51
1	最大頭蓋長		146.0±

イヌ犬歯

	上下 左右	Ta12	D-8	M2 上 左
6	下顎犬歯歯最大長	7.2	9.4	9.6
7	下顎犬歯幅	4.4	5.5	6
8	下顎犬歯歯高			6.5
9	下顎犬歯歯根最大幅	7		
10	下顎犬歯歯根長	14.8		
11	下顎犬歯全長	33		

イヌ上顎歯

		M2	D8
右第4前臼歯	歯冠長	17.4	
	歯冠幅	8.4	
	歯冠高	8.7	
左第1後臼歯	歯冠長	11.4	11.5
	歯冠幅	13.3	14.2
	歯冠高	6.7	

佐久市観音堂遺跡出土人骨について

聖マリアンナ医科大学　解剖学教室
平田　和明　　奥　千奈美

Ⅰ．はじめに

佐久市に所在する岩村田上の城遺跡群の観音堂遺跡から出土した中世人骨３体について、佐久市教育委員会から鑑定を依頼されたので、ここに結果を報告する。

Ⅱ．人骨出土状況

出土人骨のうち２体は断片化して残存しているものの、骨質は比較的堅牢であり、年齢判定に使用する部位が残存していたため、年齢を決定することができた。他の１体は全身にわたって残存しているが、骨質が脆弱で保存材による処理を受けている。

Ⅲ．人骨の所見

鑑定をおこなった３体の人骨について以下に記載を行う。歯式の表記は、数字は永久歯の残存を、×は欠損を示す。

1）D68人骨（性別不明・乳児期）（中世）（写真１）

この個体は骨質は比較的堅牢であるが、残存部位は頭蓋・四肢骨および肋骨である。

頭蓋：右眼窩部を含む前頭骨片、左右頭頂骨の前方部、右側頭骨の錐体部、後頭骨の後頭鱗が残存する。大泉門があること、鼓室部や外耳道の発達程度から１歳前後の乳児であると推定される。

四肢骨：右肩甲骨の関節窩・肩峰基部・外側縁・上縁を含む部位と左大腿骨体片が残存する。

その他：左肋骨が３本残存する。

2）D121人骨（男性・熟年期）（中世）（写真２）

この個体は保存状態が悪く、骨質が脆弱であり、取上げ時に保存材による処理を受けている。

残存部位は頭蓋および下肢骨である。

頭蓋：頭蓋骨は土圧によって、左右に扁平化している。残存部位は前頭骨、左右頭頂骨、右側頭骨、後頭骨、下顎骨である。三主要縫合の内板はほぼ骨結合が完了しているが、外板では所々に離開を認める。以下に歯式示す。

××6543××	×××××678
××6×××××	12345×7×

歯の咬耗度はMartinの2～3度である。特に 6 の舌側の咬耗が著しい。頭蓋の縫合の状態と歯の咬耗度からこの個体は熟年期あると推定される。また、 5 歯冠遠心側に軽度の齲蝕が、 6 に歯頸部齲蝕が認められた。

下肢骨：左寛骨は左大腿骨頭と関節した状態であり、腸骨体と腸骨翼の下部、恥骨枝の上部が残存しているが、土圧に内外側の扁平化が著しい。大坐骨切痕が比較的狭いことから男性であると推定される。また、左右大腿骨骨体が残存しており、太くて頑丈で粗線が発達している。下腿は右の脛骨、腓骨、距骨、踵骨が関節した状態で残存しており、脛骨は栄養孔より下部が、腓骨は骨体下部が、距骨と踵骨は外側部が残存している。また、左は脛骨と腓骨の骨退部が残存している。

その他：部位不明の四肢骨片（約8.5cm長）が残存している。

3）A・こ・9人骨（性別不明・老年期）（中世）（写真3）
この個体は骨質は堅牢であるが、残存部位は頭頂付近に相当する頭蓋冠だけである。

頭蓋：矢状縫合を形成する左右頭頂骨のみが残存する。矢状縫合は内板・外板ともに完全に骨結合しているため、老年期であると推定される。頭頂孔は左右に認められる。また、頭頂骨上面の前縁から右縁、さらに後縁にかけて擦られたような傷が無数にあり、げっ歯類かイヌによる咬傷である可能性がある。

Ⅳ．まとめ
佐久市観音堂遺跡からは少なくとも3個体の人骨が出土している。年齢構成は乳児期1個体、熟年期1個体、老年期Ⅰ個体であり、性別構成は男性1個体、不明2個体である。齲蝕はD121人骨の歯冠部と歯頸部に観察された。また、A・こ・9人骨は頭頂骨縁をげっ歯あるいはイヌに齧られた痕跡が見られ、死後に頭頂部が囓されていた期間のあったことを示すものと考えられる。

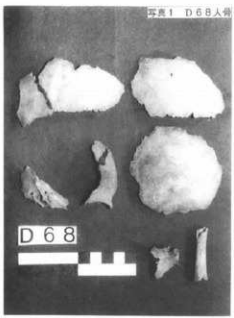


写真1　D68人骨

写真3　A・こ・9人骨

写真2　D121人骨

観音堂遺跡における遺構構築材と食料残渣について

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

観音堂遺跡では、発掘調査の結果、主に中世の住居跡や土坑などが検出された。これらの遺構の中には、遺構構築材などと考えられる炭化材や、当時の食料残滓と見られる貝類の殻が出土しているものもある。今回の分析調査では、出土した炭化材・カヤ状炭化物の同定を行うとともに、貝殻の同定を行い、当時の用材や食料供給に関わる情報を得ることにした。なお、カヤ状炭化物については、当初灰像分析を実施する予定であったが、試料中に葉部が認められなかったため、樹種同定と同じ手法で同定を試みる。

1．遺構構築材の種類

(1)試料

試料は、中世の竪穴（Tall）から出土した炭化材1点（Tall）と、カヤ状炭化物1点（Tall№1）である。炭化材は、1試料中に板状のものと棒状のものが認められたため、それぞれ同定を行った。

(2)方法

木口（横断面）・柾目・（放射断面）・板目（接線断面）の3断面の割断面を作製し、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組織の特徴を観察し、種類を同定する。

(3)結果

炭化材は、板状のものがマツ属複維管束亜属、棒状のものがモミ属に同定された。また、カヤ状炭化物は、イネ科タケ亜科に同定された。各種類の解剖学的特徴などを、以下に記す。

・マツ属複維管束亜属（Pinus subgen．Diploxylon）　マツ科

早材部から晩材部への移行は急～やや緩やかで、晩材部の幅は広く、年輪界は明瞭。樹脂細胞はなく、樹脂道が認められる。放射組織は仮道管、柔細胞とエピセリウム細胞よりなり、分野壁孔は窓状、仮道管内壁には顕著な鋸歯状の突出が認められ、単列、1～15細胞高のものと水平樹脂道をもつ紡錘型のものがある。

・モミ属（Abies）　マツ科

早材部から晩材部への移行は比較的緩やかで、晩材部の幅は薄く、年輪界は明瞭。樹脂細胞はないが、傷害樹脂道が認められることがある。放射仮道管はなく、放射柔細胞の壁は粗く、じゅず状末端壁が認められる。分野壁孔はスギ型で1～4個。放射組織は単列、1～20細胞高。

・イネ科タケ亜科（Gramineae subfam．Bambusoideae）

維管束が基本組織の中に散在する不斉中心柱をもつ。

タケ亜科は、タケ・ササ類であるが解剖学的特徴では区別できない。

(4) 考察

炭化材とカヤ状炭化物は、いずれもTa11の構築材の一部の可能性がある。炭化材は、いずれも針葉樹材、複維管束亜属とモミ属に同定された。板状と棒状とで樹種が異なることから、部位によって用材が異なっていた可能性がある。一方、カヤ状炭化物については、同定されたタケ亜科の材質や試料の形状等を考慮すれば、屋根を葺いた葦材などに由来する可能性がある。

本地域では、これまでにも各時代の住居構築材などについて樹種同定が行われている。(パリノ・サーヴェイ株式会社, 1988, 1989, 1992, 1993, 1994a, 1994b). その結果では、時代や遺跡によって種類構成が異なるものの、基本的には落葉広葉樹を主とする種類構成が認められている。今回の結果は、これらの結果とは異なるものであり、古代から中世の間に、針葉樹を主とする用材に変化した可能性がある。しかし、現時点では詳細が不明である。今後さらに多くの事例を蓄積して明らかにしたい。

2．遺構出土の貝類の種類

(1)試料

試料は、中世の竪穴や土坑などから出土した貝殻25点である。試料は、火熱を受けた痕跡がほとんどなく破片化が顕著で、複数の破片が一つのシャーレやタッパーに収納されたものがあった。試料の詳細は、同定結果とともに表1に示した。

(2)方法

肉眼およびルーペにて観察し、種類・部位を同定した。同定は、早稲田大学金子浩昌先生にお願いした。

(3)結果および考察

結果を表1に示した。淡水産の貝種はタニシのみであり、3個体が確認されたにすぎない。

一方、海水産の貝種は個体数が比較的多く、ハマグリ、アワビ、クロアワビ、アカニシ、ウミニナなど種類も豊富であった。なお、遺構別にみて、一遺構に多数の貝殻が偏在したり、特定の貝種が偏在す

表1 貝類同定結果

試料名	種類・部位	備考
D 24	ハマグリ R	破片
D 42 97/10/02	タニシ	
	ウミニナ	
	アワビ	破片
D 42 97/10/03	アカニシ	完存
D 55 No.1	アカニシ	殻高130.0mm±α
D 64	タニシ	破片
	アカニシ	破片
D 87	アワビ	殻長140.0mm±α
	クロアワビ	
D 74	ハマグリ R	破片
D 80	アカニシ 殻口部(大)	
D 83	ハマグリ L	
D 87 検出	アカニシ	殻高135.0mm±α
D 89	アカニシ 殻口部他	破片
D 117	タニシ	破片
	アカニシ	殻高130.0mm±α
D 150	アカニシ	破片
P 513	アカニシ	破片
P 611	クロアワビ	破片
D 169	アカニシ 柱・体部	
Ta 1	ハマグリ R・L	
Ta 5 東	ハマグリ L	殻長63.0mm
Ta 7 東	クロアワビ	
	ハマグリ	破片
Ta 7 西側	ハマグリ L	
Ta12	ハマグリ	破片
Ta20	アカニシ(小)	
	ハマグリ R	破片
検出	アカニシ	殻高125.0mm±α

るような傾向は見られなかった。

今回の試料の特徴は、淡水産に比べて海水産が多く、また貝種も豊富であったことである。破片試料が多かったため、各種類の本来の個体数やサイズの構成を知ることはできないが、少なくとも食用になるハマグリ（殻長63.0㎜）・アカニシ（殻高125.0～140.0㎜）・アワビ類には大型のものが含まれており、ある程度の大きさのものが選択され、本遺跡に搬入されたことが示唆される。本遺跡が長野県東部の内陸地域に立地することを考慮すれば、今回確認された海水産の貝類は、海岸地域である程度の大きさのものを選択し、本遺跡まで運搬され、食用に供されたことを示す貴重な資料である。

現段階では、遺構の時期的な変遷や併存関係について十分には解らないため、これらの貝類が同時期に消費されたものかどうかはっきりしないが、多数の遺構で数点ずつ出土している状況をみると、やや長い期間に少数ずつ消費された可能性もありそうである。いずれにしても、今回の試料は、中世当時に海岸地域から内陸地域へ海産物が流通したことを実証する点で重要であるとともに、今後貝類以外の海産物の証拠（魚骨など）が検出される可能性を示唆する点で興味深い。

引用文献

パリノ・サーヴェイ株式会社（1988）鋳物師屋遺跡出土炭化材同定．小諸市埋蔵文化財発掘調査報告書第11集「鋳物師屋遺跡群　鋳物師屋－長野県小諸市鋳物師屋遺跡発掘調査報告書－」，p．116－117，小諸市教育委員会．

パリノ・サーヴェイ株式会社（1989）和田原遺跡出土炭化材同定．小諸市埋蔵文化財発掘調査報告書第13集「和田原遺跡郡　和田原・中原遺跡群　鎌田原－長野県小諸市和田原・鎌田原遺跡発掘調査報告書－」，p．83－88，小諸市教育委員会．

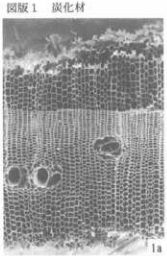
パリノ・サーヴェイ株式会社（1992）下芝宮遺跡・下聖端遺跡出土炭化材同定報告．佐久市埋蔵文化財発掘調査報告書第９集「国道141号線関係遺跡　長野県佐久市長土呂国道141号線関係遺跡発掘調査報告書（本文編）」，p．355－391，佐久市教育委員会・佐久市埋蔵文化財調査センター．

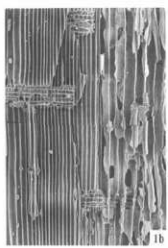
パリノ・サーヴェイ株式会社（1993）郷土遺跡出土炭化材の同定．小諸市埋蔵文化財発掘調査報告書第16集「郷土遺跡　－長野県小諸市郷土跡発掘調査報告書－」，p．52－57，小諸市教育委員会．

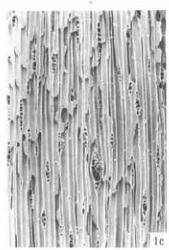
パリノ・サーヴェイ株式会社（1994ａ）過去の植物利用について．小諸市埋蔵文化財発掘調査報告書第17集「東下原・大下原・竹花・舟窪・大塚原　－長野県小諸市東下原・大下原・竹花・舟窪・大塚原遺跡発掘調査報告書－」，p．613－624，小諸市教育委員会．

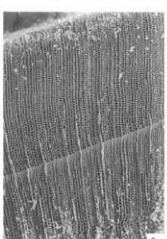
パリノ・サーヴェイ株式会社（1994ｂ）竹花遺跡第40号住居址出土炭化米の同定・計測結果報告．小諸市埋蔵文化財発掘調査報告書第17集「東下原・大下原・竹花・舟窪・大塚原　－長野県小諸市東下原・大下原・竹花・舟窪・大塚原遺跡発掘調査報告書－」，p．589－592，小諸市教育委員会．

図版1　炭化材

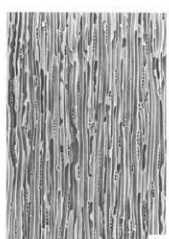

1a

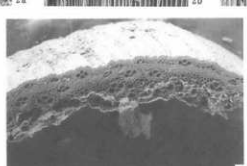

1b


1c


2a

2b


2c


3

200μm：1~2a. 3
200μm：1~2b. c

1. マツ属複維管束亜属（Tall 板状）　a：木口，b：柾目，c：板目
2. モミ属（Tall 棒状）　a：木口，b：柾目，c：板目
3. イネ科タケ亜科（Tall No. 1）　横断面

佐久市埋蔵文化財調査報告書

第1集　『金井城跡』
第2集　『市内遺跡発掘調査報告書1990』
第3集　『石附窯址群Ⅲ』
第4集　『大ふけ』
第5集　『立科F遺跡』
第6集　『上曽根遺跡』
第7集　『三貫畑遺跡』
第8集　『瀧の下遺跡』
第9集　『国道141号線関係遺跡』
第10集　『聖原遺跡Ⅱ』
第11集　『赤座垣外遺跡』
第12集　『若宮遺跡Ⅱ』
第13集　『上高山遺跡Ⅱ』
第14集　『栗毛坂遺跡』
第15集　『野馬久保遺跡』
第16集　『石並城跡』
第17集　『市内遺跡発掘調査報告書1991』
（1月～3月）
第18集　『西曽根遺跡』
第19集　『上芝宮遺跡』
第20集　『下聖端遺跡Ⅲ』
第21集　『金井城跡Ⅲ』
第22集　『市内遺跡発掘調査報告書1991』
第23集　『南上中原・南下中原遺跡』
第24集　『上聖端遺跡』
第25集　『上久保田向Ⅳ』
第26集　『藤塚古墳群・藤塚Ⅱ』
第27集　『上久保田向Ⅲ』
第28集　『曽根新城Ⅴ』
第29集　『筒村遺跡B　山法師遺跡B』
第30集　『市内遺跡発掘調査報告書1992』
第31集　『山法師遺跡A　筒村遺跡A』
第32集　『東ノ割』
第33集　『聖原遺跡Ⅶ　下曽根遺跡Ⅰ
前藤部遺跡2』
第34集　『西一本柳遺跡Ⅰ』
第35集　『市内遺跡発掘調査報告書1993』
第36集　『蛇塚B遺跡Ⅲ』
第37集　『西一本柳遺跡Ⅱ　中西ノ久保遺跡Ⅰ』
第38集　『南下中原遺跡Ⅱ』
第39集　『中屋敷遺跡』
第40集　『寺畑遺跡』
第41集　『曽根新城遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅵ
上久保田向遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ
西曽根遺跡Ⅱ・Ⅲ』
第42集　『寄山』
第43集　『権現平遺跡・池端遺跡』
第44集　『寺添遺跡』
第45集　『市内遺跡発掘調査報告書1994』
第46集　『濁り遺跡』
第47集　『上芝宮遺跡Ⅴ』
第48集　『池端城跡』
第49集　『根々井芝宮遺跡』
第50集　『藤塚遺跡Ⅲ』
第51集　『寺中遺跡　中屋敷遺跡Ⅱ』
第52集　『坪の内遺跡』
第53集　『円正坊遺跡Ⅱ』
第54集　『市内遺跡発掘調査報告書1995』
第55集　『香屋前遺跡Ⅰ・Ⅱ』
第56集　『聖原遺跡Ⅹ』
第57集　『高師町遺跡Ⅱ』
第58集　『下穴虫遺跡Ⅰ』
第59集　『市内遺跡発掘調査報告書1996』
第60集　『曽根城遺跡Ⅱ』
第61集　『割地遺跡』
第62集　『野馬久保遺跡Ⅱ』
第63集　『西大久保遺跡Ⅲ』
第64集　『梨の木遺跡Ⅳ』
第65集　『中宿遺跡』
第66集　『中西ノ久保遺跡Ⅱ 仲田遺跡 寺畑遺跡Ⅱ』
第67集　『供養塚遺跡』
第68集　『前藤部遺跡』
第69集　『高山遺跡Ⅰ・Ⅱ』

佐久市埋蔵文化財調査報告書　第70集
上の城遺跡群　観音堂遺跡
－長野県佐久市岩村田観音堂遺跡発掘調査報告書－
1999年3月
編集・発行　佐久市教育委員会
〒385－8501　長野県佐久市大字中込3056
埋蔵文化財課
〒385－0006　長野県佐久市大字志賀5953
TEL　0267－68－7321
印　刷　所　株式会社　コックス